Okinawa Prefectural University of Arts

古見方言の基礎語彙

加治工　真市

本稿の資料は、すべて大底朝要氏の御教示によるものである。ご協力に対し深く感謝申し上げる。

分野（3）植物

アー［ʔaː］（名）あわ（粟）。

あまり作らなかった。アー　マキー［ʔaː makiː］（粟を蒔く）。アー　カᴧリー［ʔaː kʻḁri̥ː］（粟を刈る）。アー　カリーシタ［ʔaː kʻḁri̥ːʃi̥ta］（粟を刈りた。収穫した）。

アイン［ʔaiŋ］（動）果実が熟れて落ちる。

アイ　ウティー［ʔai ʔutiː］（果実がうれて落ちる）、パンスルヌ　アイウティー［pansurunu ʔaiutiː］（ばんざくろの実が熟れて落ちた）、フナブヌ　アイン［fu̥n̥abunu ʔaiŋ］、（みかんが熟して落ちる）

アカウスヌ［ʔakaʔusunu］（名）在来米の中で、米の色が赤味をおびたもの。

赤紫色で、お粥に炊くと、うっすらと油分が出る。

穂先に５～６センチの長い芒があるので猪害が少なかった。

アカウン［ʔakaʔuŋ］（名）やまいも（山芋）の種類で、皮をむくと赤みがかった身の山芋である。

大きなものに成長する。

アカシゥ［ʔakasi̥］（名）枯れた松の幹や根の松脂を含んだ部分を削り取って焚付にしたり、それを灯して燈火用にしたもの。

アカシゥ　キチ　ピー　タチゥキリ［ʔakasï kitʃi piː tatsïkiri］（アカシゥを削って火を焚きつけなさい）

アカマミ［ʔakamami］（名）あずき（小豆）。

「赤豆」の義。実は赤黒色で、大豆より小さい。赤飯を作る際に用いる。煮て

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

餅にまぶしてフチャギに作る。

アカマミ イビー [ʔakamami ʔibi:] (小豆を植える)。アカマミ マキー [ʔakamami maki:] (あずきを蒔く)、アカマミ マキシタ [ʔakamami makiʃita] (小豆を蒔いた)。

アザ [ʔadza] (名) とげ (刺)、

アザンガ カカザリ [ʔadzaŋga kakadzari] (とげにひっかかる)

アチサイ [ʔatʃisai] (名) あじさい (紫陽花)。

アチサイヌ パハナ [ʔatʃisainu p'ana] (紫陽花の花)。アチサイヌ パハナー [ʔatʃisainu p'ana: kaiça:] (あじさいの花は美しい)。

アッカイキー [ʔakkaiki:] (名) 植物名。赤木。

和名、アカギ。

アックン [ʔakkuŋ] (名) さつまいも (薩摩芋)。

アックン プリ [ʔakkum p'uri] (さつま芋を掘りなさい)

アッコン [ʔakkoŋ] (名) イモ (芋)。

ヒャクゴー [çakugo:] (百号)、タイワナー [taiwana:] (台湾芋)、イナヨー [ʔinajo:] (「言うなよ」芋)、マタヨシアッコン [matajoʃiʔakkoŋ] (又吉芋) のような品種が作付されていた。その後、宮古の狩俣という人がミヤノーイチゴー [mijano:ʔitʃigo:] (宮農一号) という品種を導入した。これをカリマターアッコン [karimata:ʔakkoŋ] と言っていた。よくみのる芋であった。

アックン イビン [ʔakkuŋ ʔibiŋ] (いもを植える)。

アックン プリー [ʔakkum p'uri:] (いもをほる)

イージョー [ʔi:dʒo:] (名) 植物名。和名。イジュ。

建築用材として珍重される。古見の山中より産する。

イビルン [ʔibiruŋ] (動) うえる (植える)。

マイ イビー [mai ʔibi:] (稲を植える) ミーダ イブヌ [mi:da ʔibunu] (まだ植えない)、マイヤ ムール イビシター [maija mu:ru ʔibiʃita] (稲は全部植えた)。イビッタハー [ʔibittaha: (植えたい)。バヌン イビプサー [banuŋ ʔibipusa:] (私も植えたい)、イビル ナイヌ ミーヌ [ʔibiru nainu mi:nu] (植える苗がない)、ダーヌ イビダラ バヌン イビルン [da:nu ʔibidara banuŋ ʔibiruŋ] (君が植えたら私も植える)

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

パイ゜シャ　イビ゜リ [pai˹ʃa ʔibi˹ri]（早く植えなさい）

ヤシゥ゜キヌ゜　ナカ゜ナ゜ー　フ゜グ゜ン　゜イビ゜ルン [jasɨ̥˹kinu˺ naka˹na˺ː fu̥˹ku˺ŋ ˹ʔibi˹ruŋ]（屋敷の中に福木を植える）

゜キャー゜ンギ　゜イビ゜ルン [˹kjaː˺ŋgi ˹ʔibi˹ruŋ]（槙の木を植える）

゜ウティルン [˹ʔutiruŋ]（動）落ちる。

゜ウトゥヌ [˹ʔutunu]（落ちない）、゜ウティ゜ドゥル [˹ʔuti˹duru]（落ちている）、゜ウティナー [˹ʔutinaː]（落ちるな）、゜ウティダ゜ラ　゜シゥヌ゜ン　ドゥ゜ラー [˹ʔutida˹ra sɨ̥˹n̥u˺n du˹raː]（落ちたら死ぬよ）、゜ウティリャー [˹ʔutirjaː]（落ちろ）、゜ウティッタハロー゜ナ [˹ʔutittaharo˹na]（落ちたい）、

゜ウブ゜ダキ [˹ʔubu˹daki]（名）植物名。

和名．ホウライチク。屋敷内に植えられていた。台風の時などに、家の戸を柱に固定して綱で締めるのに用いた。台風対策の゜ヤドゥハサン [˹jaduhasaŋ]（家戸挟み）。結願祭の時の゜サン゜チゥキ [˹san˹tsɨki]（桟敷）を作る材料に用いた。これで桟敷の骨組みを作った。

゜ウフムン [˹ʔuΦumuŋ]（名）きび（黍）。

゜ウムン [˹ʔumuŋ]（動）熟れている。熟する。

゜キーヌナルヌ　ウミ [˹kiːnu narunu ʔumi]（木の実が熟する）、゜パンスルヌ゜　ウミ [˹pansurunu˺ ʔumi]（ばんざくろが熟した）゜ミーダ゜　ウ゜マヌ [˹miːda˺ ʔu˹mamu]（まだ熟しない）、゜パンスロー　ウミドゥ゜ル [˹pansuroː ʔumidu˹ru]（グヮバは熟している）、゜ウミ゜ル　゜パンスロー゜　ミー゜ヌ [˹ʔumi˹ru ˹pansuroː˺ miː˹nu]（熟れたばんざくろはない）、゜ウミ゜ダラ　゜ブリ゜　ファウン [˹ʔumi˹daraː ˹buri˹fauŋ]（熟れたら取って食う）、パイ゜シャ　ウミ゜ダラー　ミ゜シャル゜ムヌ [pai˹ʃa ʔumi˹dara mi˹ʃaru˹munu]（早く熟れたらよいのに）パイ゜シャ　ウミー [pai˹ʃa ʔumiː]（早く熟れよ）フ゜ナブヌ　ウミ゜ダラー　゜バサン　ウムン [fu̥˹n̥abunu ʔumi˹daraː ˹basaŋ ʔumuŋ]（みかんが熟れたら芭蕉の実も熟れる）

゜ウリゥ [˹ʔurɨ]（名）うり（瓜）。

゜ウリゥー゜　イビ [˹ʔurɨː˺ ʔibi]（瓜を植える）。゜キューリゥ [˹kjuːrɨ]（きゅり）と゜マ゜ウリゥ [˹ma˹urɨ]（真瓜）の二種がある。

゜ウン [˹ʔuŋ]（名）やまのいも（山芋）。

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

皮付きのまゝ煮てから皮をむき、角切りにしたりして、塩を少々ふりかけて食べた。行事などには、料理の食材によく使った。ˈタニドゥル［ˈtaniduru］（種取り祭）とか、ˈジューˈロクニチ［ˈʤuːˈrokunitʃi］（十六日祭）などの祭日の料理によく使われた。

ˈウン［ˈʔuŋ］（名）やまいも（山芋、薯蕷）じねんじょ。

根は太い。棒状のものは、60センチから1メートルに成長するものもある。食用。屋敷内にもよく植えた。ˈウンˈ プˈリー［ˈʔumˈ p'uˈriː］（やまいもを掘れ）。ˈアカˈウン［ˈʔakaˈʔuŋ］（赤いも）、ˈクーシャーˈウン［ˈkuːʃaːˈʔuŋ］（菓子いも）ˈボーˈウン［ˈboːˈʔuŋ］（棒いも）、ˈナリゥˈウン［ˈnariˈʔuŋ］（実りいも）などがある。

ˈカー［ˈkaː］（名）かわ（皮）。樹皮。

タˈキˈヌ　カー［t'aˈkiˈnuˈkaː］（竹の皮）。ˈキーヌ　カー［ˈkiːnu kaː］（木の皮）。**フ**ˈナブヌ　カー［fuˈnabunu kaː］（みかんの皮。九年母の皮）。**フ**ˈナブヌ　カームギー［fuˈnabunu kaː mugiː］（みかんの皮をむきなさい）

ˈガーリルン［ˈgaːriruŋ］（動）やせおとろえる（痩せおとろえる）。

人間が痩せおとろえる。やせこける。ˈイー　ファˈーナーディラ　ˈユンˈガリサˈリー　ガーリルンドゥˈラー［ˈʔiː faˈːnaːdira ˈjuŋˈgari saˈriː gaˈːrirun duˈraː］（ご飯を食べなかったら、やせておとろえるよ）ˈイシャˈキゥンガイˈパルン［ˈʔiʃaˈkiŋgai p'dˈruŋ］（石垣へ行く）

ˈカˈザ［ˈkaˈdza］（名）つる（蔓）。かずら（葛）。

ˈカザヌ　マˈキ［ˈkadzanu maˈki］（つるが巻く）。ˈマーミヌ　ガˈザ［ˈmaːminu kaˈdza］（豆の葛）。ˈアッˈコンヌ　ˈカザ［ˈʔakˈkonnuˈkadza］（いもの葛）。ˈアッˈコンヌ　ˈカザ　トゥーリ［ˈʔakˈkonnu ˈkadza tuːri］（芋の葛をたぐり取れ。たぐり刈れ）

カˈシ［kaˈʃi］（名）植物名。和名．オキナワウラジロガシ。

カˈシゥˈニˈキー［kaˈsïniˈkiː］、カˈシˈニˈキー［kaˈʃiniˈkiː］ともいう。ドングリがなるが、木の実は食べられない。苦い。ˈシゥˈー［ˈsïˈː］（イタジイ）の実はおいしい。カˈシ［kaˈʃi］の実は大きい。イタジイの実よりもかなり大きい。

ˈカˈニˈブン［ˈk'aˈniˈbuŋ］（名）野葡萄。

和名．テリハノブドウ。昔は大木にからまって実をつけていたが、今はあまり

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

見えない。豊年祭に使う。新城では、アカマター着物を作るのに用いる。古見の場合は、アカマターの着物の後に、1本か2本必ずこれを下げる。装草神の衣装に用いる蔓草は、サミセンヅルを用いる。この草も土地改良事業のために自生するのが少なくなってきた。古見の人は、シチゥカザ [ʃi̥tsïkadza]（節葛）という。

カブチャ [kabutʃa]（名）かぼちゃ（南瓜）。

カブチャ　イビ [kabutʃa ʔibi]（かぼちゃを植える）。古見では移植しないで、最初から本圃場に種子を植える農法であった。

ガヤ [gaja]（名）かや（茅）。

ちがや。草葺き屋根を葺くのに利用された。ガヤ　スリ [gaja ˢsu̥ri̥]（茅を刈れ）

ガラスマイ [garasumai]（名）在来米の中で外皮は黒っぽい色をした米。

穂先きに長い芒があり、猪害が少なかった。中身は赤紫色を呈していた。風味がよく、美味であった。古見村では黒色の米が多かった。東部にある田圃には、早めに植え付けた（由部のあたり）。日当たりの良い地域であった。

カリ [kḁri̥]（動）かる（刈る）

マイ　カリ [mai kḁri̥]（稲を刈る）マイ　カリシタ [mai k'ḁri̥ʃi̥ta]（稲を刈りた）、ミーダ　カラヌ [miːda k'ḁrḁnu]（まだ刈らない）、パイシャーカリッタ　ハヌ [paiʃaː k'ḁri̥ttahanu]（早く刈りたい）、マイ　カリージゥブン　ナリシタ [mai k'ḁri̥ːdzïbun nariʃi̥ta]（稲を刈る時期になった）。[mai k'ḁru̥ː pïtu ʔuraŋ]（稲を刈る人がいない）。マイ　カリーダラ　ユクバン　ミシャドゥル [mai k'ḁri̥ːdara jukubam miʃaːduru]（稲を刈りたら休んでもよい）

カラバン　カラバン　ピナラヌ [kḁrḁbaŋ k'd̥rḁbam pinaranu]（刈りても刈りても減らない）

パイシャ　カリーヒーリー [paiʃa kḁri̥ːçiːriː]（早く刈りて下さい）

キー [kiː]（名）植物名。木の一般総称。

キーヌ　ムイ [kiːnu mui]（木が生える）、キー　キシ [kiː ki̥ʃi]（木を切る）。

キーヌナル [kiːnunaru]（名）木の実。

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

果物。フナブ［Φuṇabu］（九年母、ヒラミレモン）などにもいう。バサヌナル［basanunaru］（バナナ、「芭蕉の実」の義）。

キクー［kiku］（名）植物名。きく（菊）。

キクヌ　パナ［kikunu p'aṇa］（菊の花）。

キャンギ［kjaŋgi］（名）和名．イヌマキ。いぬまき（槇）。

建築用材として最高の木材といわれている。古見の山中より産する。各家には、屋敷にキャンギ［kjaŋgi］を植える習慣があった。

キューリゥ［kju:rï］（名）きゅうり（胡瓜）。

棚をかけて栽培する。

キンダイクニ［kindaikuni］（名）にんじん（人参）。「黄大根」の義。

自家用に生産した。キンダイクニ　ファウドゥ　ウブピゥトゥ　ナル［kindaikuni Φaudu ʔubupïtu naru］（人参を食べたら大人になれる）と言って、大人は子供に人参を食べさせようとしたが、子供はあまり食べなかった。

クーシャーウン［ku:ʃa:ʔuŋ］（名）ヤマイモ（山芋）の種類。

皮をむくと中身が真白なもの。皮はアカウンと同じ。

クール［ku:ru］（名）植物名。和名．オキナワサルトリイバラ。

染料として利用された。古見の山には多く産する。やまいものように大きな根茎をつける。それを掘り出して煮て染色用に用いる。茶色や茶褐色の染料となる。

クサ［k'uṣa］（名）植物名。竹の一種。

主に釣竿として用いられた。和名。ホテイチク。

クサン［k'uṣaŋ］（名）植物名。竹の一種。

古見では、釣り竿に利用した。強く、先端部分が細いので釣り竿に適している。また、このクサン［k'uṣaŋ］のフキゥー［fuki:］（茎）、「たけのこ」が一番美味だといわれている。

グス［gusu］（名）植物名。とうがらし（唐辛子）。

ナマスナー　グス　ピンヌギ［namasuṇa: gusu pinnugi］（刺身に唐辛子を入れる）。各家庭では、自家用として、庭先きや裏庭などに植えていた。古見では実の小さい、在来種の唐辛子であった。ウムジゥ［ʔumudzï］（小蛸、いいだこ）を漁獲するとき、タバコと唐辛子を混ぜて、汁を入れ、干潮時に穴の

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

中に入れて漁獲した。

꜀ク꜆チゥ [꜀ku꜆tsḭ]（名）植物名。和名．トウヅルモドキ。

꜀ク꜆チゥ　꜀トゥリークー［꜀ku꜆tsï　꜀tu:riku:］（トウヅルモドキを採ってきなさい。たぐって採ってこい)。笊や篭などの器具（民具）を作るのに利用されたり、小屋を作る際の締め縄用代に用いられる。強く、長もちする。竹床を編む際にも重宝がられた。꜀ユチゥ꜆リゥ［꜀jutsï꜆rï］（えつり）を編む際にも用いられた。

꜀クブ [꜀kubu]（名）こんぶ（昆布)。

行事食には欠かせない食品である。古見には産しない。石垣島あたりから購入してくる。シ꜀ミムン［ʃ'꜀i̥m̥imuŋ］（煮しめもの）料理に用いる。

꜀グ꜆マ [꜀gu꜆ma]（名）ごま（胡麻)。

꜀グマ　マ꜆キ［꜀guma ma꜆ki］（ごまを蒔く)。

꜀グマミ [꜀k'u̥mami]（名）りょくとう（緑豆)。

「小豆」の義。「もやし」を作るのに用いた。クッ꜀マ꜆ミサリ　꜀マミナ　ムヒー［k'u̥m̥a꜆misari　꜀mamina muçi:］（緑豆でもやしを作れ、《萌やせ》)

꜀クヮー [꜀kwa:]（名）植物名。桑。

和名．シマグワ。꜀クヮーヌ　ナリゥ［꜀kwa:nu narï］（桑の実)。子供頃は、桑の実をよく食べた。

꜀クヮーヌ꜆ミー [꜀kwa:nu꜆mi:]（名）桑の実。

꜀グンボー [꜀gumbo:]（名）ごぼう（牛蒡)。

꜀グン꜆ボ　ツクリー [꜀gum꜆bo tsu̥kuri:]（ごぼうを作る)。

古見は砂地が多いから、牛蒡が長く根をおろしても、簡単に引き抜くことができる。

サ꜀ク꜆ラ [sḁ꜀ku꜆ra]（名）植物名。桜。

和名．ヒカンザクラ。子供頃、富里家の庭に桜の大木が生えていて、美しい花を咲かせていた。クンヌーラ［꜀kunnu:ra］（古見の浦）という歌にも歌われている。

꜀ザク꜆ラー [꜀dzaku꜆ra:]（名）ざくろ（柘榴)。

和名．ザクロ。꜀ザク꜆ラヌ　꜀ナル［꜀dzaku꜆ranu　꜀naru］（ザクロの実)。実を割って、中の身を食べたが、あまりおいしくなかった。あまり食べなかった。

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

サ゜ク゜ン [saku̥ŋ]（動）さく（咲く）。

パ゜ナヌ゜　サキゥ [p'aṇanu sak'ï]（花が咲く）ク゜トゥッ゜セゥー　パ゜ナー゜　サ゜カ゜ヌ [k'u̥tussë: p'aṇa: sakḁnu]（今年は、花は咲かない）、ク゜トゥ゜シゥン　パ゜ナー゜　サ゜キ゜シタ [ku̥tusïm p'aṇa: saki̥ʃi̥ta]（今年も花は咲いた）ク゜トゥ゜シゥン　パ゜ナー゜　サ゜ク゜ン [ku̥tusïm p'aṇa: saku̥ŋ]（今年も花は咲く）、パ゜ナヌ゜　サ゜キゥ゜タラ　゜アミヌ　フン [p'aṇanu saki̥tara ʔaminu fuŋ]（花が咲いたら雨が降る）。サ゜ク゜　パ゜ナー゜　ピトゥ゜クン　ミヌ [saku pa ṇa: pi̥tukum minu]（咲く花は1個もない）パイ゜シャー゜　サ゜キー [paiʃa: saki:]（早く咲け）

サ゜ヒャマミ [saçamami]（名）さや豌豆。

゜サラムシル [saramuʃi̥ru̥]（名）おおたにわたり（大谷渡）。

山にたくさん自生している。根幹部が黒い。これの茎が　フ゜ツー゜ヌ　フ゜キー　という。

サ゜リ゜ルン [saṛiruŋ]（動）かれる（枯）。

゜キーヌ゜　サ゜リ゜ー [ki:nu saṛi:]（木が枯れる）、゜キーヤ゜　サル゜ヌ [ki:ja saṛunu]（木は枯れない）、サ゜リ゜ル　゜キーヤ゜　ウッス゜ハー　アルン [saṛiru ki:ja ʔussuha: ʔaruŋ]（枯れる木はたくさんある）、サ゜リー゜ダラ　キ゜シトゥーヒ [saṛi:dara kiʃi tu:çi]（枯れたら伐り倒せ）、パイ゜シャ゜　サ゜リ゜リャ [paiʃa saṛirja]（早く枯れよ）、サ゜ル゜バン　キ゜サヌ [saṛubaŋ ki̥sanu]（枯れも伐らない）

シ゜チゥカザ [ʃi̥tsïkadza]（名）植物名。

和名．カニクサ。「節葛」の義。この草に゜ミームン [mi:muŋ]（雌草）、゜ビギ゜ムン [bigimuŋ]（雄草）の二種がある。普通、シ゜チゥ [ʃi̥tsï] 祭に用いるのは、゜ビギカザ [bigikadza] で、アカマターの装草用には、゜ミーカザ [mi:kadza] を用いている。

シヒ゜ピッ゜サ [ʃi̥pi̥ssa]（名）ねぎ（葱）。

おつゆに入れて食する野菜。香りがよく美味である。魚などの生臭みを消し、魚肉の味をひきたてる。シヒ゜ピッ゜サー　゜マハドゥル（゜マハン）[ʃi̥pi̥ssa:mahaduru（mahaŋ）]（ねぎはおいしくぞある<おいしい>）。

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

⌈シゥー [⌈sï:]（名）植物名。しい（椎）。

和名．イタジイ。⌈シゥーヌ　ナリゥ［⌈sï:nu narï］（しいの実）ドングリのような実がなり、美味である。実の大きさは、カ⌈シ［kḁ⌈ʃi］の実に比して小さい。蒸して食べても、焼いて食べても美味である。子供の頃は、よく食べた。

シ⌈ピ⌈シ［ʃi̥⌈pi⌈ʃi］（動）しなびる（萎る）、しぼむ。

⌈ナーヌ　パーヌ⌉　シ⌈ピッ⌈シー［⌈na:nu pa:nu⌉ ʃi̥⌈piʃ⌈ʃi:］（菜っぱがしなびれる）、シ⌈ピッ⌈シミー⌈ヌ［ʃi̥⌈piʃ⌈ʃimi:⌈nu］（しなびれてしまった）、⌈ティダナプサバン⌉　シ⌈ピッ⌈サヌ［⌈tidana pusabaŋ⌉ ʃi̥⌈pis⌈sanu］（太陽に干してもしなびれない）、⌈ウリ⌉ヌ　シ⌈ピシッティ⌉ラ　ク⌈リン⌉　シ⌈ピッ⌈シルン［⌈ʔuri⌉nu ʃi̥⌈piʃʃiti⌉ra ku⌈riŋ⌉ ʃi̥⌈piʃ⌈ʃiruŋ］（それがしなびたら、これもしなびる）

シゥ⌈プル［si̥⌈puru］（名）冬瓜

⌈ジマミ［⌈ʤimami］（名）らっかせい（落花生）。

「地豆」の義。あまり作らなかった。⌈ジマミ⌉　プ⌈リ［⌈ʤimami⌉ p'u̥⌈ri］（落花生を掘りなさい）。⌈ジマミヌ　トーフ［⌈ʤimaminu to:Φu］（落花生の豆腐）。

シㇶ⌈ミムヌ［ʃ'i̥⌈m̥imunu］（名）料理名の一つ。

「煮しめもの」の義。大根、昆布、肉、カマボコ、豆腐、コンニャクなどと一緒に長時間煮たもの。郷土料理の代表的なものの一つ。オデンは汁が多いのに対し、シㇶ⌈ミムヌは一般に汁が少ない。重箱に詰め合わせ盛りにしたり、皿に盛り付けて出す。

⌈スイクヮー［⌈suikwa:］（名）すいか（西瓜）。

古見では、あまり栽培していなかった。

⌈スイショー［⌈suiʃo:］（名）しそ（紫蘇）。

⌈スイショヌ　パ⌉ー［⌈suiʃonu p'a⌉:］（しその葉）。さしみ（刺身）のつまに用いた。

⌈ス⌉ギ［⌈su⌉gi］（名）材木名。杉。杉板のこと。

杉の樹は生えていない。⌈ス⌉ギヌ　イ⌉タ［⌈su⌉ginu ʔi⌉ta］（杉の板）、⌈ス⌉ギイタ［⌈su⌉giita］（杉板）は建築用材として購入してきた。

ス⌈ラ［s'u̥⌈r̥a］（名）こずえ（梢）。

樹木の先の部分。てっぺん。サ⌈キゥ［sḁ⌈kï］（先）ともいう。⌈ユダ⌉ヌ　サ⌈キゥ［⌈juda⌉nu sḁ⌈kï］（枝の先）。⌈パンタマー［⌈pantama:］（先端）ともいう。⌈キー

NII-Electronic Library Service

ヌ　ユダヌ　サキゥヌ　ウギ［ki:nu judanu sakïnu ʔugi］（木の枝の先端が動く）。キーヌ　スラヌ　ウギー［ki:nu s'uranu ʔugi:］（梢が動く）

スンガー［suŋga:］（名）しょうが（生姜）。

おつゆに入れて食べたり、歌を歌う人に「しょうが湯」を作ってあげたりした。昔は古見から石垣に行くときは、お土産として「スンガー」を持参した。

ダイクニー［daikuni:］（名）だいこん（大根）。

ダイクニー　イビ［daikuni: ʔibi］（大根を植える）。大根はたくさん作った。砂地が多く、大根栽培に適していた。

ダイミョーダキ［daimjo:daki］（名）植物名。

和名，タイミンチク。家の床を編む際に用いた。タキフンダ［t'akiΦunda］（竹床）の材料となったり、物干し竿などに用いた。フンダ［Φunda］

ダイミョーダキー［daimjo:daki:］（名）だいみょう竹。

竹の品種の一つ。小浜島では、この竹を利用して、芸能に用いる笛を作った。古見では、この竹から採れる「タケノコ（筍）」をよく食した。美味であった。

タキ［t'aki］（名）植物名。たけ（竹）の総称。

ウブダキ［ʔubudaki］（マダケ）、ダイミョーダキ［daimjo:daki］（タイミンチク）、クサ［kusa］（釣り竿用の竹として用いる）。ユツリゥダキ［jutsurïdaki］（えつり用の竹）。などがある。

タキヌ　フキゥ［t'akinu fuksï］（連）たけのこ（筍）。

今の若者は、タキヌクー［t'akinuku:］（たけのこ）と言う。現在は、営林所が、30年前に建てられたが、あの近辺に植えてある。昔は屋敷の周囲に竹林があって、そこでよく採れた。マシク［maʃiku］、ダイミョーダキー［daimjo:daki:］（小浜の人がよく笛を作るのに用いる竹）の「たけのこ」が美味である。クサン［k'usaŋ］の茎、「たけのこ」は一番おいしい。

ダッキュー［dakkju:］（名）らっきょう（辣韮）。

漬物にして食することが多い。美味である。ダッキューアーシェー　マハン［dakkju:ʔa:ʃe: mahaŋ］（辣韮の漬物はおいしい）

タニ［t'ani］（名）たね（種）。

マイヌ　タニ［mainu t'ani］（稲の種）ムンヌ　タニ［munnu t'ani］（麦の種）タニ　マキ［t'animaki］（種を蒔く）

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

⌈タ⌉ブ [⌈ta⌉bu] (名) 植物名。和名. タブノキ。

建築用材に用いられる。

タ⌈マトゥー [t'ḁm̥atu:] (名) 野菜の名。

とまと(赤茄子)。直径約1～1.5センチの実をつける。甘実の少ない野菜の在来種や品種改良された大型の実のトマトもあった。いずれも⌈タマトゥーと称した。タ⌈マトゥー イ⌈ビ [t'ḁm̥atu: ʔi⌈bi] (トマトを植える)。タ⌈マトー⌉マ⌈ハドゥル [t'ḁm̥ato:⌉ ma⌈haduru] (トマトはおいしくぞある)。タ⌈マトー⌉マ⌈ハン [t'ḁm̥ato:⌉ ma⌈haŋ] (トマトはおいしい)

⌈タマネギー [⌈tamanegi:] (名) たまねぎ (玉葱)。

新しく入ってきた野菜で、昔はなかった。借用語。

⌈チルー [⌈tʃi̥r̥u:] (名) ざる (笊)。

⌈ク⌉チゥ [⌈ku⌉tsï̥] で作った笊のこと。芋を入れて運ぶのに用いる。円型で底深型の容器に作り、農作物の運搬に用いた。竹製より長持ちした。⌈バーキー [ba:ki:]

チゥ⌈パキー [tsï̥⌈paki:] (名) つばき (椿)。

チゥ⌈パキヌ⌉ パ⌈ナ [tsï̥⌈pakinu⌉ p'ḁn̥a] (椿の花)、ウ⌈カ⌉リヤー [ʔu⌈ka⌉rija:] (宮古家) に椿がいっぱい生えて、花が美しかった。

チゥ⌈プル [tsï̥⌈puru] (名) ひょうたん (瓢箪)。

チゥ⌈プル⌉サリ ピゥ⌈タル チゥク⌉リ [tsï̥⌈puru⌉sari pˢï̥⌈taru tsïku⌉ri (瓢箪で柄杓を作れ)。古い言い方は、チゥ⌈プルガギ⌉ ピゥ⌈タル チゥク⌉リ [tsï̥⌈pu rugagi⌉ pˢï̥⌈taru tsï̥ku⌉ri] (瓢箪で柄杓を作れ) という。

チゥ⌈プル [tsï̥⌈puru] (名) ひょうたん。

実が若い時にもいで食べる。美味である。完熟させると堅くなり、乾燥させて⌈ペーラグ [⌈pe:ragu] (柄杓の一種) を作るのに用いる。

チゥ⌈ム⌉ン [tsï̥m̥⌈mu⌉ŋ] (動) つむ (摘む)

ナーヌ⌈パー⌉ チゥ⌈ミ⌉ー[na:nu⌈pa:⌉ ts'ï̥m̥⌈mi⌉:] (菜っぱを摘む)、⌈ウ⌉リ チゥ⌈ミ⌉ナ [⌈ʔu⌉ri ts'ï̥m̥⌈mi⌉na] (これを摘むな)、チゥ⌈ミッ⌉タハー [tsï̥⌈mit⌉taha:] (摘みたい)、チゥ⌈ミ⌉ー⌈クン [tsï̥⌈mi⌉:⌈kuŋ] (摘んでくる)、チゥ⌈ムー⌉ムノー⌈ミーヌ [ts'ï̥⌈mu:⌉muno: ⌈mi:nu] (摘むのがない)、チゥ⌈メ⌉ー ナラヌ [tsï̥⌈me⌉: ⌈naranu] (摘んではいけない)、チゥ⌈ミ⌉ーダラ ⌈デージゥ⌉ドゥラー

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

[tsïmi:dara de:dzïdura:]（摘んだら大変だよ）、パイシャ　チゥミャー［paiʃa t'sïmja:］（早く摘みなさい）ムシー［muʃi:］（もぎとる）。ダー　チゥミダラ　バヌン　チゥムン［da: tsïmidara banun tsïmuŋ］（君が摘んだら私も摘む）

チルン［tʃiruŋ］（動）散る。花が散る。

パナヌ　チリー［p'ananu tʃiri:］（花が散る）、チリーミーヌ［tʃiri:mi:nu］（散ってしまった）、クヌ　パナヌ　チッタラー　ウリン　チルン［kunu p'ananu tʃittara: kuriŋ tʃiruŋ］（この花が散ったら、これも散る）

チゥユッファ［tsïjuffa］（名）つゆくさ（露草）

チャー［tʃa:］（名）植物名。茶。お茶っ葉。

チァー　ヌミ［tʃa: numi］（お茶を飲む）。

ツバキー［tsubaki:］（名）植物名。つばき（椿）。

ツバキーヌ　パハナ［tsubaki: nu p'ana］（椿の花）。

ッファ［ffa］（名）くさ（草）。

ッファヌ　ムイル［ffanu muiru］（草が生えている）。パタギナ　ッファヌ　ムイルン［p'atagina ffanu muiruŋ］（畑に草が生える）。

ッファリルン［ffariruŋ］（動）くされる（腐れる）

ファイ　ムヌヌ　ッファリ［faimununu ffari］（食べ物が腐れる）、ウレー　ミーダ　ッファルヌ［ʔure: mi:da ffarunu］（これは、まだ腐れない）、ッファリ　ファールヌ［ffari fa:runu］（腐れて食われない）、ッファルムノー　ムチゥキナ［ffarumuno: mutsïkina］（腐れるものは持ってくるな）、ッファリパイヒャヌ［ffaripaiçanu］（腐れやすい、腐れ早い）、ウヌ　イヨー　ッファリパイヒャーヌ　［ʔunu ʔijo: ffaripaiça:nu］（この魚は腐れ易い）、ッファリイユ［ffariʔiju］（腐った魚）。ッファリダラー　カザヌ　ッファハヌ［ffaridara: kadzanu ffahanu］（腐れたら臭いがくさい）、ヌバイ　ッファラバン　ファウン［nubai ffaraban fauŋ］（どんなに臭くても食べる）イユヌッファリディラ　シゥーシゥン　ッファリルン　［ʔijunu ffaridira sï:sïn ffariruŋ］（魚がくされたら肉もくされる）

ツプミ［t'supumi］（名）つぼみ（蕾）。

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

ティンチャク [tintʃaku]（名）ほうせんか（鳳仙花）。

「てんさぐの花」のこと。爪に花の汁（赤色）を染めて遊んだ。木灰と葉や花を搗いて出した汁とを混ぜて塗った。

トゥカチゥ [tukatsï]（名）植物名。和名．シャリンバイ。

染料として、その樹皮を用いた。

ドゥスヌ [dusunu]（名）植物名。建築用材として珍重される。

古見の山中より伐り出された。和名．タイワンオガタマノキ。

トゥンブー [tʻumbu:]（名）もも（桃）。

野生の桃。ずっと昔から自生していた。山桃には、ムン [muŋ] というから、唐から輸入されたものではないと思う（大底氏談）。トゥンブヌ ナル [tʻumbunu naru]（桃の実）。

トーフマミ [to:Φumami]（名）大豆。

「豆腐豆」の義。トーフマミザリ トーフ ツクリ [to:Φumamisari to:Φu tsukuri]（大豆で豆腐を作れ）

ナー [na:]（名）なっぱ（菜）。

葉や茎などを食用とする。シゥマナー [sʻïmana:]（「島菜」の義。辛い味がある。）

ナーヌパハナ [na:nu pʻaŋa]（名）なのはな（菜花）。

ナーヌパハナヌ ザク [na:nupʻaŋanu saku]（菜花が咲く）。

ナイルン [nairuŋ]（動）萎れてしまった。

ナイヌ ナイリミーヌ [nainu nairimi:nu]（苗がしおれてしまった）、ナイトゥラバン ナイラヌ [nai turaban nairanu]（苗をとってもしおれない）、ナイリダラ ナラヌバ ミズナ チゥキリ [nairidara naranuba midzuna tsïkiri]（萎れたらいけないから、水につけなさい）、ナイリル ナイヤバキ ウチゥキ [nairiru naija baki ʔutsïki]（萎えた苗は分けておけ）、ナイラバン チゥカリドゥスー [nairaban tsïkaridu su:]（萎えても使える）トーディ ナイリミーヌ [to:di nairimi:nu]（すっかり萎れてしまった）ナイリリ [nairiri]（萎れよ）ナイラバドゥ アッコン マーハル [nairabadu ʔakkom ma:haru]（萎れた芋がおいしい）ナーヌパーヌ ナイリーディラ ダイクニヌ パーン ナイルン [na:nupa:nu nairidara daikuni

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

nu pa¬:n ⌈nairuŋ] (菜っぱがしおれ　たら大根葉もしおれる)

⌈ナシゥピ [⌈nasi̥pi] (名) 野菜の名。なす (茄子)。

⌈ナシゥペー¬　マハン [⌈nasi̥pe:¬ mahaŋ] (茄子はおいしい)。

⌈ナバ [⌈naba] (名) きのこ (茸)。

冬期 (旧暦2月頃) に生えるナバを、古見の人は食べる。この時期以外の茸は食べない。生える所が決っていて、地面に生えるものを食べた。北の橋を越えて、⌈ウラタバル [⌈ʔuratabaru] に入って、左側の山には大体生えていた。村内では、南の橋に行く手前の左側のあたりに生えたものである。これら以外は食べなかった。

⌈ナビラ [⌈nabira] (名) へちま (糸瓜)。

⌈ナビラ¬　チゥ⌈クリー [⌈nabira¬ tsi̥⌈kuri:] (へちまを作った。栽培した)。⌈ナビラー¬　マーハン [⌈nabira:¬ ma:haŋ] (へちまはおいしい)。⌈マーハ¬ミー¬ヌ [⌈ma:ha¬mi:¬nu] (おいしくない)、⌈マーハーダン [⌈ma:ha:daŋ] (おいしかった)、⌈マーハル¬ムヌ [⌈ma:haru¬munu] (おいしいもの)、タ⌈ダー¬イ　マーハナルン [ta⌈da:¬i ma:hanaruŋ] (しだいにおいしくなる)、⌈マーハダ¬ラ　⌈ファ¬イヤー [⌈ma:hada¬ra ⌈Φa¬ija:] (おいしかったら食べなさい) ハイ⌈シャー　ファ¬イヤー [hai⌈ʃa: Φa¬ija:] (早くたべなさい)

⌈ナル [⌈naru] (名) み (実)。

フ⌈ナ¬ブヌ　ナル [fu̥⌈n̥a¬bunu naru] (みかんの実)、⌈キーヌ¬ナル [⌈ki:nu¬naru] (木の実)。

⌈ナルン [⌈naruŋ] (動) 実がなる (生る)。

⌈ウ¬ヌ　⌈ケー¬　ム⌈カッサ¬　ウッ⌈スハ　ナッタルヌ　ミヌマー¬　ナラヌ [⌈ʔu¬nu ⌈ke:¬ mu⌈kassa¬ ʔus⌈suha nattarunu minuma:¬ naranu] (この木は、昔はたくさん実がなったが今はならない)。⌈ナルヌ　ナル　ケー　クリトゥ　クリ [na⌈runu naru ke:¬ ku̥⌈r̥i¬tu ku̥⌈r̥i¬] (実がなる木は、これとこれだ) ⌈ナッタ¬ラ [⌈natta¬ra] (なったら)、⌈ナラバン [⌈narabaŋ] (なっても)、⌈ナリー [⌈nari:] (なれ)、⌈ウ¬ヌ　⌈キヌ　ナッティ¬ラー　フ⌈ナブン　ナルン [⌈ʔu¬nu ⌈kinu natti¬ra:fu̥⌈n̥abun naruŋ] (この木の実がなったらみかんもなる)

⌈ニー [⌈ni:] (名) 根。木の根。

⌈ニーヌ¬　フ⌈カハ¬ー [⌈ni:nu¬ fu̥⌈kaha¬:] (根が深い)、⌈ニー　パ¬リー [⌈ni: p⌈ḁ

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

r̥iː]（根が張っている)、⌈キーヌ　ニー［⌈kiːnu niː］（木の根)、⌈マイ⌉ヌ　ニー［⌈mai⌉nu⌈niː］（稲の根）

⌈ヌル［⌈nuru］（名）こけ（苔)。

⌈ヌル　フイ［⌈nuru Φui］（苔が生える）

⌈ヌビルン［⌈nubiruŋ］（動）伸びる。

⌈グムヌ　ヌビ⌉シタ［⌈gumunu nubi⌉ʃi̥ta］（ゴムが伸びた)。⌈サー⌉ンガバン ヌブ⌉ヌ［⌈saːŋgaban nubu⌉nu］（引っぱっても伸びない)、ピ⌈キ⌉チゥカバン ヌブ⌉ヌ［pi̥⌈ki⌉tsi̥kaban nubu⌉nu］（引っぱっても伸びない)。ピ⌈キ⌉チゥキ ヌ⌉バヒャー［pi̥⌈ki⌉tsi̥ki nu⌉baçaː］（引っぱって伸ばせ)、⌈ヌバヒミラー［⌈nubaçimiraː］（伸ばしてみよう)、⌈ヌバヒミルン［⌈nubaçimiruŋ］（伸ばしてみる)、⌈ヌビダラ⌉ キ⌈シルン⌉ユー　ッ⌈サ⌉ヌ［⌈nubidara⌉ ki̥⌈ʃiruɲ⌉juː s⌈sa⌉nu］（伸びたら切れるかも知れない）⌈ヌビリァー［⌈nubirjaː］（伸びよ）

⌈パ⌉ー［⌈pa⌉ː］（名）はっぱ（葉)。

⌈マイ⌉ヌ　⌈パ⌉ー［⌈mai⌉nu ⌈pa⌉ː］（稲の葉)、⌈ダイクニヌ　パ⌉ー［⌈daikuninu pa⌉ː］（大根の葉)、⌈マツヌ⌉　パー［⌈matsunu⌉ paː］（松の葉)、⌈パ⌉ーヌ　⌈ウティ［⌈pa⌉ːnu ⌈ʔuti］（葉が落ちる)。

⌈バーキー［⌈baːkiː］（名）ざる（笊)。

竹の皮で作った笊。⌈チルー［⌈tʃ'i̥ruː］（笊）に比べて底が浅い。

⌈バイ［⌈bai］（名）芽。

切り株より新芽を出したもの。⌈バガバイ　イディー［⌈bagabai ʔidiː］（若芽、新芽が出る)。

⌈バガバイ［⌈bagabai］（名）新芽。

「若芽」の義。⌈キーヌ　バーバイ　ジ⌉ール［⌈kiːnu baːbai ʃi⌉ːru］（木の新芽が出ている）

⌈バサヌナル［⌈basanunaru］（名）⌈芭蕉の実」。

バナナ。

⌈バタイリ［⌈batairi］（名）わたいれ（綿入)。

防寒服として購入し、着用した。綿そのものは栽培していなかった。⌈バタイリバ⌉　キ⌈ジ⌉ー［⌈batairiba⌉ ki̥⌈ʃi⌉ː］（綿入れを着る）

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

パ゚タギマイ [p'ḁtagimai]（名）陸稲。

「畑米」の義。太平洋戦争後に導入され、一時的に耕作したことがあった。長続きしなかった。

パ゚ナ [p'ḁn̥a]（名）はな（花）。

パ゚ナヌ　サキゥー [p'ḁn̥anusḁkï:]（花が咲いた)、パ゚ナヌ　カイヒャー [p'ḁn̥anu kaiça:]（花が美しい）

バラ [bara]（名）植物名。ばら（薔薇）。

バラヌ　パ゚ナ [baranu p'ḁn̥a]（ばらの花）。

バラピゥ [barapˢi̥]（名）わらび（蕨）。

あまり食べない。被調査者は食べたことがないという。バラペー　ファイ　ミラヌ [barape: Φaimiranu]（蕨は食べたことがない。）

パンス [p'ansu]（名）いちご（苺）。

野苺。茎や枝に針がある。赤い実をつけ、美味である。

パンスル [pansuru]（名）和名．バンジロウ。

蕃柘榴のこと。グヮバ。パンスルヌナル [pansurunu naru]（蕃柘榴の実)。昔は野生のパンスルが多かったが、最近はあまり見られなくなった。匂いが香ばしい。実の中に粟粒ほどの種子が多く、これを食べると便秘するといわれていた。

ピー [pi:]（名）植物名。ひえ（稗）。

田圃によく生える。雑草として嫌われいる。食しない。ピー　トゥリシティリ [pi: turiʃi̥tiri]（雑草の稗草を取り捨てなさい、除草しなさい）＊ [pi:]（千瀬）

ビジャ [bidʒa]（名）にら（韮）。

ビジャー　スーナ　イリ　ファイダラ　マハン [bidʒa: su:na ʔiri Φaidara mahaŋ]（にらは、お汁に入れて食べるとおいしい）。

ピニ [p'i̥n̥i]（名）稲穂の先にある芒。

シンバ [ʃimba]（千歯）で稲を扱き、臼に入れて搗き、芒を落した。これらをかぜに吹かせて飛ばし、籾にしたのを磨臼（すりうす）に入れて籾磨りをし、玄米にした。

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

ピㇳル [p'i̥ru] (名) にんにく (葫)。

にんにくは、たくさん植え付けていた。塩漬けにして食べると美味であった。甕に入れて塩漬けにした。ピㇳルーアーシ [p'i̥ru:a:ʃi] (にんにくの塩漬け)。ピㇳロー アージ ツキバドゥ マハル [p'i̥ro: ʔa:ʃi tsukibadu maharu] (にんにくは塩漬けにしておくとおいしい)。

プー [pu:] (名) ほ (穂)。

マイヌ プー [mainu pu:] (稲の穂)、ユシゥキヌ パナ [jusi̥kinu p'ḁnḁ] (すすきの花 (穂)。ムンヌ プー [munnu pu:] (麦の穂)。

ブー [bu:] (名) あさ (麻)。

麻糸。ブー チゥクリ [bu: tsi̥kuri] (麻を作る、栽培する)。麻の繊維。各家とも屋敷内の空き地に栽培していた。これより麻糸を作り、布を織るのに用いていた。

フキ [fu̥ki] (名) たけのこ (筍)。

「竹のクキ (茎)」の義か。

フクン [fu̥kuŋ] (動) 茂っている。

繁茂している。アックンヌ カザヌ フキー [ʔakkunnu kadzanu fu̥ki:] (芋のカズラが茂っている) ガザ フキドゥル [kadza fu̥kiduru] (葛が茂っている)、フカヌ [fu̥kanu] (茂らない) クヮイ イリダルドゥ フキル [kwai ʔiridarudu fu̥kiru] (肥料を入れたから茂っている)、ナーヌパーヌ サガリダラー アックンヌ カザン フクウン [na:nu pa:nu sḁkaridara: ʔakkunnu kadzan fu̥kuŋ] (菜葉が茂ったら芋のかずらも茂る) ムイカブリ [muikaburi] (雑草などがおい茂っている) これは、人間にとって不都合な植物が繁茂することに対していう。

フグン [ɸu̥kuŋ] (名) 植物名。和名。フクギ。福木。

屋敷林として重宝される。建築用材として古来重宝されてきた。材質が強く、防風林といて屋敷に植えられた。皮は染料 (黄色) といて用いられた。

プシキー [p'u̥ʃiki:] (名) 植物名。ひるぎ。

和名。アカバナヒルギ (オヒルギ)、メヒルギ。古見の人は、プシキーの中にいるガサミ [gasami] は苦い、といってあまりとらない。沖から漁獲する。プシキーは染料として用いた。赤褐色の色を染めるのに用いた。

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

フ゜ス [fu̥su]（名）ふし（節）。

タ゜キ゜ヌ　フ゜ス [t'ḁki̥nu fu̥su]（竹の節）、゜キーヌ゜　フ゜ス [ki:nu fu̥su]（木の節）。

゜ブダ゜ン [butaŋ]（名）ぼたん（牡丹）。

古見には牡丹の花はないが、踊りなどの飾りつけとして、゜ブダ゜ンの花を用いる。゜ブダ゜ンヌ　パ゜ナ゜ー [butannu p'ḁn̥a:]（牡丹の花）。

フ゜チゥ [fu̥tsï]（名）植物名。よもぎ（蓬）。

薬草の一種。フ゜チゥヌ゜パー [fu̥tsïnupa:]（よもぎの葉。蓬葉）。鶏のお汁には、このフ゜チゥヌ゜パーは欠かせない。野菜として利用する。山羊のような、生臭い匂いを消すのに用いる。解熱剤代用に、昔からフ゜チゥの葉を擂鉢で磨り潰して、その汁を飲ませた。゜ニチゥ　ンディ゜ブリバ　フ゜チゥヌ゜パー　トゥ゜リ゜　スプ゜リ゜　ヌマ゜ヒー [nitsï ʔndiburiba fu̥tsïnupa: t'u̥r̥i su̥puri numaçi:]（熱が出ているから、発熱しているから、蓬の葉を取ってきて、絞って飲ませ）

フ゜ツー゜ヌ　フ゜キー [Φu̥tsu:nu Φu̥ki:]（名）ぜんまい（薇）。

根が黒い。山にはたくさん自生している。゜サラムシルの茎の部分。くるくると巻いている。

゜フドゥ゜ブン [fudubuŋ]（動）成長する。育つ。

゜キーヌ　フドゥ゜ビ [ki:nu fudubi]（木が育つ）、゜ウ゜ヌ　゜ケー　フドゥ゜ブヌ [ʔunu ke: fudubunu]（この木は育たない）、゜フドゥ゜ビル　゜ケー゜　ピゥ゜トゥムトゥン　ミーヌ [fudubiru ke: pˢi̥tumutum mi:nu]（育った木は1本もない）、゜ウ゜ヌ　゜キーヌ　マイハ゜　ナ゜タ゜ラー　パ゜ナ゜ンガイ　゜ス゜ン [ʔunu ki:nu maihanatara: p'ḁn̥aŋgai suŋ]（この木が大きくなったら柱にする）

フ゜ナブー [fu̥n̥abu:]（名）みかん（蜜柑）。

「九年母」の義。古見では゜シークヮーシャー [ʃi:kwa:ʃa:]（ヒラミレモン）しかない。

゜フ゜ピゥシゥ [Φupˢi̥si̥]（名）植物名。ぐみ（茱萸）。和名。ツルグミ。

゜フピゥ゜シゥヌ　ナル [Φupˢi̥si̥nu naru]（ぐみの実）。古見ではたくさんあったが、最近ではあまり見られなくなった。昔、子供の頃、歯が浮くほど゜フ゜ピゥシゥの実を食べた。田の畔や畑の畔によく生えていた。今の子供は、゜フビー

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

[ˈΦubiː] と言っている。

ˈボーˈウン [ˈboːˈʔuŋ]（名）やまいも（山芋）の一種。

根は棒状に成長し、長いものは約1メートルに達することがある。もちみがあって美味である。

ˈホーˈチゥキゥ [ˈhoːˈtsi̥kï]（名）ほおずき（酸漿）。

ˈホーˈチゥキゥユ ˈナラˈヒ [ˈhoːˈtsi̥kïju ˈnaraˈçi]（ほおずきを鳴らしなさい）。女の子たちが野生のˈホイーˈチゥキゥの実をとって、口に入れて鳴らしながら遊んだ。

ˈマーミ [ˈmaːmi]（名）まめ（豆）の総称。

ˈアˈカマーミ [ˈʔaˈkamaːmi]（小豆。「赤豆」の義。あずき）、クゥˈマ(ー)ˈミ [kʻu̥m̥a(ː)ˈmi]（緑豆。「小豆（コマメ）」の義。「もやし」を作るのに用いる）。クゥˈマˈミサリ ˈマミナ ムヒー [kʻu̥m̥aˈmisari ˈmamina muçiː]（緑豆でもやしを作りなさい）

ˈマˈイ [ˈmaˈi]（名）イネ（稲）。

ˈザイライˈマイ [ˈdzairaiˈmai]（在来種の稲で、赤米、穂先に長い芒（ノギ）がある）。在来米の中で黒い色の米は、ˈガラスˈマイ [ˈgarasuˈmai] といい、赤い色の米はˈアカˈウスヌ [ˈʔakaˈʔusunu] という。これらは昭和30年頃まで作られていた。ˈホーライˈマイ [ˈhoːraiˈmai]（品種改良され、一般に普及されていた米）に対立する旧来の米。猪も、この米にはあまり害を加えなかった。

ˈマˈウリゥ [ˈmaˈurï]（名）まうり（真瓜）。

棚をかけず、露地栽培をする。実は大きく成長し、堅い。

ˈマシク [ˈmaʃi̥ku]（名）植物名。竹。

この品種の竹から採れる「たけのこ（筍）」は美味である。古見では、これがよくとれた。

ˈマチゥ [ˈmatsi̥]（名）植物名。和名。リュウキュウマツ。松。

ˈマˈチゥヌ ˈキー [ˈmaˈtsïnu ˈkiː]（松の木）。ˈマチゥヌ パˈー[ˈmatsïnu pʻaˈː]（松の葉）。昔は、松の枯れた根や幹の松脂を含んだ部分を削って、焚付に用いたり、灯火用にしたという。これをˈアカˈシゥ [ˈʔakaˈsi̥]（橙）といった。

ˈマチゥヌ アバ [ˈmatsïnu ʔaba]（連）松のやに（松脂）。

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

マンジュマイ [mandʒumai]（名）パパイヤ。

「万寿樹、蕃瓜樹、木瓜」(『八重山語彙』)。マンジュマイヌナル [mandʒumai nu naru]（パパイヤの実）

マミー [mamiː]（名）まめ（豆）。

豆の総称。アカマミ [ʔakamami]（あずき、小豆）。クマミ [k'u̥m̥ami]（緑豆、りょくとう）。マミー マキ [mamiː maki]（豆をまく）マミグル [mamiguru]（豆殻）

ムイルン [muiruŋ]（動）はえる（生）。

ッファヌ ムイ [ffanu mui]（草が生える)、ウマー ッファヌドゥ ムイル [ʔumaː ffanudu muiru]（ここには草が生える。）ッファー ムーヌ [ffaː muːnu]（草は生えない)、ムカッセー ウッスハー ッファヌ ムイダルヌ ミナー ムーヌ [mukasseː ʔussuhaː ffanu muidarunu minaː muːnu]（昔はたくさん草が生えたが、今は生えない)、ッファヌ ムイダラ スーリ シティリ [ffanu muidara suːri ʃi̥tire]（草が生えたら除草しなさい） ッファン ムイルン [ffam muiruŋ]（草も生える）ムーバン スーラヌ [muːban suːranu]（生えても除草しない）ムイラバン [muirabaŋ]（生えても）パイシャ スーリ [paiʃa suːri]（早く除草しなさい）スール ピゥトゥ [suːru psi̥tu]（除草する人）ムイヒラバ [muiçiraba]（生えてくれたら）

ムイルン [muiruŋ]（動）生える。

「萌える」の義。クンドゥーヤメー マイヌ ウッソーハダラ ムイ ドゥル [kundoːjameː mainu ʔussoːhadara muiduru]（今度は、稲がすごく分蘗して、おい茂っている。）ムーヌ [muːnu]（生えない)、ムイル ジケー アリドゥル [muiru dʒikeː ʔariduru]（生える時期がある)、マイン ムイルン [maim muiruŋ]（稲も生える)、マイヌ ムイダラ ミシャルムヌ [mainu muidara miʃarumunu]（稲が生えたらよいのになあ）マイヌ ムイダラ アマングイ スン [mainu muidara ʔamaŋgui suŋ]（稲が生えたら雨乞いをする)。パイシャ ムイリー [paiʃa muiriː]（早く生えよ）

ムー [muː]（名）海藻類。

ムーヌ ムイ [muːnu mui]（藻草が生えている)。海岸に流れ寄る藻草類

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

は、ユーリフサ [juːrifusa] といった。海底や浅瀬などに生えている海藻に対して、ムー [muː] (藻草) という。

ムジゥ [mudzï] (名) さといも (里芋)。

ムチゥ [mutsï] ともいう。

ムトゥ [mutu] (名) みき (幹)。

キーヌ　ムトゥ [kiːnu mutu] (木の幹)。キームトゥ [kiːmutu] (木、樹木、幹)。

ムン [muŋ] (名) むぎ (麦)。

ムン　カリ [muŋ k'ari] (麦を刈る) ムンヌ　バラ [munnu bara] (麦藁) 古見では小麦を作った。4、5月頃に刈り取った。あまり作らなかった。

ムン [muŋ] (名) やまもも。

和名. ヤマモモ。ムンヌ　ナル [munnu naru] (山桃の実)。昔は、山の入口の原野などに自生していた。最近は、山を焼くことができなくなって、原野そのものが樹木の繁るヤマ (密林) となっていて、ムン [muŋ] を見ることができない。原野の中では樹木が成長し、幹も太くなって、実がよくつく、密林の中ではムンの樹が細くなって、実をつけいないという。樹木そのものは生えているが、実をつけない。

ムンヌ　プー [munnu puː] (連) 麦の穂。

[ムン [muŋ] (名) むぎ (麦)

ヤサイ [jasai] (名) やさい (野菜)。

ユーナーキー [juːnaːkiː] (名) 植物名。和名. オオハマボウ。

ユシゥキ [jusïki] (名) すすき (薄)。

ユシゥキヌ　パナ [jusïkinu p'ana] (すすきの花)。ユシゥキヌ　パハナサリ　ポーキゥ　チゥクリ [jusïkinu p'anasari poːksï tsïkuri] (すすきの穂で箒を作れ)。古見では藁箒を作るのが多かった。すすきで箒を作ることは、めったになかった。

ユダ [juda] (名) 枝。木の枝。

ユダ　キシ [juda kiʃi] (木の枝を切れ) キーヌ　ユダ [kiːnu juda] (木の枝) ユダ　ウトゥヒ [juda ʔutuçi] (枝をおとしなさい)。

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

ユチゥリゥ [jutsïrï]（名）えつり。

屋根を葺く際に、タルキの上に張る、「竹製のすだれ」状のもの。その上に茅を乗せて屋根を葺く。ユチゥリゥ　アミー [jutsïrï ʔami:] えつりを編む)。フンダ　アミー [Φunda ʔami:]（竹床を編む）

ユッチゥリゥダキ [juttsïrïdaki]（名）「えつり竹」の義か。

屋根を葺く際のエツリを編むのに用いた竹。畑の畔などに自生していた。今は、あまり見られなくなった。

ユリ [juri]（名）ゆり（百合)。

ユリヌ　パハナー [jurinu p'ḁn̥a:]（百合の花）

ンジゥヌキー [ʔndzïunuki:]（名）植物名。

建築用材として珍重される。古見の山中より産する。

ンミ [ʔmmi]（名）うめ（梅)。

古見あたりは、小梅しかなかった。樹木そのものにも言う。ンミヌ　ナル [ʔmminu naru]（梅の実)。歌謡の中では「梅の花」と歌われている。

分野（４）人体語彙

アーシ [ʔa:ʃi]（名）あせ（汗）

アーシー　ンディ [ʔa:ʃi: ʔndi]（汗が出る)。アッツァヌ　アーシ　ンディ [ʔattsanu ʔa:ʃi: ʔndi]（暑くて汗が出る)。

アーフキゥ [ʔa:fu̥kï]（名）息切れすること。

走って、息が激しくなり、苦しくなること。

アイ [ʔai]（動）言え。

ムヌ　アイ　ヤヌ [munu ʔai janu]（ものを言わない)、ムヌ　アイ　ヤー [munu ʔaija:]（ものを言いなさい)、ウヌ　ピゥトゥンドゥ　アイダル [ʔunu pˢi̥tundu ʔaidaru]（その人が言った)、アイバ　ミシャル　ムヌ [ʔaiba miʃaru munu]（言えばよいのに)。アリヌドゥ　アイダル [ʔarinudu ʔaidaru]（あれが言った）

アガー [ʔaga:]（感）いたい!!、痛い!!

アカマチゥ [ʔakamatsi̥]（名）かみ（髪)。

頭髪。アカマチゥ　キッチー [ʔakamatsï kittʃi:]（髪を梳りなさい)。

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

アクピゥ [ʔakupˢi̥] (名) あくび (欠伸)。

アクピゥヌ ンディ [ʔakupˢi̥nu ʔndi] (あくびが出る)。アクピゥ シーナ [ʔakupˢi̥ ʃiːna] (あくびをするな)

アザ [ʔadza] (名) あざ (痣)。

黒い。アザヌ ンディ [ʔadzanu ʔndi] (あざが出る)。マリチゥキヌ ムンドゥ ヤル [maritsi̥kinu mundu jaru] (生まれつきのものである)。

アシプ [ʔaʃi̥pu] (名) おできの小さいもの。

「あせぼ (汗疣、汗疹)」の転訛したもの。アシプヌ ウミ [ʔaʃi̥punu ʔumi] (あせぼの膿)。庭先に生えているオオバコの葉を火であぶって、おできに当てると治るといわれていた。

アタルン [ʔatarun] (動) 当たる (中毒する)。

ウリ ファイダラ アタルンドゥラー [ʔuri faidara ʔatarundura:] (これを食べるとあたる《当たる、中毒する》よ)

アババ [ʔababa] (名) 唖者。言葉の不自由な人。

アルグン [ʔarugun] (動) あるく (歩)。

アルカヌ [ʔarukanu] (歩かない)、アルキゥシタ [ʔarukiʃi̥ta] (歩いた)、アルキシッタハン [ʔarukiʃi̥ttahan] (歩きたい)、アルキゥヤッサン [ʔarukijassan] (歩きやすい) アラギミラー [ʔaragimira:] (歩いてみよう)、ウマナー アルキゥナ [ʔumana: ʔarukˢi̥na] (ここでは歩くな)、アルクピゥトゥ ブラーヌ [ʔaruku pi̥tu bura:nu] (歩く人がいない)、ダー アルキゥシゥダラ バヌンアルグン [da: ʔaruki̥si̥tara banun ʔarugun] (君が歩いたら私も歩く) アルガバン [ʔarugaban] (歩いても)

パイシャ アルギ [paiʃa ʔarugi] (早く歩け)

イー [ʔi:] (名) い (胃)。

イキゥ [ʔikˢi̥] (名) いき (息)。

イキゥフキゥ [ʔikˢifu̥kˢi̥] (名) 息切れすること。

走って、呼吸が激しくなり、苦しくなること。

イシゥパル [ʔisi̥paru] (名) しょうべん (小便)。

「いばり (尿)」の転訛したもの。イシゥパル シー [ʔisi̥paru ʃi:] (小便をして)、イシゥパル スン [ʔisi̥paru suŋ] (小便をする)、イシゥパル

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

シジタ [ʔisï̥paru ʃiʃi̥ta]（小便をした）

イズン [ʔidzuŋ]（動）言う。叱る。

ムヌ イズ [munu ʔidzu]（ものを言う）。

ムヌ イザヌ [munu ʔidzanu]（ものを言わない）。イザリン [ʔidzariŋ]（叱られる）イジトウラハ [ʔidʒituraha]（叱ってやろう）、バーンドゥ イズ [ba:ndu ʔidzu]（私が叱る）、ダー イズナ [da: ʔidzuna]（君は叱るな）、ダー イジヒーリ [da: ʔidʒiçi:ri]（君が叱ってくれ）

イミ [ʔimi]（名）ゆめ（夢）。

イミ ミリ [ʔimi miri]（夢をみる）、アマヌ イミ ミリ ニピゥサルヌ [ʔamanu ʔimi miri nipˢï̥sarunu]（あまりにも夢をみるので眠れない）、イミ ミルン [ʔimi miruŋ]（夢をみる）、イミ ミリ [ʔimi miri]（夢をみて）、ウヤヌ イミ ミリ [ʔujanu ʔimi miri]（親の夢を見る）

イユヌミ [ʔijunumi]（名）いぼ（疣）。魚の目ではないという。

ティーナー イユヌミーヌ イディー [ti:na: ʔijunumi:nu ʔidi:]（手にいぼが出た）

ウームン [ʔu:muŋ]（動）およぐ（泳）。

ウーマヌ [ʔu:manu]（泳がない）、ウーミシタ [ʔu:miʃi̥ta]（泳いだ）、ウマナー ウーミナ [ʔumana: ʔu:mina]（ここで泳ぐな）、キューヤ ウーミッタハダルー [kju:ja ʔu:mittahadaru:]（今日は泳ぎたい）、キューン ウームン [kju:ŋ ʔu:muŋ]（今日も泳ぐ）、ウーム ピゥトゥヌ ブラヌ [ʔu:mu pï̥tunu buranu]（泳ぐ人がいない）、ダーヌ ウーミーダラ バヌン ウームン [da:nu ʔu:mi:dara banuŋ ʔu:muŋ]（君が泳いだら私も泳ぐ）ウンターシ アザブン [ʔunta:ʃi ʔasabuŋ]（水泳して遊ぶ）イカスク ウーマバン ジョーッチゥ ナラヌ [ʔikasu̥ku ʔu:maban dʒo:ttsï naranu]（いくら泳いでも上手にならない）パイシャ ウーミャー [paiʃa ʔu:mja:]（早く泳ぎなさい）

ウキルン [ʔukiruŋ]（動）起きる。

ルクジナ ウキルン [rukudʒina ʔukiruŋ]（六時に起きる）、ウキングリハヌ [ʔukiŋgurihanu]（起きにくい）、ウクヌ [ʔukunu]（起きない）、ウキシタ [ʔukiʃi̥ta]（起きた）、グジナ ウキゥナダラ ナラヌ [gudʒina ʔuk

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

ïnadara naranu] (五時に起きなければならない)、ウキゥッタハー [ʔuksï̥ttaha:] (起きたい)、ウキヤッサダル [ʔukijassadaru] (起きやすい)、サッツァサッツァ　ウキラリドゥ　スー [sattsa sattsa ʔukiraridu su:] (すがすがしく起きられる)、ダー　ウクバン〜 [da: ʔukubaŋ〜] (君が起きても〜) ウキリー [ʔukiri:] (起きろ、起きなさい)
パイシャ　ウキリバ　ミシャルムヌ [paiʃa ʔukiriba miʃarumunu] (早く起きればよいのに) ダーヌ　ウキゥダラ　バヌン　ウキルン [da:nu ʔuks ï̥tara banuŋ ʔukiruŋ] (君が起きたら私も起きる) バー　ウクヌ [ba: ʔukunu] (私は起きない)

ウッスン [ʔussuŋ] (名) 後頭部、ぼんのくぼ (盆窪)。

ウヅフキ [ʔutsufu̥ki] (名) ①しゃがむ (屈)、かがむこと。

ミチゥヌ　スバナー　ウツフキ [mitsïnu subana: ʔutsufuki] (道ばたにしゃがむ)。②うつむく。アックン　プルンディ　ウヅフキブル [ʔakkum purundi ʔutsufukiburu] (藷を掘ろうと、うつむいている) タク　トゥルンディ　ウヅフキブル [tḁku turundi ʔutsufu̥kiburu] (蛸をとろうと、うつむいている)。ミチゥヌ　スバナー　ウヅフキ　パナフン [mitsïnu subana: ʔutsufu̥ki panafuŋ] (道ばたにしゃがんで話す) パナシゥッタラ　ミシャルムヌナー [pʻḁn̥asï̥ttara miʃarumununa:] (話したらよいのになあ) パナハヌ [panahanu] (話さない)、パナヒシタ [panaçiʃï̥ta] (話した)、パナシゥタハン [panasï̥tahaŋ] (話したい) パナフクトゥナラヌ [pḁn̥afukutu naranu] (話すことができない) バーンドゥ　パナフ [ba:ndu panafu] (私が話す) バンカラ　パナフン [baŋkara pḁn̥afuŋ] (私から話す) パナッシゥナ [pʻḁn̥assïna] (話すな)

ウッフィルン [ʔuffiruŋ] (動) おぼれる (溺)。

ヤラビヌ　ウッフィー [jarabinu ʔuffi:] (子供がおぼれる)、ウッフィードゥル [ʔuffi:duru] (おぼれている)、ウヌ　ファー　ウッフヌ [ʔunu fa: ʔuffunu] (この子は溺れない)、ダー　ウッフィーダラ　バヌン　ウッフィドゥ　スー [da: ʔuffi:dara banuŋ ʔuffi:du su:] (君が溺れたら私も溺れる)、ウッフィーリバ　ミシャル　ムヌ [ʔuffi:riba miʃaru munu] (溺れればよいのに)、ウッフィャー [ʔuffja:] (溺れろ) ヌバイ　サバン

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

ウッフヌ [nubai sabaŋ ʔuffunu]（どんなにしても溺れないよ）ウッフィルバス　ミナクリハダータル [ʔuffiru basu minakuriha da:taru]（溺れた時は怖かった）

ウディ [ʔudi]（名）うで（腕）。

カイナ [kaina] ともいう。

ウビ [ʔubi]（名）ゆび（指）。

ウブブイ [ʔububui]（親指、「大指」の義）。ウベマー [ʔubema:]（小指）。

ウブバダ [ʔububada]（名）。

いのしし（猪）など、動物や家畜の大腸をいう。

ウミ　[ʔumi]（名）化膿してできたうみ（膿）。

ニーブタヌ　ウミ [ni:butanu ʔumi]（おできの膿、根太の膿）。ウンミ [ʔummi]（膿）とも聞こえる。

ウムディ [ʔumudi]（名）顔。

「おもて（面）」の義。ウムディ　ッシミ [ʔumudi ʃʃi̥mi̥]（顔を洗う）。

カー [ka:]（名）かわ（皮）、皮膚。

ティーヌ　カー [ti:nu ka:]（手の皮、皮膚）。ウムディヌ　カー [ʔumudi nu ka:]（顔の皮、皮膚）。

カー　パギ [ka: pagi]（皮が剥ける）

カーミー [ka:mi:]（名）ひとえまぶた。

アヌ　ピゥトー　カーミー [ʔanu pˢi̥to: ka:mi:]（あの人は一重瞼だ）

カイナ [kaina]（名）うで（腕）。

カイナ　クーリ [kaina ku:ri]（肩や腕がこる）。

カウファー [kauΦa:]（形）くすぐったい。

バクンダニヌ　カウファー [bakundaninu kauΦa:]（腋の下がくすぐったい）

カクチゥ [kḁkutsï]（名）あご（顎）。

「あご」全体の称。

カクラギ [kḁkuragi]（名）むねやけ。

イモ（芋）を食べると、よく胸やけをした。

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

カクン [kḁkuŋ]（動）かく（掻く）。

ドゥー　ビューファヌ　カク [du: bju: Φanu kḁku]（体が痒いので掻く）。ドゥー　カキ [du: kaki]（体を掻く）、カカヌ [kḁkanu]（掻かない）、カキシタ [kḁkiʃi̥ta]（掻いた）、カキゥナ [kḁkˢïna]（掻くな）、カキャー [kḁkja:]（掻きなさい）、カキゥッタハ [kḁkˢïttaha]（掻きたい）、ダー　カキゥッダラ　バヌン　カクン [da: kḁkˢïttara banuŋ kakuŋ]（君が掻いたら私も掻く）。イカスク　カカバン　トゥマラヌ [ʔikasu̥ku kḁkaban t'u̥ mḁranu]（いくら掻いても止まらない）カキミルン [kḁkimiruŋ]（掻いてみる）カククトゥ [kḁkukutu]（掻くこと）カキバ　ミシャルムヌ [kḁkiba miʃarumunu]（掻けばよいのに）カカバン　カカバン　ヌーラヌ [kḁkabaŋ kḁkaban nu:ranu]（掻いても掻いてもなおらない）カキマザヒ [kḁkimadzaçi]（掻き混ぜる）

カザ [kadza]（名）におい（臭い、匂い）。

カザヌ　スー [kadzanu su:]（においがする）。ッファハル　カザンドゥ　スー [ffaharu kadzandu su:]（臭いにおいがする。悪臭がする）

ガシゥキ [gasi̥ki]（動）はしる（走る）。

ガシゥキパリャ [gasi̥kip'ḁr̥ja]（走って行け）、ガシゥキパラヌ　ブリャ [gasi̥kiparanu burja]（走って行くな）、ピゥトゥヌ　ガシゥキパッタロー [pˢi̥tunu gasi̥kipattaro:]（人が走って行った）、ガシゥクナブリャ [gasi̥kunaburja]（走らないでおれ、走るな）

カシゥニ [k'ḁsi̥ni]（動）せおう（背負う）。

クスナミナ　ニー　カシゥニ [ku̥sunamina ni: k'ḁsïni]（背中に荷を背負う）、ファー　カシゥニ [Φa: k'ḁsïni]（子供を背負う）。

カタ [kḁta]（名）かた（肩）。

カタナ　カタミ [kḁtana kḁtami]（肩に担ぐ）。

カタチゥ [kḁtatsi̥]（名）すがた（姿）。

「かたち（形）」の義。「すがたかたち」の意。

カタツプル [k'ḁtatsu̥puru]（名）「片頭」の義。頭の半分の意。

カタツプルヤミ [k'ḁtatsupurujami]（偏頭痛）。

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

カタティー [kḁtatiː]（名）一対の水担桶（みずたご）のなかの、片方の１つ。

一対の担桶を、ピゥトゥカタミ [pi̥tukatami]（「一担ぎ」の義。担桶の一対）という。

カタミルン [kḁtamiruŋ]（動）かつぐ（担）。

カタミ [k'ḁtami]（かつぐ）、カタミシタ [kḁtamiʃi̥ta]（担いだ）、カタムヌ [kḁtamumu]（担がない）、カタミッタハヌ [kḁtamittahanu]（担ぎたくて〜）、カタミル ピゥトゥヌ ブラヌ [kḁtamiru pˢi̥tunu buranu]（担ぐ人がいない）、ユー カタミダン [juː kḁtamidaŋ]（よく担いだ）、バヌン カタミルン [banuŋ kḁtamiruŋ]（私も担ぐ）、ダー カタミダラ バヌン カタミルン [daː kḁtamidara banuŋ katamiruŋ]（君が担いだら、私も担ぐ）パイシャ カタミリャ [paiʃa k'ḁtamirja]（早く担ぎなさい）ターラ カタミルン [taːra kḁtaminuŋ]（俵を担ぎます）ターラ カタミリ [taːra katamiri]（俵を担ぎなさい）アウダナ ムヌ イリ ナカナヒ カタミリャ [ʔaudana munu ʔiri nakanaçi kḁtamrja]（もっこに、ものを入れて担ぎなさい）

カタルン [kḁtaruŋ]（動）語る。

カタライ オーリル [kḁtarai ʔoːriru]（語りあっておられる）

カタンギ ニピゥシャ [k'ḁtaŋgi nipi̥ʃa]（連）横になって休む。

体を横にする。

カチゥミルン [kḁtsi̥miruŋ]（動）つかむ（掴む）。

ヌストゥル カチゥミン [nusi̥turu kḁtsi̥miŋ]（どろぼうをつかまえる）、カチゥミナ [kḁtsi̥mina]（つかまえるな）、カチゥミシタ [kḁtsi̥miʃi̥ta]（つかまえた）、カチゥミッタハン [kḁtsi̥mittahaŋ]（つかまえたい）、バー カチゥムヌ [baː kḁtsi̥munu]（私はつかまえない）

ガバ [gaba]（名）あか（垢）。

ガバ ウトゥヒ [gaba ʔutuçi]（垢をおとす）、ガバ フイ [gaba fui]（垢がついた。「あか 喰い」の義か）

カブン [kabuŋ]（動）かぐ（嗅ぐ）。

カザ カブン [kadza kabuŋ]（臭を嗅ぐ）。

カザヌ ッファハ [kadzanu ffaha]（臭が臭い）、カザヌ カバッサー [k

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

adzanu kabassa:] (匂いが香ばしい)

カブリゥ [kaburï] (動) かぶる (被る)。

アッツァリバ ボーシ カブリー [ʔattsariba bo:ʃi kaburi:] (暑いから帽子をかぶれ)、バーンドゥ カブリゥ [ba:ndu kaburï] (私がかぶる)、バー カブラヌ [ba: kaburanu] (私は被らない)、サチゥ カブリ [satsï kaburi] (手拭をかぶる) サチゥ [satsï] (名) てぬぐい (手拭)。

カヤ [kaja] (名) 肘から手首までの腕。

カヤ ウクリネーヌ [kaja ʔukurine:nu] (田草などをとるときに、腕の痛みが起こる)

カラバリ [k'arabari] (名) あかぎれ。

ピーシャ ナリー カラバリ シーミーヌ [pi:ʃa nari: k'arabari ʃi:mi:nu] (寒くなって、あかぎれしてしまった)、海水に入ると、すぐにあかぎれを起こしたものである。ターヌ ミタ ウトゥハナー ピー ヌクミブリドゥ カラバリ シーミーヌ [ta:numita ʔutuhana: psï: nukumiburidu k'arabari ʃi:mi:nu] (田の泥を落さないで火に当って、暖をとっていると、あかぎれしてしまった)

カルハン [k'aruhaŋ] (形) かるい (軽い)。

カルハミーヌ [k'aruhami:nu] (軽くない)、カルハダル [karuhadaru] (軽かった)、タダーイ カルハドゥ ナル [tada:i k'aruhadu naru] (だんだん軽くなる)、カルハダラ ムツンドゥラ [k'aruhadara mutsundura] (軽かったら持つよ)、カルハル ムヌ ムツ [k'aruharu munu mutsu] (軽いものを持つ)、ウトゥドー バヌランマ カルハダル [ʔutudo: banuramma k'aruhadaru] (弟は私よりも軽い) カルハンギシャドゥリャン [k'aruhaŋgiʃadurjaŋ] (軽そうだ)

カンタリー [kantari:] (動) かむ (噛む)。

チューク カンタリー ファイヤ [tʃu:ku kantari: faija:] (強く噛んで食べなさい)、カンタラヌ [kantaranu] (噛まない)、カンタルナ [kantaruna] (噛むな)

キッチー [kittʃi:] (動) 髪を梳る。

アカマチゥ キッチー [ʔakamatsï kittʃi:] (髪の毛を梳れ)。アカマチゥ

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

キッツァナー　カンタ　カブリー [ʔakamatsï kittsana: kanta kaburi:]（髪の毛を梳らないで、乱れている）、キッツァナブリ　カンタカブリー [kittsanaburi: kanta kaburi:]（梳らないでいて、髪が乱れている）

キゥム [kˢi̥mu]（名）かんぞう（肝臓）。

キンクー [kiŋku:]（名）けんこう（健康）。

キンクー　ダイイチゥ [kiŋku: daiʔitsi̥]（健康が第一だ）。ウヌ　アザマー　キンクー [ʔunu ʔadzama: kiŋku:]（あの叔父さんは健康だ）。

クイ [kui]（名）こえ（声）。

クイヌ　マイヒャー [kuinu maiça:]（声が大きい）。ピゥトゥヌ　クイヌ　シゥカリルン [pˢi̥tunu kuinu si̥karirun̩]（人の声が聞こえる）

グジ [gudʒi]（名）たこ（胼胝）。

こすれて、その部分の皮が堅く盛り上ったもの。ティーナー　グジー　ンディ [ti:na: gudʒi: ʔndi:]（手にたこが出来た）

クシゥ　マーリ [ku̥sï ma:ri]（連）腰が曲る。

ウイピゥトゥ　ナリ　クシゥ　マーリ [ʔuipˢi̥tu nari ku̥sï ma:ri]（老人になって腰が曲っている）

クス [kusu]（名）こし（腰）。

クスヌ　ヤミ [ku̥sunu jami]（腰が痛い）

グズグリ [gudzuguri]（動）くすぐる（擽）。

バクンダニ　グズグリ [bakundani gudzuguri]（腋の下をくすぐる）

クスナミ [ku̥sunami]（名）せなか（背中）。

クスブニ [ku̥subuni]（名）背骨。

クスブニヌ　マイヒャー [ku̥subuninu maiça:]（背骨が大きい）。

クダシャー [kudaʃa:]（名）げり（下痢）。

クダシャー　シー [kudaʃa: ʃi:]（下痢をする）。豆腐の粕を食べると、よく下痢をした。ミズ　ニー　クダシャー　シー　[midzu ni: kudaʃa: ʃi:]（水のように下痢をして）

クブラアリー [kuburaʔari:]（名）こぶらがえり。

グマバダ [gumabada]（名）いのしし（猪）など、動物や家畜の小腸をいう。

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

クンガーキー [kuŋga:ki:]（名）ほおかぶり（頬被り）。

「かおかぶり（顔被り）」の義か。クンガーキ スン [kuŋga:ki suŋ]（ほおかぶりする）

クンジョー ウクリ [kundʒo: ʔukuri]（連）腹をたてる。

立腹する。

ザールクイ [dza:rukui]（名）しわがれ声。

ザール [dza:ru] とは、樹木などが朽ちて、穴のあいているものなどをさしていう。クチ [kutʃi] は「朽ち、腐れたもの」をさし、ザールは「穴のあいたもの」をいう。

サク [saku]（名）せき（咳）。

サク シー [saku ʃi:]（咳をする）パナシッキ カカリー サク シー ナラヌ [p'anasïki kakari: saku ʃi: naranu]（風邪をひいて、咳をして仕様がない）

シゥカッタリ [sïkattari]（名）しわくちゃになっているさま。

シゥタ [sïta]（名）した（舌）。

シゥタヌ ヤミ [sïtanu jami]（舌が痛い）シゥタ マーラヌ [sïta ma:ranu]（舌がまわらない）

シューフキ [ʃu:fuki]（名）くちぶえ（口笛）。

シューフキ スン [ʃu:fuki suŋ]（口笛をふく。「～する」の義）。夜は、口笛を吹くと叱られた。脱穀するときは、口笛を吹いて風を呼んだ。ユルーシューフキー シダラー マチゥプヌ ヤラブ [juru: ʃu:fuki: ʃitara: matsïpunu jarabu]（夜、口笛を吹いたら、まじもの（蠱物）を呼ぶ）と言って、夜の口笛を忌み嫌った）

シンダフー [ʃindaɸu:]（名）X脚で歩くさま。

スーマー [su:ma:]（名）やぶにらみ。しゃし（斜視）。

スーミー [su:mi:] ともいう。「白目（しろめ）」の義か。目の玉の向きが両眼で一致せず、一方が別の方向にむく。眼病の一種。アヌ ピゥトー スーマー [ʔanu p'ïto: su:ma:]（あの人は斜視だよ）

スクン [sukuŋ]（動）きく（聞く）。

パナシ スクン [panaʃi sukuŋ]（話を聞く）、スカヌ [sukanu]（聞かな

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

い)、スキシタ [sukiʃita] (聞いた)、スキー ミタル クトゥー アルン [suki: mitaru kutu: ʔaruŋ] (聞いてみたことがある)
スクナ [sukuna] (聞くな)、スカヌ [sukanu] (聞かない)、スキー [suki:] (聞きなさい)、スカヌドゥラー [sukanudura:] (聞くなよ)、スキバ ミシャルムヌ [sukiba miʃaru munu] (聞けばよいのに)、 ダー スキダラー バヌン スクン [da: sukidara: banun sukuŋ] (君が聞いたら私も聞く) ウヤヌ トゥスケー ユー スキー ドゥラー [ʔujanu tusuke: ju: suki: dura:] (親の言いつけは、よく聞きなさいよ。よく守れよ)

スニ [s'uni] (名) すね (脛)。膝と足首の間。

スニバ キリー ヤマヒネーヌ [s'uniba k'iri: jamaçine:nu] (脛を蹴って痛めてしまった。「～病ましてしまった」)

スプルパナ [supurupana] (名) はげしい下痢。

よだれのような便が出る下痢。

タキ [taki] (名) たけ (丈)。背丈。身長。

タキ タカハ [t'aki takaha] (背丈が高い。身長が高い)。

ダグン [daguŋ] (動) だく (抱く)。

ファー ダグ [Φa: dagu] (子供を抱く)、ダガヌ [daganu] (抱かない)、ダギシタ [dagiʃita] (抱いた)、ダグナ [daguna] (抱くな)、ダギドゥル [dagiduru] (抱いている)、ダギッタハー [dagittaha:] (抱きたい)、ダギミラ [dagimira] (抱いてみよう) ダー ダキゥシゥタラ バヌン ダグン [da: dakïsïtara banun daguŋ] (君が抱いたら私も抱く)、パイシャ ダギバ ミシャルムヌ [paiʃa dagiba miʃaru munu] (早く抱けばよいのに)。イカシゥク ダガバン ナケゥー トゥマラヌ [ʔikasïku dagaban nakë: t'umaranu] (いくら抱いても泣きやまない) ハイシャ ダギャー [haiʃa dagja:] (早く抱きなさい) ニー ヤカダナ ダキ [ni: jakadana dagi] (荷物を脇に抱け)

ダシゥキビリ [dasïkibiri] (名) あぐら (胡座)。

「種取祭」には、「ひざまずき」をさせない。昔は発芽した種もみを苗代に播種する際、「ひざまずき」をすると苗が浮いて根づかないと信じられて、それを忌み嫌った。あぐら (胡座) をかいて座ると、稲種がちゃんと根付くといわ

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

れた。シゥ˹キッ˺タイビシ [sɿ̥˹kit˺taibiʃi]（あぐら）ともいう。シゥ˹キッ˺タイビシ ˹ス˺ン [sɿ̥˹kit˺taibiʃi ˹su˺ŋ]（あぐらをかく）

タ˹チゥ [tḁ˹tsɿ]（名）すいぞう（膵臓）。

タ˹ツン [tḁ˹tsuŋ]（動）たつ（立つ）。

タ˹チー [tḁ˹tʃiː]（立ち）、タ˹ツァヌ [tḁ˹tsanu]（立たない）、タ˹チ˺シタ [tḁ˹tʃi˺ʃi̥ta]（立った）、タ˹チミルン [tḁ˹tʃimiruŋ]（立ってみる）、˹ウマナー˺ タツ˹ナ [ʔumanaː˺ tʻḁtsu̥˹na]（ここに立つな）、タ˹ツクトゥ ムツ˺カハヌ [tḁ˹tsukutu mutsu˺kahanu]（立つことはむつかしい）、パイ˹シャー˺ タ˹チバ ミシャル˺ムヌ [pai˹ʃaː˺ tḁ˹tʃiba miʃaru˺ munu]（早く立てばよいのに）、˹ダー タ˹ツァバン バー タ˹ツァヌ [˹da˺ː tḁ˹tsabam ba˺ː tḁ˹tsanu]（君が立っても私は立たない）。˹ウマナ˺ タチャー [˹ʔumana˺ tatʃaː]（ここに立て）

˹ダブラ [˹dabura]（名）ふくらはぎ（脹脛）。

脛の後ろの肉のふくれた部分。

˹チゥ˺ー [˹tsɿ˺ː]（名）ち（血）。

˹チゥ˺ー ンディ [˹tsɿ˺ː ʔndi]（血が出る）、˹ウヤヌ チゥ˺ー ピキー [˹ʔujanu tsɿ˺ː pi̥kiː]（親の血を引く）、˹ウヤヌ チゥ˺ー ピキー ドゥ アイ サ˹キ˺ー ヌムー [˹ʔujanu tsɿ˺ː pi̥kiːdu ʔai sḁ˹ki˺ː numuː]（親の血を引いて、あんなに酒を飲むのだ）

˹チゥー [˹tsɿː]（名）ちち（乳）。ちぶさ（乳房）。

˹チゥー ヌマヒ˺ー [˹tsɿː numaçi˺ː]（乳を飲ませなさい。授乳しなさい）。

チゥ˹カ˺ラ [tsɿ̥˹ka˺ra]（名）ちから（力）。

チゥ˹カ˺ラヌ ˹チゥーハ˺ー [tsɿ̥˹ka˺ranu ˹tsɿːha˺ː]（力が強い）

チゥ˹キヌムヌ [tsɿ̥˹kinumunu]（連）げっけい（月経）。

「月のもの」の義。

チゥ˹クマルン [tsɿ̥˹kumaruŋ]（動）うずくまる（蹲る）。

身体をまるくしてしゃがむ。˹バダヤミ˺ チゥ˹クマリ˺ブル [˹bada jami˺ tsɿ̥˹kumari˺buru]（腹が痛んでうずくまっている）。チゥ˹クマリー ブラ˺ヌ [tsɿ̥˹kumariː bura˺nu]（うずくまっていない）、チゥ˹クマリー ブタ˺ル [tsɿ̥˹kumariː buta˺ru]（うずくまっていた）、チゥ˹クマラヌ [tsɿ̥˹kumaranu]（うずくまらない）、チゥ˹クマリドゥ˺ル [tsɿ̥˹kumaridu˺ru]（うずくまっている）˹ダー

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

チゥクマッダラー　バヌン　チゥクマラルン　ドゥラ［da：tsïkumattara： banun tsïkumarun dura］（君がうずくまたら私もうずくまるよ）

チゥプシゥ［tsïpusï］（名）ひざ（膝）。

チゥプシゥヌ　サラ［tsïpusïnu s'ara：］（ひざがしらの平たい皿状の骨、膝蓋骨）。

チゥラ［tsïra］（名）つら（面）。顔のこと。

チゥラー　アカミー［tsïra： ʔakami：］（顔が赤くなって、顔が赤らんで）。

チゥラヌ　カー　アッツァ［tsïranu ka： ʔattsa］（面の皮が厚い、鉄面皮である、厚顔無恥）

チゥラ　フクリ［tsïra fukuri］（連）怒って顔をふくらませること。

チゥピヌ　ミー［tsïpinu mi：］（連）こうもん（肛門）。

チカミー［tʃikami：］（名）近視。

「近か目」の義か。目病の一つ。

チピ［tʃipi］（名）しり（尻）。

チピ　タタキ［tʃipi tataki］（尻をたたく）。チピヌ　マイヒャー［tʃipinu maiça：］（尻が大きい）、ウブチピ［ʔubutʃipi］（大きな尻）、チピ　ンブハー［tʃipi ʔmbuha：］（「尻が重い」の義。なかなか仕事をしない者。怠け者）、チピ　カルハー［tʃipi karuha：］（「尻が軽い」の義。さっさっと働く人。言いつけられたら、すぐ働く。働き者の意。標準語の「尻軽」の意はない）。

チンチゥ［tʃintsï］（名）つば（唾）。唾液。

チンチゥ　パキ［tʃintsï p'aki］（唾を吐く）、チンチゥ　パキャ［tʃintsï p'akja：］（唾を吐け）。

ッサイ［ssai］（名）しらが（白髪）。

ッサイヌ　ムイ［ssainu mui］（白髪が生えた）、ッサイヌドゥ　ムイル［ssainudu muiru］（白髪が生えている）

ッフィ　［ɸΦi］（名）いんもう（陰毛）。

最近では、フイ［Φui］という人がいる。

ッフィーヌ　ムイ［ɸΦi：nu mui］（陰毛が生える）、ッフィーヌ　ムイシタ［ɸΦi： nu muiʃita］（陰毛が生えた）

ッフル［ɸΦuru］（名）こうがん（睾丸）。

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

ッフ [ffu]（名）大便。

ッフ　マリ［ffu mari］（大便する）ッフォー　マリ［ffoː mari］（大便をする）ともいう。ッフ　フカヒー［ffu fukaçiː］（大便をもらす。大便を失禁する）

ツプル [tsu̥puru]（名）あたま（頭）。

ツプルヌ　マイヒャー［tsu̥purunu maiçaː］（頭が大きい）。ツプル　アラウン［tsu̥puru ʔarauŋ］（頭を洗う）。ツプルンドゥ　ヤム［tsu̥purundu jamu］（頭が痛い）。アカマチゥ　アラウン［ʔakamatsï ʔarauŋ］（髪を洗う）

ツプルヤミ [t'su̥purujami]（名）頭痛。

「頭病み」の義。ツプルンドゥ　ヤム［ts'u̥purundu jamu］（頭が痛い、「頭が病む」の義）。

ツミー [ts'u̥m̥iː]（名）つめ（爪）。

ツミー　キシー［ts'u̥m̥iː ki̥ʃiː］（爪を切る）、ツミー　ツミー［ts'u̥m̥iː ts'u̥m̥iː］（爪をつめる）ということが多い。

ティー [tiː]（名）て（手）。

肩から指先までの総称。ティーヌ　マイヒャー［tiːnu maiçaː］（手が大きい）、ティーヌ　ナーバー［tiːnu naːhaː］（手が長い。「盗癖がある」の意もある）。

ティーチゥクン [tiːtsïkuŋ]（名）こぶし（拳）。

ティーチゥクン　シラレー［tiːtsï̥kuŋ ʃirareː］（げんこつでなぐられる。「拳骨される」の義）。

ティーヌ　ピサ [tiːnu pi̥sa]（連）手の平。

たなごころ（掌）。

ティーヌ　フピゥ [tiːnu fupˢï̥]（連）「手の首」の義。

手首の意。

ティーパイ [tiːpai]（名）てあし（手足）。

ティーパイ　ピングリ［tiːpai piŋguri］（手足が冷える）

ドゥー　[duː]（名）からだ（体）。

「胴」の義。ドゥー　アッタラハー　シー［duː ʔattarahaː ʃiː］（体を大

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

事にしなさい)。

⌈ドゥー⌉ガンズー [⌈du:⌉gandzu:] (名) 健康。

「胴頑丈」の転訛したもの。⌈ドゥー⌉ガンズーハー ⌈ナリ [⌈du:⌉gandzu:ha: ⌈nari] (健康になれ、「胴頑丈さなれ」の義)。⌈ガンズームヌ [⌈gandzu:munu] (健康な人、頑丈者)。

⌈ドゥーヤマヒ [⌈du:jamaçi] (名) けが (怪我)。

ク⌈ル⌉ビ ⌈ドゥーヤマヒ [k'u̥⌈ru̥⌉bi ⌈du:jamaçi] (転んで怪我をした。「~胴を痛ました」の義)

⌈ドゥギリ [⌈dugiri] (動) 大声で叫ぶ。

⌈ドゥギンナ [⌈duginna] (叫ぶな)、ドゥ⌈ギリダ⌉ラ ⌈ナラヌ [du⌈girida⌉ra ⌈naranu] (叫んだらいけない)

⌈ナイグ [⌈naigu] (名) びっこ (跛)。

⌈ナイグ シ⌉ー [⌈naigu ʃi⌉:] (びっこを引く)、⌈ナイグ ス⌉ン [⌈naigu su⌉ŋ] (びっこをひく)。

⌈ナ⌉キゥ [⌈na⌉kˢi̥] (動) 泣く。

⌈ナ⌉カヌ [⌈na⌉kanu] (泣かない)、⌈ナキゥ⌉シタ [⌈nakï⌉ʃi̥ta] (泣いた)、⌈ナカ⌉ヌブリャー [⌈naka⌉nuburja:] (泣くな、「泣かずに居れ」の義か)。⌈ナカ⌉ヌドゥ⌈ラ [⌈naka⌉nu du⌈ra] (泣かないよ)。⌈ナキゥ⌉タハヌ [⌈nakˢi̥⌉tahanu] (泣きたい)、⌈ダ⌉ー ⌈ナキゥ⌉タラー ⌈バヌン⌉ ナクン ドゥ⌈ラ [⌈da⌉: ⌈nakˢi̥⌉tara: ⌈banun⌉ nakun du⌈ra] (君が泣いたら、私も泣くよ)、⌈ヤラビンドゥ ナ⌉キル [⌈jarabindu na⌉kiru] (子供が泣いている)

⌈ナダ [⌈nada] (名) なみだ (涙)。

⌈ナダヌ イディ [⌈nadanu ʔidi] (涙が出る)。⌈ガマ⌉ラハヌ ⌈ナダヌドゥ イディル [⌈gama⌉rahanu ⌈nadanudu ʔidiru] (悲しくて涙が出てくる)

⌈ナ⌉チゥアシブ [⌈na⌉tsïʔaʃi̥bu] (名) あせぼ。

「夏あせぼ」の義。⌈ナ⌉チゥアシプ ン⌈ディ [⌈na⌉tsïʔaʃi̥pu ʔn⌈di:] (夏あせぼが出る)

⌈ニチゥ [⌈nitsï] (名) ねつ (熱)。

⌈ニチゥ ンディー [⌈nitsï ʔndi:] (熱が出た)。⌈ニチゥ⌉ サ⌈マリ⌉シタ [⌈nitsï⌉ s'ḁ⌈m̥ari⌉ʃi̥ta] (熱が下った)

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

ニピゥスン [nipïsuŋ]（動）ねむる（眠る）。

ニピゥシ [nipïʃi]（眠る）、ニピゥサヌ [nipïsanu]（眠らない）、ニピゥシッタ [nipïʃitta]（眠った）、ウヌ ファー ニピゥシーッタ [ʔunu Φa: nipïʃi:tta]（この子は眠った）、ムットゥ ニピゥサヌ [muttu nipïsanu]（なかなか眠らない）、バー ニピゥスンドー [ba: nipïsundo:]（私は眠るよ）シワ シー ニピゥサルヌ [ʃiwa ʃi: nipïsarunu]（心配で眠ることができない）ニピゥ シゥッターナー スムチゥ ユムン [nipï sïtta:na: sʻumutsï jumuŋ]（眠りながら本を読む）

ニブタ [nibuta]（名）おできの大きいもの。

「根太」の転訛したもの。太ももや尻などに出来るはれもの。おでき。化膿すると、びんの割れで切開し膿を出した。ニブタ [nibuta] が出ると、キセルの口で押さえておくと大きくならなかった。ニーブター [ni:buta:] ともいう。

ヌチゥ [nutsï]（名）いのち（命）。

ヌチゥー ナガライシタ [nutsï: nagaraiʃita]（命をながらえた）、ヌチゥーアッダラハー [nutsï: ʔattaraha:]（命が惜しい）

ヌチゥムイ [nutsïmui]（名）生きること。

「命萌え」の転訛したもの。ヌチゥ ムイドゥル [nutsï muiduru]（生きている。動物などが死なずに生きている）ウヌ カマイヤー ミーダ ヌチゥムイドゥル [ʔunu kamaija: mi:da nutsï muiduru]（この猪は、まだ生きている）マーラヘドゥ ウガヤディ ムイダラ メーダ ヌチゥムイドゥワーリリャン [ma:rahedu ʔugajadi muidara me:da nutsïmuidu wa:ririjaŋ]（亡くなられたと思ったら、まだ生きておられるよ）

ヌドゥ [nudu]（名）のど（喉）。

ヌドゥ ヤミ [nudu jami]（のどが痛い）。ヌドゥ カーバキ [nudu ka:baki]（喉がかわく）。カーバキ ナラヌ [ka:baki naranu]（喉が乾いてならない）キゥヌー カーラギシタ [kïnu: ka:ragiʃita]（着物が乾いた）

ヌドゥビューファー [nudubju:Φa:]（名）喉がえがらっぽい。

えぐい（蘞い、刳い）。あくが強くてからい。のどを刺激するようだ。

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

ヌビゥ [nubï]（名）くび（首）。

ヌブイ [nubui] ともいう。ヌブイナ パキ [nubuina paki]（首にはきなさい）。ヌドゥ [nudu]（のど）とフピゥ [fupˢï̥]（首）の合成により形成されたものであろう。

ヌムン [numuŋ]（動）のむ（飲む）。

チャー ヌムン [tʃa: numuŋ]（茶を飲む）チャー ヌマヌ [tʃa: numanu]（茶を飲まない）チャー ヌミシタ [tʃa: numiʃi̥ta]（茶を飲んだ）ヌミミラ [numimira]（飲んでみよう）ヌンタハー [nuntaha:]（飲みたい）ヌム ムヌ ミーヌ [numu munu mi:nu]（飲むものがない）、ハイシャ ヌミバ ミシャル ムヌ [haiʃa numiba miʃaru munu]（早く飲めばよいのに）、ダー ヌンダラー バヌン ヌムン [da: nundara: banun numuŋ]（君が飲んだら 私も飲む）ハイシャ ヌミャー [haiʃa numja:]（早く飲め）グシ ヌムン [guʃi numuŋ]（酒を飲む）

パー [pa:]（名）は（歯）。

パー ヤミ [pa: jami]（歯が痛い）。パー アライ [pa: ʔarai]（歯を磨く）。マイパー [maipa:]（前歯）。ウッスンパー [ʔussumpa:]（奥歯）。ギーバー [gi:ba:]（糸切り歯、「牙」の義か）。

パイ [pai]（名）あし（足）。

「はぎ（脛）」の転訛したもの。

パイヌ サキゥ [painu sakˢï]（連）「足の先」の義。

「つまさき（爪先）」のこと。

パイヌ クドゥ [painu kudu]（連）かかと（踵）。

足の裏の後ろの部分。

パイヌ ピサ [painu pisa]（名）足首から下の部分。

パイヌ ピサ [painu pisa]（連）足のうら（足の裏）。

パイヌ ピサーアトゥ [painu pisa:ʔatu]（連）あしあと（足跡）。

パイヌ フピゥ [painu Φupˢï̥]（連）足首。

「足の首」の義。

パキー [pḁki:]（動）はく（吐く）。

ムヌ パキー [munu pḁki:]（ものを吐く）

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

パキシタ [pakiʃi̥ta] (吐いてしまった)
マナー パクナ [mana: pḁkuna] (絶対に吐くな)。

パギ [pagi] (動) はげる (禿げる)。
パグヌ [pagunu] (禿げない)、パギシタ [pagiʃi̥ta] (禿げた)、ツブルヌ パギシタ [tsuburunu pagiʃi̥ta] (頭が禿げた)

バキゥ [baki̥] (名) わき (腋)。

バキゥンダニ [bakïndani] (名) わきの下 (腋の下)。
バキゥンダニ グジュグリ [bakïndani guʤuguri] (腋の下をくすぐる)

パシゥシゥ [p'ḁsïsï] (名) はぐき (歯茎)。
パシゥシゥカラ チゥー ンディ [pḁsïsïkara tsï: ʔndi:] (歯茎から血が出る)。

パダ [pada] (名) はだ (肌)。
パダヌ カイヒャー [padanu kaiça:] (肌がきれい)、 パダヌ ッスハー [padanu ssuha:] (肌が白い)

バタ [bata] (名) はら (腹)。
バダ ヤミ [bada jami] (腹が痛い) バダ ヤミ アルガルヌ [bada jami ʔarugarunu] (腹が痛くて歩かれない)。

パッツリブスン [pattsuribusuŋ] (動) 這うことができる。
パッツリ [pattsuri] (はう)、クヌ ファー ミーダ パッツァヌ [kunu Φa: mi:da pattsanu] (この子はまだ這わない)。パッツリドゥル [pattsuriduru] (這っている) ウマナー パーヒナ [ʔumana: pa:çina] (ここで這わすな)、パッツリブスン [pattsuribusuŋ] (這うことができる)

パハナー [p'ḁn̥a:] (名) 鼻。
ピスラパナ [pi̥surapana:] (低い鼻)、パハナヌ ピサハー [p'ḁn̥anu p'i̥saha:] (鼻が低い)、パハナヌ タカハー [p'ḁn̥anu tḁkaha:] (鼻が高い)、パハナダル トゥリー [p'ḁn̥adaru t'u̥ri:] (洟垂(はなだれ)をとる)。

パナシゥ [p'ḁn̥asï] (動) はなす (話す)。
パナヒ [p'ḁn̥açi] (話しなさい)、バー パナハヌ [ba: p'ḁn̥ahanu] (私は話さない)、バーンドゥ パナシゥタル [ba:ndu p'ḁn̥asï̥taru] (私が話した)、パナシゥ ピーリャ [p'ḁn̥asï̥ çi:rja] (話してくれ)、パナヒラバ

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

ミシャダル　ムヌ [p'aṇaçiraba miʃadaru munu] (話せばよかったものを)、パナシゥッタハン [p'aṇasïttahaŋ] (話したい)

パナシゥキゥ [p'aṇasïkï] (名) かぜ (風邪)。

「鼻つき」の義か。パナシゥキゥ　カカリー [p'aṇasïkï k'akari:] (風邪をひいた)、ヨー　パナシゥキゥ　カカルナー [jo: p'aṇasïkï k'akaruna] (注意して、風邪をひくなよ)。

パハナダル [p'aṇadaru] (名) ①はなだれ (洟垂)。

パハナダル　トゥリー [p'aṇadaru t'uri:] (洟をとれ)。②鼻水。

パハナチゥ [p'aṇatsï] (名) はなぢ (鼻血)。

パハナチゥヌ　ンディシタ [p'aṇatsïnu ndiʃita] (鼻血が出た)。鼻血が出ると、「馬の糞の臭気を嗅がせると止る」と言われていて、馬の糞を捜しに行った。

パナッタリ [p'aṇatt'ari] (動) ふとる (太る)。

クヌ　ヤラベー　パナッタリドゥル [kunu jarabe: p'aṇattariduru] (この子は太っている)、サッタ　パナッタリドゥ　クー [satt'a p'aṇattari du ku:] (次第に太ってくる)。

パナピシー [p'aṇapiʃi:] (名) くしゃみ (嚔)。

子供が嚔をすると、クスックェー [kusukkwe:] (糞喰らえ) と言った。

パナフキゥー [p'aṇafukï:] (名) いびき (鼾)。

パナ　フキゥー [p'aṇa fukï:] (鼾をかく)。パナ　フキゥー　カサマハヌ ニピゥサルヌ [p'aṇa fukï: kasamahanu nipïsarunu] (鼾をかいて、うるさくて眠れない)。

パルン [paruŋ] (動) ①いく (行く)、②走る。

パラヌ [p'aranu] (行かない)、ユー　パルン [ju: p'aruŋ (よく走る)、パリパルン [p'arip'aruŋ] (走っていく。大急ぎで走っていく)、ンマヌ　パリパッターロー [ʔmmanu p'aripattaro:] (馬が走っていった)、パリパリシタ [p'aripariʃita] (走っていった)。

パンキゥ [paŋkï] (動) はぐ (剥ぐ)。むく。剥ぎ取る。むきはがす。

バンキゥシゥタ [paŋkïsïta] (剥いだ)。

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

ピー [pi:] (名) へ (屁)。おなら。

ピー ピシ [pi: pi̥ʃi] (屁を放る)、ピー ピシシタ [pi: pi̥ʃiʃi̥ta] (屁を放った)、ピー ピサヌ [pi: pi̥sanu] (屁を放らない、放屁しない)。

ピゥー [psï:] (名)いんもん (陰門)。

ビー [bi:] (動) 中毒する。「酔う」の義か。

フク ファイ ビー [fu̥ku fai bi:] (ふぐ《河豚》を食べて、中毒した。《酔った》の義か)。フク ファイ ビーミーヌ [fu̥kufai bi:mi:nu] (河豚を食べて中毒した《~酔ってしまった》)、ファーバン ビューナーッタ [fa:bam bju:natt'a] (食べても中毒しなかった)。

ピゥースン [psï:suŋ] (動) 性交する。

ピーヤーシー [pi:ja:ʃi:] (名) ひやあせ (冷汗)、寝汗。

ピーヤーシー トゥビ [pi:ja:ʃi: tubi] (「冷汗が飛ぶ」の義。冷汗が出るの意)。ゆっくり発音すると、ピーアーシー [pi:ʔa:ʃi:] のようになる。

ピジゥ [pidzï] (名) ひじ (肘)。

ピジゥヌ ヤミ [pidzïnu jami] (肘が痛い)。

ピシゥクミ [pisï̥kumi] (名) しびれ (痺)。

ティー パイ ピシゥクミ [ti: pai pisï̥kumi] (手、足がしびれる)、ピシゥクミシタ [pisï̥kumiʃi̥ta] (しびれた)、ミーダ ピシゥクマヌ [mi:da pisï̥kumanu] (まだしびれない)、パイ ピシゥクミダラ ヌバヒャー [pai pisï̥kumidara nubaça:] (足がしびれたら伸ばしなさい)。

ビズン [bidzuŋ] (動) すわる (座る)。

ウマナ ビジャ [ʔumana bidʒa] (ここに座れ)、ウマナ ビヅナ [ʔumana bitsu̥n̥a] (ここに座るな)、ビザバン ミシャドゥル [bidzabam miʃaduru] (座ってもよい)、ビジッタハー [bidʒittaha:] (座りたい)、ビズ ピゥトゥヌ ウーハヌ [bidzu pï̥tunu ʔu:hanu] (座る人が多い)、ビズ クトー メッサメッサドゥ ビズ [bidzu kuto: messa - messadu bidzu] (座ることは簡単に座る)、パイシャ ビジ [paiʃa bidʒi] (早く座れ)。パイシャ ビジッタハン [paiʃa bidʒittahaŋ] (早く座りたい)。ダー ビツッタラー バヌン ビズン [da: bitsuttara: banum bidzuŋ] (君が座ったら私も座る)。ダー ビザバン バー ビザヌ [da: bidzabam ba: bidzanu] (君が座っ

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

ても私は座らない)。

ピゥトゥカタミ [pi̥tukatami] (数)。

「一担ぎ」の義。水担桶の一対を表す。フタカタミ [fu̥takḁtami] (二担ぎ、2回)、ミーカタミ [mi:kḁtami] (三担ぎ、3回)。

ピゥニ [psi̥n̥i] (名) ひげ (髭)。

ピゥニ スリ [psi̥n̥i su̥ri] (髭を剃る)。

ビューファー [bju:Φa:] (形) かゆい (痒)。

ビューファーメーヌ [bju:Φa:me:nu] (痒くない)、ビューファダン bju:Φadaŋ] (痒かった)、タダーイ ビューファドゥ ナル [tada:i bju:Φadu naru] (だんだん痒くなる)、ビューファル バス [bju:Φaru basu] (痒いとき)、ビューファーダラ [bju:Φa:dara] (痒かったら)、ビューファーンミーヌ [bju:Φa:mmi:nu] (痒くもない)。

ピラチゥカー [piratsïka:] (名) なまけ者 (怠け者)。

ピゥルキゥ [psi̥ruki̥] (名) ひよめき。

幼児の前頭と後頭の骨の噛み合うところにあるすきま。脈打つたびに、ピコピコと動くのが見える。ピゥルキゥヌ ウギル [psi̥rukïnu ʔugiru] (ひよめきが動いている)。

ピンチゥキビジ [pintsi̥kibidʒi] (名) 正座。ひざまずき。

タナドゥルナ ピンチゥキビジ シーダラ ナラヌ [t'an̥aduruna: pintsi̥ kibidʒi ʃi:dara naranu] (種取祭にはひざまずきをしてはならない)。ピンチゥキビジーダラ ナーインドゥ アーリ ウッカイリ パルン [pintsi̥ki bidʒidara na:indu ʔa:ri ʔukkairi pḁru̥ŋ] (ひざまずきをしたら、苗が暴れ、さわいで浮んでいってしまう)。

ファウン [fauŋ] (動) たべる (食)。

「くらう (食らう)」の義。**ファーヌ** [fa:nu] (食べない)、**ファイシタ** [faiʃi̥ta] (食べた)、**ファイッタハー** [faittaha:] (食べたい)、**ファウナ** [fauna] (食べるな)、**ファイミラ** [faimira] (食べてみよう)、**ファイバ** ミシャル ムヌ [faiba miʃaru munu] (食べればよいのに)、バヌン **ファウン** [banun fauŋ] (私も食べる)、ダー **ファイダラ** バヌン **ファウン** [da: faidara: banun fauŋ] (君が食べたら私も食べる)。ハイシャ

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

ファイヤー [haiʃa faija:] (早く食べなさい)。

フーチゥクン [fu:tsïkuŋ] (名)。

打ち身による黒いあざ (痣)。クルビ バリ フーチゥクン シーミーヌ [k'u̥ru̥bi bari fu:tsïkuŋ ʃi:mi:nu] (転んで打って黒い打ち身になってしまった。黒い痣になってしまった)。

ブガリ [bugari] (名) つかれ (疲れ)。

ブガリシタ [bugariʃi̥ta] (疲れた)。ブガルヌ [bugarunu] (疲れない)、イカスク パタラガバン ブガルヌ [ʔikasuku p'ḁtaragabam bugarunu] (いくら働いても疲れない)、ブガリダラ ユクイヤ [bugaridara jukuija] (疲れたら休みなさい)、ブガリドゥリャン [bugaridurjaŋ] (疲れている)、ブガリッタハミーヌ [bugarittahami:nu] (疲れたくない)。チカグロー ブガリドゥ シャン [tʃi̥kaguro: bugaridu ʃaŋ] (近頃は疲れる)。ハイシャー ブガリリャー [haiʃa: bugarirja:] (早く疲れなさい)。スグ ブガリドゥ スー [sugu bugaridu su:] (すぐ疲れる。すぐ疲れやすい)。

フク [fu̥ku] (名) はい (肺)。

動物、家畜類の肺のこと。

フクリ [fu̥kuri] (動) はれる (腫)。

ニーブタヌ フクリ [ni:butanu fu̥kuri] (根太が腫れる)、ウムディ フクリ [ʔumudi fu̥kuri] (顔がはれる、むくむ)。

ブシゥ [busï] (名) 関節。手、足の関節。

木や竹の節に対してもいう。

プス [p'u̥su] (名) へそ (臍)。

ウブプス [ʔubupusu] (名) 大きな臍。出べそ。

フタイ [fu̥tai] (名) ひたい (額)。

フタイヌ マイヒャー [fu̥tainu maiça:] (額が大きい)、ウブフタイ [ʔubufu̥tai] (大きな額)。

フチゥー [fu̥tsï:] (名) くち (口)。

フチゥー アキー [fu̥tsï: ʔaki:] (口を開ける)、フチゥー チゥチゥシミー [fu̥tsï: tsï̥tsïʃi̥mi̥:] (口を慎みなさい)、ウブフチゥ [ʔubufutsï]

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

(大きな口)、グマフチゥ [gumafutsï] (ちょぼ口)。

フチゥヌ シゥパ [futsïnu sïpa] (連) 唇。

ウイシゥパ [ʔuisïpa] (上唇)、シゥタシゥパ [sïtasïpa] (下唇)。

プニ [p'uni] (名) ほね (骨)。

プニヌ マイヒャー [p'uninu maiça:] (骨が大きい)。

フピゥ [fupsï] (名) くび (首)。

フンタリ [funtari] (動) ふむ (踏む)。

ピゥトゥヌ パンバ フンタリ [psïtunu pamba funtari] (人の足を踏む)。

アッサ フミ [ʔassa fumi] (下駄を履く)。

ペーキリ [pe:kiri] (名)、足先で土や石を蹴って躓くこと。

蹴躓くこと。

イシナー カカッカリ クルブデ アルギャン [ʔiʃina: kakakkari k'urubude ʔarugjaŋ] (石に躓いて、ころびそうになった)。

ボースースー [bo:su:su:] (名) 豚のロース。

「棒のような肉」の義。ウンタヌ ニク [ʔuntanu niku] (豚の肉、ロース以外の肉の総称)。スースー [su:su:] の意味は、八十代の人も不明という。カマイヌ ニクー [k'amainu niku:] (猪の肉)。猪の場合、特にボースースーを取り出さず、他の肉と一緒に切って食する。

マイダフー [maidaΦu:] (名) うちまた (内股)。

内股で歩くこと。ガニ股。

マキゥ [maksï] (名) つむじ (旋毛)。

マキゥヌドゥ フタッック アル [maksïnudu futakku ʔaru] (旋毛が二つある)。旋毛が二つある男児は元気がありすぎ、腕白だといわれている。マキゥヌ フタッック アル ファー ヤマングドゥ ナル [maksïnu futakku ʔaru fa: jamaŋgudu naru] (旋毛が二個ある子は、腕白になる)。

マタ [mata] (名) また (股)。

マイダフー [maidaΦu:] (うちまた)、シンダフ [ʃindaΦu:] (X脚)。

マチゥキー [matsïki:] (名) まつげ (睫)。

マミ [mami] (名) まめ (肉刺)。

ティーナー マミ イディ [ti:na: mami ʔidi] (手にまめが出た)。

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

マミ [mami]（名）じんぞう（腎臓）。

マラ [mara]（名）いんけい（陰茎）。

マラヌ　ナーハー [maranu na:ha:]（陰茎が長い）。

マリルン [mariruŋ]（動）生まれる。

マリシタ [mariʃi̥ta]（生まれた）、ミーダ　マルヌ [mi:da marunu]（まだ生まれない）、マリダル　トゥキゥ [maridaru t'u̥kï]（生まれた時）、クヌ　ファー　マリダル　トゥケゥー　グマハ　ダッタル [kunu Φa: maridaru tu̥kë: gumaha dattaru]（この子は生れた時は小さかった）、パイシャ　マリダラ　ミシャル　ムヌ [paiʃa maridara miʃaru munu]（早く生まれたらよいのに）。パイシャ　マリリ [paiʃa mariri]（早く生まれよ）。ビギドゥン　ファー　マリダラ　ユイスン [bigiduŋ Φa: maridara juisuŋ]（男の子が生まれたらお祝いする）。

マユ [maju]（名）まゆ（眉）。

マユヌ　マイヒャー [majunu maiça:]（眉が大きい）。

ミー [mi:]（名）め（目）。

ミーヌ　マイヒャー　[mi:nu maiça:]（目が大きい）、ウブミー [ʔubu mi:]（大きい目）、ミー　ムイリ [mi: muiri]（老眼になった。目がじらじらしてよく見えない）。ウィピゥトゥ　ナラバン　メー　カーラヌ [ʔuipˢi̥tu narabam me: ka:ranu]（老人になっても目は変わらない、視力がおちない）。

ミーサミ [mi:sam̥i]（動）めざめる（目覚）。

ウバイ　ミーサミ [ʔubai mi:s'am̥i]（驚いて目覚める）、ウブクイン　ウドゥルカハリ　ミーサミ [ʔubukuiŋ ʔudurukahari mi:s'am̥i]（大声に驚かされて目覚める）、ウバーハリ　ミーサミ [ʔuba:hari mi:sam̥i]（驚かされて目が覚める）。

ミーヌ　カー [mi:nu ka:]（名）まぶた（目蓋、瞼）。

ミーヌ　タマ [mi:nu t'am̥a]（連）ひとみ（瞳）。

「目の玉」の義か。

ミーヌ　チピ [mi:nu tʃi̥pi]（連）目じり。

「目の尻」の義。

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

ˉミーヌ　フタˉナカ［ˉmiːnu Φu̥taˉnakaː］（連）。みけん（眉間）。

「目の間」の義か。

ˉミーヌヤ［ˉmiːnuja］（名）ものもらい「物貰」。

まぶたに出来る小さい腫れもの。麦粒腫。ˉミーヌヤヌˉ　ンディ　ˉヤミˉ　ナラヌ［ˉmiːnujanuˉ ʔndi ˉjamiˉ naranu］（ものもらいが出て、痛くて仕方がない）。

ˉミーパチパチー［ˉmiːpatʃipatʃiː］（名）目をパチパチさせること（人）。

まばたき（瞬）。

ˉミーマイ［ˉmiːmai］（名）めまい（眩暈）。

ˉミーマイˉ　シー［ˉmiːmaiˉ ʃiː］（めまい《眩暈》がする）。

ˉミーパチゥˉカハー［ˉmiːpatsi̥ˉkahaː］（形）まぶしい（眩しい）。

ˉティダヌˉ　ピゥスカルンドゥ　ˉミーパチゥカハル［ˉtidanuˉ pˢi̥karundu ˉmiːpatsi̥kaharu］（太陽の光が眩しい）。ˉミーパチゥˉカハヌ　ˉミラルヌ［ˉmiːpatsi̥ˉkahanu ˉmirarunu］（眩しくて見えない）。

ˉミチゥキ［ˉmitsïki］（動）にらむ（睨）。

ピゥˉトゥˉユ　ˉミーチゥキˉブル［pi̥ˉtuˉju ˉmiːtsi̥kiˉburu］（ひとをにらみつけている）、ˉカˉイ　ピゥˉトゥˉユ　ˉミーチゥキナˉブリャー［ˉkaˉi pi̥ˉtuˉju ˉmiːtsi̥kinaˉburjaː］（そんなに、ひとをにらみつけるな）、［ˉmiːtsi̥kïnaˉburja］（にらみつけるな）とも。

ˉミックヮー［ˉmikkwaː］（名）めくら。盲人。

ˉウヌˉ　ピゥトー　ˉヤミ　ミッˉクヮー　ˉナリˉミーˉヌ［ˉʔunuˉ pˢi̥toː ˉjami mikˉkwaː ˉnariˉmiːˉnu］（この人は病気して《病んで》、盲人になってしまった）。

ˉミルン［ˉmiruŋ］（動）みる（見）。

ˉバンドゥ　ミル［ˉbandu miru］（私が見る）。ˉバーˉ　ミラˉヌ［ˉbaːˉ miraˉnu］（私は見ない）。ˉダー　ˉミリャ［ˉdaˉː ˉmirja］（君が見なさい）。ˉダー　ˉミンナー［ˉdaˉː ˉminnaː］（君は見るな）。ˉミルˉ　ピゥトゥヌドゥ　ˉブラˉヌ［ˉmiruˉ pˢi̥tunudu ˉburaˉnu］（見る人がいない。世話する人がいない）、ˉミリバˉ　ミˉシャルムˉヌ［ˉmiribaˉ miˉʃarumuˉnu］（見ればよいのに）、ˉダー　ˉミッダˉラ　ˉバヌン　ミルン［ˉdaˉː ˉmittˀara ˉbanum miruŋ］（君が見たら私も見る）。

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

⌈ミン [⌈miŋ] (名) みみ (耳)。

⌈ウブミンダブ [⌈ʔubumindabu] (大きな耳、大きな耳朵)。⌈ウブミン [⌈ʔubu miŋ] (大きな耳)。耳の大きな人は金持ちといわれている (福相の人)。

⌈ミントゥーリムヌ [⌈mintu:rimunu] (名) 聾者。耳の聞えない人。

⌈ミンカー [⌈miŋka:] (耳の聞こえない人。最近の人の言い方。若年層)。

⌈ムシゥ⌉パー [⌈musï̥⌉pa:] (名) むしば (虫歯)。

⌈ムシゥ⌉パヌ ⌈ヤミ [⌈musï̥⌉panu jami] (虫歯が痛い。「〜病む」の義か)。

−ムドゥシゥ [-mudusï] (接尾) 回、一往復。

ピ⌈トゥムドゥシゥ [pi̥⌈tumudusï] (一回、一往復)、⌈フ⌉タムドゥシゥ [⌈fu̥⌉ta mudusï] (二回、二往復)、⌈ミー⌉ムドウシゥ [⌈mi:⌉mudusï] (三回、三往復)、⌈ユームドゥシゥ [⌈ju̥:mududsï] (四回、四往復)。⌈イチゥムドゥシゥ [⌈ʔitsï mudusï] (五回、五往復)。

⌈ムヌユムン [⌈munujumuŋ] (動) おしゃべりする。

⌈ムヌ ユミ [⌈munu jumi] (しゃべる)、⌈ウ⌉ヌ ピゥトー ⌈ムヌユマ⌉ー [⌈ʔu⌉nu pˢï̥to: ⌈munujuma⌉:] (あの人は、おしゃべりだ)。

⌈ムム [⌈mumu] (名) もも (腿)。

⌈ム⌉ルン [⌈mu⌉ruŋ] (動) おにぎりをむすぶ。〜を握る。

⌈アッ⌉クンヌ ⌈イー ム⌉リ [⌈ʔak⌉kunnu ⌈ʔi: mu⌉ri] (芋の飯をにぎる、芋だんごを握る)、⌈ム⌉ンナ [⌈mu⌉nna] (握るな)、⌈ム⌉ラナッティン ミ⌈シャドゥル [⌈mu⌉ranattim mi⌈ʃaduru] (握らなくてもよい)、⌈ハイシャ ム⌉リャー [⌈hai ʃa mu⌉rja:] (早く握りなさい)、⌈ダ⌉ー ムッタラ ⌈バヌン ム⌉ルン [⌈da⌉: muttara ⌈banum mu⌉ruŋ] (君が握ったら私も握る)、⌈ム⌉ル ピゥトゥヌ ⌈ブラ⌉ヌ [⌈mu⌉ru pï̥tunu ⌈bura⌉nu] (握る人がいない)。

⌈ヤーツー [⌈ja:tsu:] (名) やいと。きゅう (灸)。

⌈ヤーツー ヤ⌉キ [⌈ja:tsu: ja⌉ki:] (お灸をすえる、「やいとを焼く」の義か)。

⌈ヤカダブニ [⌈jakadabuni] (名) あばら骨。

⌈ヤカダブニ ブリー [⌈jakadabuni buri:] (肋骨を骨折する。あばら骨を折る)。

ヤ⌈ムン [ja⌈muŋ] (動) いたむ。「病む」の義。

⌈ムッ⌉サリダラ ヤ⌈ムン⌉ドゥラ [⌈mus⌉saridara ja⌈mun⌉dura] (つねられたら痛いよ)、⌈ムッ⌉サバン ヤ⌈マヌ [⌈mus⌉sabaŋ ja⌈manu] (つねられても痛くな

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

い、「病まぬ」の義)、タダーイ　ヤミドゥ　キャン [tada:i jamidu kjaŋ] (次第に痛くなってきた)、ヤマヌ [jamanu] (痛くない)、ヤンダラ　フシュル　ヌミャー [jandara fuʃuru numja:] (痛ければ薬を飲みなさい)、ティーランマ　パインドゥ　ヤム [ti:ramma paindu jamu] (手よりも足が痛い、「～が痛む」)。キシフチゥヌ　ヤミ [kiʃifutsïnu jami] (傷口が痛む)。

ヤンマイ [jammai] (名) 病気。

「やまい (病)」の転訛したもの。ヤミー　ニピシー [jami: nipiʃi:] (病気になって寝ている、「病みて眠りして」の転訛したものか)。

ユーダー [ju:da:] (名) 湯によるやけど (火傷)。

ユーダー　ジラリー [ju:da: ʃirari:] (お湯でやけどした)。火によるやけど (火傷) は、ピーナー　ヤカリー [pi:na: jakari:] (火に焼かれて、火傷を負う) という。ユー　クブヒー　ユーダー　シー [ju: kubuçi: ju:da: ʃi:] (お湯をこぼして火傷した)。

ユクニ [jukuni] (名) もものつけ根。

ユダル [judaru] (名) よだれ (涎)。

ユダル　タラヒ [judaru taraçi] (涎をたらす)。

ユンガルン [juŋgaruŋ] (動) やせる (痩る)。

ユンガリシタ [juŋgariʃita] (痩せた)、ユンガリナ [juŋgarina] (痩せるな)、サッタ　ユンガリドゥ　クー [satt'a juŋgaridu ku:] (だんだん痩せてくる)。

ンニ [nni] (名) むね (胸)。

ンニヌ　マイヒャー [nninu maiça:] (胸が大きい)。

ンブハン [mbuhaŋ] (形) おもい (重い)。

ンブハダル [mbuhadaru] (重かった)、ンブハーミーヌ [mbuha:mi:nu] (重くない)、タダーイ　ンブハドゥ　ナル [tada:i ʔmbuhadu naru] (だんだん重くなる)、ンブハル　ムヌ　ムツ [mbuharu munu mutsu] (重いものを持つ)、クレー　ムツハダル [k'ure: mutsuhadaru] (これは重い)、ンブハダラ　ムツァヌ [mbuhadara mutsanu] (重かったら持たない)。ムツハン [mutsuhaŋ] (重い) ともいう。

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

分野（5）衣

アーラキゥン [ʔaːraksïŋ]（名）「新しい着物」の義。

はれぎ（晴着）のこと。正月に仕立てる晴着。ショングヮチゥナー　アーラキゥン　キゥスン [ʃoŋgwatsïnaː ʔaːraksïŋ ksïsuŋ]（正月に晴着を着る）

アザフクリルン [ʔadzafukuriruŋ]（動）もつれる。

イトゥー　アザフクリー [ʔtuː ʔadzaΦukuriː]（糸がもつれた）。アザフクリミーヌ [ʔadzaΦukurimiːnu]（もつれてしまった。）アザフクリル　ムヌパトゥギミリ [ʔadzaΦukuriru munu patugimiri]（もつれたものを、ほどいてごらん）

アザヌブラーサパ [ʔadzanuburaːsapa]（名）あだん葉草履。

あだんの葉で編んだ草履。

アッサ [ʔassa]（名）げた（下駄）。

アッサ　フムン [ʔassaΦumuŋ]（下駄を履く）、アッサヌ　ブー　チゥキー [ʔassanu buː tsïki]（下駄の緒をつける）。パナブー [p'anabuː]（下駄の鼻緒）。

アッパリヒャー [ʔappariçaː]（形）美しい。

ウヌ　ピゥトー　アッパリヒャー [ʔunu psïtoː ʔappariçaː]（この人は美しい）、バガハル　バソー　アッパリヒャーダル [bagaharubasoː ʔappariçaːdaru]（若かった時は美しかった）、タダーイ　アッパリヒャードゥナル [tadaːi ʔappariçaːdu naru]（次第に美しくなる）、サッタサッタ　アッパリヒャードゥ　ナル [sattasatta ʔappariçaːdu naru]（だんだん美しくなる。次第に～）アッパリヒャル　ピゥトゥヌドゥ　ウーハル [ʔappariçaru psïtunudu ʔuːharu]（美しい人が多い）。アッパリヒャダラ　ユミ　スルン [ʔappariçadara jumi suruŋ]（美しかったら嫁につれる）。

アヤ [ʔaja]（名）あや（綾）。がら（柄）。

キゥンヌ　アヤ [ksïnnu ʔaja]（着物の柄）キゥンヌ　アヤヌ　カイヒャー [ksïnnu ʔajanu kaiçaː]（着物の柄が美しい）

アワシー [ʔawaʃiː]（名）あわせ（袷）。

アワシヌ　キゥン [ʔawaʃinu ksïŋ]（袷の着物）。

アージキゥン [ʔaːʃiksïŋ] というのが「老年層のことば」であるという。

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

˥イトゥ [˥ʔitu]（名）いと（糸）

˥イトゥガギ˥ キゥ˥ヌ ヌーン [˥ʔitugagi˥ kˢḭ̈˥n̥u nu:ŋ]（糸で着物を縫う)。

˥イ˥ユナー [˥ʔi˥juna:]（名）つり糸（釣り糸)。

「魚縄」の義か。

˥ウ˥イシゥー [˥ʔu˥iʃu:]（名）上着。

「上衣装」の義か。ツカサ（司）などが和服の上から着用するもの。白い衣装。神衣装。司がお嶽に行く際に着用する。˥スディナー [˥sudina:] やカ˥カン [kḁ˥kaŋ] の上から着る。

˥ウシルイ [˥ʔuʃirui]（名）おしろい（白粉)。

「おしろい」の訛語。˥ウシルイ チゥキダラー˥ カイヒャー ナリ˥ドゥ˥リャン [˥ʔuʃirui tsḭ̈kidara:˥ kaiça: nari˥du˥rjaŋ]（おしろいをつけたらきれいになった)、～˥アッパリヒャー ナリドゥ˥ リャン [～˥ʔappariça: naridu˥rjaŋ]（～美しくなった）

˥ウッカイヤ [˥ʔukkaija]（形）みにくい（醜い)。

˥ウ˥ヌ ˥ビキ˥ドゥンヤー ˥ウッカイヤドゥ アル [˥ʔu˥nu ˥biki˥duɲja: ˥ʔukkaijadu aru]（この男は醜い)。˥ウッカイビギ˥ドゥン [˥ʔukkaibigi˥duŋ]（醜い男)、˥ウッカイ˥ミードゥン [˥ʔukkai˥mi:duŋ]（醜い女）

˥ウツプイ [˥ʔutsupui]（名）ふろしき（風呂敷)。

˥ウツプイナ˥ ス˥ツミ˥ ムチャー [˥ʔutsupuina˥ su̥˥tsumi˥ mutʃa:]（風呂敷に包んで持ちなさい)。˥ウツプイ˥シゥツンユ ツ˥プリナ˥ カ˥ミ˥ー [˥ʔutsupui˥sḭ̈tsuɲju ts'˥u̥purina˥ k'˥ḁm̥˥i:]（風呂敷包みを頭に乗せなさい)˥ウツプイナ˥ シツム [˥ʔutsupuina˥ ʃi̥tsumu]（風呂敷に包む)、シ˥ツマヌ [ʃi̥˥tsumanu]（包まない)、˥ウツプイ ガギ˥ シ˥ツミ˥シタ [˥ʔutsupuigagi˥ ʃi̥˥tsumi˥ʃita]（風呂敷で包んだ)、シ˥ツムナ [ʃi̥˥tsumuna]（つつむな）

ウ˥ツリ [ʔu˥tsuri]（動）似合う。「うつり」の義か。

˥ウ˥ヌ キゥ˥ノー ダ˥ーナー ウ˥ツリドゥ˥ ウル [˥ʔu˥nu kˢḭ̈˥n̥o: da˥: na: ʔu˥tsuridu˥ ʔuru]（この着物は君に似合っている)˥ダーナー ウ˥ツラヌ [˥da:na: ʔu˥tsuranu]（君には似合わない)、シ˥カイトゥ ウツリドゥ˥ ダル [ʃi̥˥kaitu ʔutsuridu˥daru]（よく似合っていたよ)、˥ウツラナダ˥ラー ˥カ˥ーヌ [˥ʔutsuranada˥ra: ˥ka˥:nu]（似合わなければ買わない)、˥ウツリダ˥ラー ˥カ˥

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

ウン [ʔutsuridara: kauŋ]（似合ったら買う）、ウツリブラバン ガーヌ [ʔutsuriburabaŋ ka:nu]（似合っていても買わない）。

ウビゥ [ʔubi̥ï]（名）おび（帯）。

ウビゥ シー [ʔubï ʃi:]（帯をしめなさい）フクルウビゥー [fu̥kuruʔubï:]（「袋帯」の義か。ティジリビーなどがしめる帯のこと）

ウピゥ [ʔupï]（名）おび（帯）。

ウビゥガギ ファー カサナイ [ʔubi̥ïgagï Φa: kḁsanai]（帯で子供をおぶる）ウピゥ ッシー [ʔupˢï̥ ʃʃi:]（帯をしなさい）。発音は ウピゥ [ʔupï～ʔubi̥ï] のようにゆれている。

ウブンガニ [ʔbuŋgani]（名）ゆびわ（指輪）。

ウブンガニ ヌクン [ʔubuŋgani nukuŋ]（指輪をはめる《貫く》）、ウブンガニ ヌーン [ʔubuŋgani nu:ŋ]（指輪をはずす《脱ぐ》）、ウブンガニ ヌーヌ [ʔubuŋgani nu:nu]（指輪を脱がない）

ウミ [ʔumi]（動）糸をつむぐ（績む）。

ウムティ [ʔumuti]（名）おもて（表）。

ウラ [ʔura]（名）うら（裏）。

ウラウムティ [ʔuraumuti]（うら・おもて）。

ウワギ [ʔuwagi]（名）上着。

ガーグー [ga:gu:]（名）背中におぶること。

子供を背負うこと。おぶること。ガーグー シー [ga:gu: ʃi:]（おんぶする）。老年層は、カサナイ [kḁsanai]（背負う）という。

カイヒャー [kaiça:]（形）美しい。

カイキゥヌ [kaikˢï̥n̥u]（名）きれいな着物。ウヌ キゥノー カイヒャローナー [ʔunu kˢïn̥o: kaiçaro:na:]（この着物はきれいね）、カイヒャル ヤー [kaiçaru ja:]（きれいな家）。

カカン [kḁkaŋ]（名）こしまき（腰巻）。

女性用の腰巻。最近はツカサ（司）が祭祀の時に着用するのみである。舞踊の際などに着用している。白い、ひだのある腰巻きで、その上からスディナを着る。

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

カ゜シ [kḁʃi]（名）かせ糸（桛糸）。

かせに巻いた糸。綛。布を織る経糸

カ゜シガ゜フクル [kḁʃigafu̥kuru]（名）麻袋。

南京袋。朝鮮袋。籾などを入れる麻製の袋。カ゜シガ゜フクル゜ナ　マ゜イ　イリ [kḁʃigafu̥kuruna mai ʔiri]（麻袋に米を入れなさい）

カ゜スミンガイ [kḁsumiŋgai]（名）着物を裏返しにして着ること。

カ゜スミンガイ゜シー　キ゜シ゜ブル [kḁsumiŋgaiʃiː ki̥ʃiburu]（着物を裏返しにして着ている）

カッパ [kappa]（名）かっぱ（合羽）。

ゴム製の雨具。新しく借用されたコトバ。昔はなかった。カッパ　カブリ [kappa kaburi]（合羽をかぶる）

カ゜トゥ゜シゥ [kḁtusi̥]（名）櫛の歯の目が密になっているもの。

虱とり用の櫛。「かたくし」の義か。カ゜トゥ゜シゥガ゜ギ　ッ゜サン　キ゜チー [kḁtusïgagiː ssaŋ kïtʃiː]（虱とり櫛で虱をけずり落としなさい）

カブン [kabuŋ]（動）かぶる（被る）。

ボーシ　カブリー [boːʃi kaburiː]（帽子を被る）、ボーシ　カブリ゜シティ パ゜リャー [boːʃi k'aburiʃi̥ti p'arjaː]（帽子を被って行け）、カブルナ [kaburuna]（被るな）、バー　カブラヌ [baː kaburanu]（私は被らない）、ダー　カブッ゜タ゜ラー　バヌン　カブン [daː kabuttaraː banuŋ kabuŋ]（君が被ったら私も被る）。[カブリバ　ミシャル゜ムヌ [kaburiba miʃarumunu]（被ればよいのに）。パイシャ　カブ゜リャ [paiʃa kaburja]（早くかぶれ）。カブリ゜ミラー [kaburimiraː]（被ってみる）。

カ゜ラ゜グン [kḁrḁguŋ]（動）かわく（乾く）。

ガーラギシタ [kaːragiʃi̥ta]（乾いた）。ミー゜ダ　ガーラガヌ [miːda kaːraganu]（まだ乾かない）。ガーラギゥダラ　ヤーナ゜カンガイ　ピーラヒー [kaːragïdara jaːnakaŋgai piːraçiː]（乾いたら家の中へとり入れなさい）、カー゜ラガバン　マタ　ズー゜リドゥ　スー [kaːragabam mata dzuːridu suː]（乾いても、また濡れる）、パイ゜シャ　カー゜ラギ [paiʃa kaːragi]（早く乾け）

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

カラヒ [k'ḁr̥açi] (名) まくり上げること。

尻をまくりあげること。「絡(から)げ、紮(から)げ」の転訛したものか。キゥヌカライ [k^s^ï̥n̥ukarai] (「衣からげ」の義。着物の裾をまくり上げること)、アミヌ　フィダラ　キゥヌ　カラヒ　アルグン [ʔminu fuidara k^s^ï̥nu k'ḁr̥açi ʔaru guŋ] (雨が降ったら着物を尻からげして歩く)

カンガン [kaŋgaŋ] (名) かがみ (鏡)。

カンガンナ　チゥラ　ウツヒミルン [kaŋganna tsï̥ra ʔutsuçimiruŋ] (鏡に顔をうつしてみる)、カンカン [kaŋkaŋ] (鏡) ともいう。

キシュー [ki̥ʃu:] (名) けしょう。

「化粧」の訛。豊年祭や結願祭などに化粧して踊った。キシュー　シー [ki̥ʃu: ʃi:] (化粧しなさい)。ブドゥリゥドゥ　シーバ　キシュー　シャー [budurïdu ʃi:ba ki̥ʃu: ʃa:] (踊りをするから化粧しなさい)、

キゥスン [k^s^ï̥suŋ] (動) きる (着る)

キゥン　キゥスン [k^s^ïŋ k^s^ï̥suŋ] (着物を着る)。キゥヌー　キゥサヌ [k^s^ï̥n̥u: k^s^ï̥sanu] (着物を着ない)、キゥヌー　キシーシタ [k^s^ï̥n̥u: ki̥ʃi:ʃi̥ta] (着物を着た)、キゥヌー　キゥシーシティ　クー [k^s^ï̥n̥u: ki̥ʃi:ʃi̥ti ku:] (着物を着て来い)、キゥヌー　キシーミラ [k^s^ï̥nu: ki̥ʃi:mira] (着物を着てみよう)、バンドゥ　キゥス [bandu kï̥su] (私が着る)、ダー　キゥシゥタラ　バヌン　キゥスン [da: k^s^ï̥sutara banuŋ kï̥suŋ] (君が着たら私も着る)。メッサ　メッサドゥ　キゥスー [messa messadu k^s^ï̥su:] (簡単に着る) ハイシャ　キシバ　ミシャル　ムヌ [haiʃa ki̥ʃiba miʃaru munu] (早く着ればよいのに)。ハイシャ　キシャー [haiʃa ki̥ʃa:] (早く着なさい)。キゥヌ　キゥスーピゥトー　ターン　ブラヌ [kïnu: kïsu: p^s^ï̥to: ta:m buranu] (着物を着る人はだれもいない)。キゥスナ [kï̥suna] (着るな)。

キゥヌヌイ [k^s^ï̥n̥unui] (名) さいほう (裁縫)。

「衣縫(キヌヌイ)い」の義。衣服を縫うこと。キゥヌ　ヌーン [k^s^ï̥n̥u nu:ŋ] (着物を縫う。裁縫する)。

キゥヌーアライ [k^s^ï̥n̥u:arai] (名) 洗濯。

「衣洗い」の義。

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

キゥン [kˢïŋ]（名）着物。

「衣（キヌ）」の義。和服。キゥン　キゥスン [kˢïŋ kˢi̥suŋ]（着物を着る）。

キゥンカー [kˢïŋka:]（名）衣類。

着物の総称。キゥンカー　ウッスハー　ムチドゥル [kˢïŋka: ʔussuha: mutʃiduru]（衣類をたくさん持っている)、ウヌ　ピゥトー　キゥンカー　ウッスハー　ムチドゥル [ʔunu pˢi̥to: kˢi̥ŋka: ʔussuha: mutʃiduru]（あの人は衣類をたくさん持っている）

キゥンヌ　フピゥ [kïnnu ɸupˢi̥]（連）着物の襟。

クーシャー [ku:ʃa:]（名）つぎあて。

修理。鍋底の修理をすること。キゥンヌ　クーシャー　スン [kˢïnnu ku:ʃa: suŋ]（着物のつぎあてをして、つくろう）ナビヌスク　クーシャースン [nabinusu̥ku ku:ʃa:suŋ]（鍋の底を修理する)。キゥンヌ　ヤブリリバ　クーシャースン [kˢïnnu jabuririba ku:ʃa:suŋ]（着物が破れているので、つくろう。～修理する）

クーシャビラ [ku:ʃabira]（名）つぎあて。

クーシャー [ku:ʃa:]（つぎあて）ともいう。クーシャビラ　スン [ku:ʃabira suŋ]（衣服の破れを修理する。つくろう。つぎあてをして衣服を修理する)。キゥンヌ　クーシャビラ　スン [kˢïnnu ku:ʃabira suŋ]（着物のつくろいをする。つぎをあてる）

グサン [gusaŋ]（名）つえ（杖)。

グサン　ツク [gusan tsu̥ku]（杖をつく）ダスキャー [dasukja:]（灌木の名。木質が堅い）を使用して杖を作った。

クシタ [kuʃi̥ta]（名）下着。

袴下。ズボンの下にはくもの。ステテコ [su̥teteko]（すててこ）ともいう。借用語。

クシゥマキ [ku̥simaki]（名）こしまき（腰巻)。

男性用の腰巻。女性用はカカン [kḁkaŋ] という。

クツ [ku̥tsu]（名）くつ（靴)。

クツ　フミ [ku̥tsu fu̥mi̥]（靴をはく）

クツシタ [ku̥tsuʃi̥ta]（名）くつした（靴下)。

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

꜀ク꜀バカサ [꜀ku꜀bakasa]（名）クバの葉で作った笠。

昔は皆、これを被って作業をした。

꜀クンガーキー [꜀kuŋga:ki:]（名）ほおかぶり（頬被り）。

꜀クンガーキバ꜀シー ッ꜀サ꜀ク ꜀シー꜀ブルン [꜀kuŋga:kiba꜀ʃi: s꜀sa꜀ku ꜀ʃi:꜀buru ŋ]（ほおかぶりをして仕事をしている）

꜀クン꜀ジゥー [꜀kun꜀dzï:]（名）「紺地」の義。

男性が豊年祭などに着用する紺地の着物。祭祀には、男性はこれを着る。꜀ティズリビー [꜀tidzuribi:]（男性の神人、「手ずりべ」の義か）は、無地の真黒を着るが、一般の男性は、白い縦て縞の入った紺地の着物を着る。꜀ウイ꜀タビ [꜀ʔui꜀tabi] の儀式は、昔は三、四年間は白い着物で、꜀クン꜀ジゥーは着けさせなかった。今は三年めからクンジゥを着けている。その着物は꜀ドゥイ꜀ヌ [꜀dui nu] という。

サ꜀クン [sa꜀kuŋ]（動）さく（裂）。

꜀ヌ꜀ヌ サ꜀キ [꜀nu꜀nu sa꜀ki]（布を裂く）、꜀ダ꜀ー サ꜀クナ [꜀da꜀: sa꜀kuna]（君は裂くな）。

꜀サ꜀バ [꜀sa꜀ba（名）ぞうり（草履）。

꜀サ꜀バ フ꜀ミ [꜀sa꜀ba fu꜀mi]（草履をはく）。꜀サ꜀バ フ꜀ミ꜀アル꜀グン [꜀sa꜀ba fu꜀mi꜀aru꜀guŋ]（草履をはいている、履いてあるく）

サ꜀ナ [s'a꜀na]（名）かさ（傘）。

日傘や、らん傘、こうもり傘などをいう。サ꜀ナ꜀ー カ꜀ブリー [s'a꜀na꜀: k'a꜀bu ri:]（笠をかぶる、傘をさす）。꜀アミヌ꜀ フイ꜀バ꜀ー サ꜀ナ꜀ー カ꜀ブリパリ [꜀ʔminu꜀ Φui꜀ba꜀: s'a꜀na꜀: ka꜀buri꜀p'a꜀ri:]（雨が降るから傘をさして《被って》いきなさい）

サ꜀ナイ [s'a꜀nai]（名）ふんどし（褌）。

男性の下着。꜀ロクシャク꜀サ꜀ナイ [꜀rokuʃaku꜀sa꜀nai]（六尺褌、帯のように長い褌）。

サ꜀マリ [s'a꜀mari]（動）しばる（縛る）

꜀ブーガギ サ꜀マリ [꜀bu꜀:gagi s'a꜀mari]（紐で縛る）。手段格の「〜で」は、꜀カギ [꜀gagi] を使うのが普通。若い人は、꜀サリ [꜀sari] を使う傾向がある。

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

ジバン [ʤibaŋ]（名）襦袢。シャツ。

ドゥイヌ [duinu] は、古見の伝統的な言い方、方言。

ジミ [ʤimi]（名）じみ（地味）、「地味」の訛。

キゥンヌ　アヤー　グマハヌ　ヴヌ　ピゥトゥナー　ジミ　ユンナー [kïnnu ʔaja: gumahanu ʔunu p^{s}ï̥tuna: ʤimi junna:]（着物の柄が小さくて、この人に対しては地味だね）

ジョンギ [ʤoŋgi]（名）ものさし（物差）。

「定規」の義。ジョンギガギ　パカルン [ʤoŋgigagi pḁkaruŋ]（定規で測る）。

ジンフクル [ʤinfu̥kuru]（名）さいふ（財布）。

「銭袋（ゼニフクロ）」の転訛したもの。がま口。ジンフクル　ウトゥヒミヌ [ʤinfu̥kuru ʔutuçiminu]（財布を落としてしまった）

スカートゥ [su̥ka:tu]（名）スカート。

新しく借用された語。

スクイ [su̥kui]（名）芭蕉糸や麻糸を入れる板製の箱。

おけ（麻笥）。スクイナー　ブー　ウーミ [su̥kuina: bu: ʔu:mi]（おけに苧麻の糸を紡いで《績んで》入れなさい）、スクイナー　バサ　ウーミ [su̥kuina: basa ʔu:mi]（麻笥に芭蕉糸を紡いで入れなさい）

スディ [sudi]（名）そで（袖）。

キゥンヌ　スディ [kïnnu sudi]（着物の袖）。

スプッタリ [su̥puttari]（名）びしょ濡れ。

アミナ　ズリ　スプッタリ　ナリ [ʔamina dzuri su̥puttari nari]（雨に濡れてずぶぬれになる）、アミナ　ズリ　スプッタリドゥル [ʔamina dzuri su̥puttariduru]（雨に濡れて、びしょぬれになっている）

ズブン [dzubuŋ]（名）ずぼん。

ズブン　キスン [dzubuŋ ki̥suŋ]（ズボンをはく《～を着る》）。ズブン　キシシタ [dzubuŋ ki̥ʃiʃita]（ズボンを着た）。ズブン　キゥサヌ [dzubuŋ kï̥sanu]（ズボンを着ない）

ズリルン [dzuriruŋ]（動）ぬれる（濡れる）。

ズルヌ [dzurunu]（濡れない）、ズリシタ [dzuriʃi̥ta]（濡れた）、アミン

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

ズリルナ [ʔamin dzuriruna]（雨に濡れるな)、ズーリドゥ パル [dzu:ridu pḁru̥]（濡れていく)、ズーリドゥ アルグ [dzu:ridu ʔarugu]（濡れている、濡れてあるく)、ダー ズリダラ バヌン ズリルン [da: dzuridarabanun dzuriruŋ]（君が濡れたら私も濡れる)、ズリリバ ミシャル ムヌ [dzuririba miʃaru munu]（濡れればよいのに）ズリッタハーミーヌ [dzurittaha:mi:nu]（濡れたくない)、ズルバン ミシャン [dzurubam miʃaŋ]（濡れてもよい)。パイシャ ズリリャ [paiʃa dzurirja]（早く濡れなさい)。アミン ズリダラ パナシゥキ カカルンドー [ʔamin dzuridara pʻḁn̥asi̥ki kʻḁkarundo:]（雨に濡れたら風邪をひくよ)。

タカアッサー [tḁkaʔassa:]（名）たかげた（高下駄)。

タキー [tʻḁki:]（名）たけ（丈)。高さ。

着物の肩山からすそまでの長さ。身長。タキー パカルン [tʻaki: pḁkaruŋ]（丈を測る)、タキーヌ ナーハー [tʻḁki:nu na:ha:]（丈が長い)、タキヌ マロハー [tʻḁkinu maroha:]（丈が短い。丈が低い)、ウヌ ピゥトー タキ タカハ [ʔunu pˢi̥to: tḁki tḁkaha]（この人は身長が高い）

タスキゥ [tasu̥kï]（名）たすき（襷)。

タスキゥ カキー ッザグ スー [tasu̥kï kaki: s̥sagu su:]（襷をかけて仕事をする)。

ダスキャー [dasukja:]（名）植物名。灌木。

木質が堅く、杖を作るのに用いる。猪を獲るときもその木を使う。一、二ヶ月曲げておいても、元にもどる強い木という。この木に罠を仕掛けて猪を保獲した。グサンヤ ダスキャーガギドゥ ツクル [gusaɲja dasukjagagidu tsu̥kuru]（杖はダスキャの木で作る)、ダスキャガキ ツクリドゥル グサンヤ ツーハダル [dasukjagagi tsu̥kuriduru gusaŋja tsu:hadaru]（ダスキャで作った杖は強い）

タナシゥ [tḁn̥asi̥]（名)。

豊年祭のウイタビの儀式に若い男が着る着物。白に黒筋のある着物。新前の若者たちが着る。四、五年タナシゥを着て何年か後に紺地の着物を着けさせた。襦袢のこと。

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

タナンガーリ [taŋaŋga:ri]（名）おしゃれ。

アンガマ [ʔaŋgama] などのように変装してあるくことを、タナンガーリ アルグン [tanaŋga:ri ʔaruguŋ]（変装してあるく）という。変装すること。化粧をすること。ウヌスク ウッカイヤーダル ムヌ ウシロイバ チゥキ タナンガーリ アルグー [ʔunusuku ʔukkaija:daru munu ʔuʃiroiba tsï ki t'anaŋga:ri ʔarugu:]（あれほど醜かったのに、<不美人だったのに> おしろいを付けて、おしゃれして変装してあるく）スールンナ ミズラシー キゥンバ キシ タナンガーリ アルギダロー [su:runna midzuraʃi: ksï mba kiʃi: tanaŋga:ri ʔarugidaro:]（お盆に、めずらしい着物を着て変装していたよ）。

タピゥ [tapsï]（名）たび（足袋）。

タピゥ フムン [tapsï fumuŋ]（足袋をはく）

タライ [t'arai]（名）たらい（盥）。

タライナー キゥヌー アラウン [t'araina: ksïnu: ʔarauŋ]（盥で着物を洗う）

チゥクラウン [tsïkurauŋ]（動）つくろう。修理する。

アンバ チゥクラウン [ʔamba tsïkurauŋ]（網をつくろう。～を修理する）。

チゥナウン [tsïnauŋ]（動）つなぐ（繋ぐ）。

短い糸を繋いで長くする。次のものに連結する。チゥナーン [ts'ïna:ŋ]（繋がない）、チゥナウナ [tsïnauna]（繋ぐな）、チゥナイッタハー [tsïnaittaha:]（繋ぎたい）、チゥナイ ミルン [tsïnaimiruŋ]（繋いでみる）、ダーチゥナイダラ バヌン チゥナウン [da: tsïnaidara banun tsïnauŋ]（君が繋いだら私も繋ぐ）、チゥナウ ムヌヌ ミーヌ [tsïnau mununu mi: nu]（繋ぐものがない）。チゥナイバ ミシャルムヌ [tsïnaiba miʃaru munu]（繋げばよいのに）チゥナーバン タラヌ [tsïna:ban taranu]（繋いでも足りない）。パイシャ チゥナイヤ [paiʃa tsïnaija]（早くつなげよ）。

チゥル [tsïru]（名）つる（弦）。三味線の弦。

サンシンヌ チゥル [saŋʃinnu tsïru]（三味線の弦）。サンシンヌ チゥルヌ キシー [saŋʃinnu tsïrunu kiʃi:]（三味線の弦が切れる）、～キジ

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

シタ [kḁʃiʃḁta]（切れた）、～キシミーヌ [kḁʃimi:nu]（切れてしまった）
ミージゥル [mi:dzïru]（一番細い弦）ナカジゥル [nakadzïru]（中位の弦）
ウージゥル [ʔu:dzïru]（一番太い弦）

ッザクキゥン [ssakuksïŋ]（名）普段着、「仕事着」の義か。

ッザクキゥン　キゥシー　ッザクンガイ　パルン [ssakuksïŋ ksïʃi: ssa kuŋgai p'aruŋ]（仕事着を着て、仕事に行く）

ッスー [ssu:]（名）すそ（裾）。

着物のすそ。キンヌ　ッス [kinnu ssu]（着物の裾）。

ッスル [ssuru]（動）そる（剃る）

ピニ　ッスル [pḁni ssuru]（ひげをそる）。ピニ　スリシタ [pḁni suriʃḁta]（髯を剃った）、ピネー　スラヌ [p'ḁne: suranu]（髯は剃らない）、スリッタハーダルー [surittaha:daru:]（剃りたい）、ダー　スッダラー　バヌン　スルン [da: suttara: banun surun]（君が剃ったら私も剃る）スル　ピゥトゥヌ　ブラヌ [suru psïtunu buranu]（剃る人がいない）、スリバ　ミシャルムヌ [suriba miʃarumunu]（剃ればよいのに）、スラバン　マタ　ムイドゥスー [surabam mata muidusu:]（剃ってもまた生える）。パイシャ　スリャー [paiʃa surja:]（早く剃りなさい）。

ティブクル [tibukuru]（名）てぶくろ（手袋）。

ティーブクル [ti:bukuru]（手袋）ともいう。

ドゥイヌ [duinu]（名）シャツ。襦袢のこと。

ドゥルブッター [durubutta:]（名）どろだらけ。

体じゅうに泥がくっついて、汚れている様。ヤラビヌ　アスピー　ドゥルブッター　ナリー　カイリキーロ [jarabinu ʔasupi: durubutta: nari: kairiki:ro]（子供が遊んで泥だらけになって帰ってきた）

ナチゥムヌ [natsïmunu]（名）夏着、「夏物」の義。

ナチゥムヌ　フィユムヌ [natsïmunu fijumunu]（夏もの、冬もの、夏着物、冬着）。

ヌーン [nu:ŋ]（動）ぬう（縫う）。

ヌーヌ [nu:nu]（縫わない）、ヌイシタ [nuiʃḁta]（縫った）、ヌイッサヌ [nuissanu]（縫いきれない）、ヌイッタハー [nuittaha:]（縫いたい）、ダー

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

ヌイダラ　バヌン　ヌーン [da: nuidara banun nu:ŋ]（君が縫ったら私も縫う)、ヌー　ピゥトゥヌ　ブラヌ [nu: p^sï̥tunu buranu]（縫う人がいない)、ハイシャ　ヌイバ　ミシャル　ムヌ [haiʃa nuiba miʃarumunu]（早く縫えばよいのに)。ヌーバン　ヌーバン　ヤブリドゥ　スー [nu:ban nu:baɲ jaburidu su:]（縫っても縫っても破れる)。ハイシャ　ヌイヤー [haiʃa nuija:]（早く縫いなさい)。

ヌキゥ [nuk^sï]（名）ぬき糸（緯糸)。

ぬき（緯)。布を織る横糸。

ヌグン [nukuŋ]（動）はめる、ぬく（貫く)の義。

ティブクル　ヌキャー [tibukuru nukja:]（手袋をはめなさい≪貫け≫)、ティブクル　ヌグン [tibukuru nukuŋ]（手袋をはめる）バー　ティブクル　ヌカン [ba: tibukuru nukaŋ]（私は手袋をはめない)、ティブクル　ヌキシティドゥ　ッザコー　ズー [tibukuru nukiʃi̥tidu s̥sako: su:]（手袋をはめて、仕事をする)、ダー　ティブクル　ヌキゥタラー　バヌン　ヌクン [da: tibukuru nuk^sï̥tara: banun nukuŋ]（君が手袋をはめたら、私もはめる）パイシャ　ヌキゥバ　ミシャル　ムヌ [paiʃa nukïba miʃaru munu]（早くはめればよいのに)。ティブクル　ヌカバン　カーラヌ [tibukuru nukabaŋ ka:ranu]（手袋をはめても変わらない)。

ヌグン [nuguŋ]（動）（手袋を）はずす。「脱ぐ」の義。

ティブクル　ヌーヌ [tibukuru nu:nu]（手袋を脱がない)、ヌイナ [nuina]（脱ぐな)、ティブクル　ヌイ [tibukuru nui]（手袋を脱ぐ、はずす)、ダー　ヌキゥダラ　バヌン　ヌグン [da: nuk^sïtara banun nuguŋ]（君がはずしたら、私もはずす《脱ぐ》)、パイシャ　ヌィバ　ミシャル　ムヌ [paiʃa nuiba miʃarumunu]（早く脱げばよいのに)、パイシャ　ヌイヤ [paiʃa nuija]（早く脱げ)。

ヌヌ [nunu]（名）ぬの（布)。

ヌヌ　ヴリ [nunuʔuri]（布を織る)、バサヌヌ [basanunu]（名）芭蕉布、バサヌヌ　ヴルン [basanunu ʔuruŋ]（芭蕉布を織る）

ヌル [nuru]（名）のり（糊)。

キゥヌー　ヌル　シー [k^sï̥n̥u: nuru ʃi:]（着物に糊つけしなさい）

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

ハウル [hauru]（名）はおり（羽織）。

和服の着物の上に着る短い上着。

パカマ [p'akama]（名）はかま（袴）。

パカマ　キシ [p'akama kiʃi]（袴を着なさい）。パカマ　キスン [p'akama kisuŋ]（袴を着る）。

バサヌヌ [basanunu]（名）芭蕉布。

パサン [pasaŋ]（名）はさみ（鋏）。

パサミガギ　キスン [p'asamigagi kisuŋ]（鋏で切る）

バタ [bata]（名）わた（綿）、木綿の綿。

バダイリ [badairi]（名）わたいれ（綿入）。

バダイリ　キシ [badairi kiʃi]（綿入れを着なさい）。冬季に綿入れを着ることの出来る人は少なかった。バダイリ　キスン [badairi kisuŋ]（綿入れを着る）バダイリタンジン [badairitanʤiŋ]（綿入りたんぜん）ともいう。

バダイリタンジン [badairitanʤiŋ]（名）「綿入れたんぜん」の義。

たんぜんのこと。

パタガ [pataga]（名）はだか（裸）。

「はだか」の有声音が音位転倒したもの。パタガ　ナリー [pataga nari:]（裸になる）、パタガナリー　ウーミブルン [pataga nari: ʔu:miburuŋ]（裸になって泳いでいる）。

パタガリ [patagari]（名）はだけること。

キゥンヌ　マイ　アーナブリ　パタガリブルン [kˢïŋnu mai ʔa:naburi patagariburuŋ]（着物の前が合わないではたがっている。はだけている）

パダキゥン [padakˢïŋ]（名）はだぎ（肌着）。

パダシ [padaʃi]（名）はだし（裸足）。

パダシ　ナリー　アラギブルン [padaʃinari: ʔaragiburuŋ]（裸足になって歩いている）

パデ [pade]（名）はで（派手）。

「派手」の訛。ウヌ　ピゥトゥヌ　キゥシル　キゥノー　ガラヌ　マイハヌ　パディ　ユンナー [ʔunu pˢïtunu kïʃiru kˢïŋo: garanu maihanu padi junna:]（この人の着ている着物は柄が大きくて、派手だねえ）

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

パトゥギ [pḁtugi]（動）ほどく。

縛ったものをほどく（解く)。

パトゥックリ [p'ḁtukkuri]（動）ほころびる（綻)。

縫目の糸がとけること。キゥンヌ　ススヌ　パトゥックリ [kïnnu susunu pḁtukkuri]（着物の裾がほころびる)。

パトゥグン [p'ḁtuguŋ]（動）ぬぐ（脱ぐ)。

キゥヌ　パトゥギ [kï̥n̥u pḁtugi]（着物を脱げ）キゥヌ　パトゥギシティドゥ　ミジゥ　アビル [k'ï̥n̥u pḁtugiʃi̥tidu midzï ʔabiru]（着を脱いで水を浴びる)、パトゥギゥナ [pḁtugïna]（脱ぐな)、キゥヌ　パトゥガヌ [k'ï̥n̥u pḁtuganu]（着物を脱がない)、パトゥガナダラ　シゥタグンドー [p'ḁtuganadara sï̥tagundo:]（脱がなかったらたたくぞ)、パトゥグ　ピゥトー　ブラヌ [pḁtugu pˢï̥to: buranu]（脱ぐ人はいない)。ダー　パトゥギゥダラ　バヌン　パトゥグン [da: pḁtugïdara banum pḁtuguŋ]（君が脱いだら私も脱ぐ）パイシャ　パトゥギバ　ミシャル　ムヌ [paiʃa pḁtugiba miʃaru munu]（早く脱げばよいのに)。パイシャ　パトゥギー [paiʃa pḁtugi:]（早く脱げ)。

パナブー [p'ḁn̥abu:]（名）はなお（鼻緒)。

アッサヌ　パナブー　キシー [ʔassanu p'ḁn̥abu: ki̥ʃi:]（下駄の鼻緒が切れる）パナブー　キシシタ [p'ḁn̥abu: ki̥ʃiʃi̥ta]（鼻緒が切れた）

パニ [p'ḁn̥i]（名）はね（跳)。

ミズパニ [midzup'ḁn̥i]（水の跳(はね))、ドゥルパニ [durup'ḁn̥i]（泥はね）などという。ドゥルパニ　キゥンナ　ダックヮリ [durup'ḁn̥i kˢï̥n̥na dakkwari]（泥はねが着物にくっつく)。

パル [p'ḁr̥u]（名）はり（針)。

縫い物用針。パルガギ　キゥヌ　ヌー [p'ḁr̥ugagi kˢï̥n̥u nu:]（針で着物を縫う)、パルー　ブリーシタ [p'ḁr̥u: buri:ʃi̥ta]（針が折れた）パルヌ　マイヒャー [p'ḁr̥unu maiça:]（針が大きい)、パルヌ　ミー [p'ḁr̥unu mi:]（針の目)、パルヌ　ミー　ヌキ [p'ḁr̥unu mi: nuki]（針の目を貫け、針の目に糸を通しなさい）

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

パンツァフン [pantsafuŋ]（動）はずす。

ほどく（解く）。パンツァヒナ [pantsaçina]（ほどくな）、パンツァハヌ [pantsahanu]（ほどかない）、パンツァハルヌ [pantsaharunu]（ほどくことができない）、パンツァヒッタハン [pantsaçittahaŋ]（ほどきたい）、ダー パンツァヒシタラ バヌン パンツァフン [da: pantsaçiʃitara banum pantsaΦuŋ]（君がほどいたら、私もほどく）、パンツァハバン チゥカールヌ [pantsahaban tsïka:runu]（ほどいても使えない）ハイシャ パンツァヒャー [haiʃa pantsaça:]（早くほどきなさい）。

ピゥトゥイ [psïtui]（名）一重もの。

一重着。（夏着）、ピゥトゥイヌ キゥン [psïtuinu ksïŋ]（一重の着物）

ビニ [bini]（名）べに（紅）、くちべに（口紅）。

「ベニ」の訛語。ビニチゥキ [binitsïki]（べにをつける）

ブー [bu:]（名）ひも（紐）。

ブーサリ サマリ [bu:sari s'amari]（ひもで縛る）。～チゥナイ [～t'sïnai]（～で繋ぐ）

フクル [fukuru]（名）ふくろ（袋）。

フクルンカイ イリリャ [fukuruŋkai ʔirirja]（袋に入れなさい）。カシガフクル [kaʃigafukuru]（籾を入れる麻袋）

フクルウビゥ [fukuruʔubï:]（名）「袋帯」の義。

男性神職者のチゥジゥリビがしめる帯のこと。フクルウベー チゥジゥリビンドゥ シーオール [fukuruʔube: tsïdzïribindu ʃi:o:ru]（袋帯は男性神職者がしておられる）

フシゥ [fusï]（名）くし（櫛）。

フシゥガギ アカマチゥ キッチー [fusïgagi ʔakamatsï kittʃi:]（櫛で髪の毛をくしけずりなさい。髪を解きなさい）。キッチゥナ [kittsïna]（梳るな）、キッチシタ [kittʃiʃita]（梳った）、キッツァヌ [kittsanu]（梳らない）、キッチタハダル [kittʃitahadaru]（梳りたい）、ダン キッチダラ バヌン キッツン [daŋ kittʃidara banuŋ kittsuŋ]（君が梳ったら私も梳る）、パイシャ キッチバ ミシャルムヌ [paiʃa kittʃiba miʃarumunu]（早く梳ればよいのに）イカスク キッツァバン ダミ [ʔikasuku kit

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

tsaban dami]（いくら梳ってもだめだ）。パイシャ　キッチャ［paiʃa kittʃa（早く梳け）。**フ**シゥヌ　ミヌ　アラハー［fusïnu minu ʔaraha:］（櫛の目が粗い）。キッツ　ピゥトゥヌ　ブラヌ［kittsu psïtunu buranu］（梳る人がいない）。

プスン［pusuŋ］（動）ほす（干す）。

キゥヌ　プシシタ［k'ïnu puʃiʃita］（着物を干した）。キューヤ　プスン［kju:ja pusuŋ］（今日は干す）、キューヤ　プスナ［kju:ja p'usuna］（今日は干すな）、プシゥミラ［pusïmira］（干してみよう）、キゥン　プシゥバソー　イチゥーン　アミンドゥ　**フー**［ksïm pusï baso: ʔitsï:ŋ ʔamindufu:］（着物を干すときは、いつも雨が降る）、ダー　プシゥーダラ　バヌン　プスン［da: pusï:tara banum pusuŋ］（君が干したら私も干す）パイシャ　プシバ　ミシャル　ムヌ［paiʃa puʃiba miʃaru munu］（早く干せばよいのに）。パイシャ　プシャー［paiʃa puʃa:］（早く干せ）。プサバン　ダメ　アミヌドゥ　**フー**［pusabam dame ʔaminudu fu:］（干してもだめだ、雨が降る）。

フチゥ［futsï］（名）わらじ（草鞋）。

藁で編んだ履きもの。海へ漁りに行くときに履いた。足を保護するために履いた。フチゥ　チゥクリ［futsï tsïkuri］（草鞋をつくる）

フチュグル［futʃuguru］（名）ふところ（懐）。

フチュグルナ　イリ［futʃuguruna ʔiri］（懐に入れる）

フムン［fumuŋ］（動）はく（履く）。

アッザ　**フ**ミー［ʔassa fumi:］（下駄を履く）、アッザ　**フ**マヌ［ʔassa fumanu］（下駄を履かない）、アッザ　**フ**ミシティドゥ　パル［ʔassa fumiʃitidu paru］（下駄を履いて行く）、ダー　**フ**ンダラ　バヌン　**フ**ムン［da: fundara banuŋ fumuŋ］（君が履いたら私も履く）、アッザ　**フ**ムシトー　タルン　ブラヌ［ʔassa fumuʃito: tarum buranu］（下駄を履く人は誰もいない）、アッザ　**フ**マバン　イヤルヌ［ʔassa fumabaŋ ʔijarunu］（下駄を履いても叱られない）パイシャ　フミャー［paiʃa fumja:］（早く履きなさい）。

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

ボーシ [bo:ʃi]（名）ぼうし（帽子）

ボーシ　カブナ [bo:ʃi kabuna]（帽子をかぶるな）、カブリャー [kaburja:]（かぶりなさい）、バー　カブルン [ba: kaburuŋ]（私がかぶります）、カバナ　ブリャ [kabana burja]（かぶらずにおれ、かぶるな）

ボーチゥ [bo:tsï̥]（名）いがぐりあたま。

男性の髪型。頭髪を短く丸刈りにした顔。「いちぶがり」、「ごぶがり」などがあった。「ぼうず（坊主）」の義より意味派生したもの。ボーチゥ　チゥプル [bo:tsï̥tsï̥puru]（坊主頭）。アカマチゥ　チゥミヒリ [ʔakamatsï̥ tsï̥m̥içiri]（髪を切ってくれ、髪をつめてくれ）

マイカキー [maikaki:]（名）まえかけ（前掛け）。

着物が汚れないように、腹部より膝にかけて着用する布。作業用に用いる。マイカキーバ　シー　ッザク　シーブルン [maikaki:ba ʃi: ssaku ʃi:buruŋ]（前かけをして仕事をしている）

マイチャー [maitʃa:]（名）女性の襦、下着。

マルギ [marugi]（動）30束をたばねる。

多くのものを一束に丸ぐ。ひとまとめにする。まろぐ。

ミアンガリ [miaŋgari]（名）身分不相応なことをすること。

自分に合わないようなことをしてあるくこと。身分不相応な服装。ヌーンナラナシティ　ピゥトゥヌ　ウイナ　ミアンガリ　シー　アックン [nu:n naranaʃi̥ti psï̥tunu ʔuina miaŋgari ʃi:ʔakkuŋ]（何もできないくせに、人の上にまいあがっている、身分不相応なことをしている）

ミーカンガン [mi:kaŋgaŋ]（名）眼鏡（めがね）。

水中めがね。ミーカンガン　カキー [mi:kaŋgaŋ kaki:]（眼鏡をかける）

ミットゥミーヌ [mittumi:nu]（形）みっともない。

アイル　カタチゥ　シー　アラギダラー　ミットゥ　ミーヌドゥラー [ʔairu katatsï ʃi: ʔaragidara: mittu mi:nudura:]（そんな格好をしていたら、みっとがないよ）

ミヌ [minu]（名）みの（蓑）。

クバの葉を乾燥したものを、水につけて軟らかくし、広げ、細く裂いたものを編んで作った。肩からかけ、雨を防ぐ雨具。腰に巻くムルマキ [murumaki]

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

（「もろ巻き」の義か。腰に巻いて着ることにより、下着の濡れるのを防ぐ雨具）とクバ笠が一対になっている。農作業の際に着用した。

ムス［musu］（名）たたみ（畳）。

ムス　シキ［musu ʃiki］（畳を敷く）ムソー　シゥカヌ［muso: sɿkanu］（畳は敷かない）、ムスー　シキシタ［musu: ʃikiʃita］（畳を敷いた）、ムスー　シゥキッタハダル［musu: sɿkittahadaru］（畳を敷きたい）、ダー　シゥキッタラ　バヌン　シゥクン［da: sɿkittara banun sɿkuŋ］（君が敷いたら私も敷く）、シゥキバ　ミシャルムヌ［sɿkiba miʃarumunu］（敷けばよいのに）ハイシャ　シキャー［haiʃa ʃikja:］（早く敷け）。古見ではサーラ［sa:ra］（い草）で畳表を織った。アザヌパームス［ʔadzanupa:musu］（あだん葉筵）。

ムミンイトゥ［mumiŋʔitu］（名）木綿糸、綿糸。

ムンチゥキ［muntsɿki］（名）もんつき（紋付）。

紋の付いた礼装用の和服。古見では紋付を所持している人は、二、三人程度であった。

モンペー［mompe:］（名）もんぺ。

農村婦人の作業用ももひき。太平洋戦争の頃より流行したが、今は見られない。

ヤーキシャー［ja:kiʃa:］（名）普段着。

「家庭着」の義。「家で着るもの」の義。

ヤーパン［ja:paŋ］（名）家紋。

「家判」の義。各家には、一定の家紋があったようだが、よくわからない。大底家のヤーパンは「七」であった。

ヤニヒャー［janiça:］（形）きたない（汚）。

ヤニヒャダル［janiçadaru］（汚い）、ヤニヒャドゥ　アッタルー［janiçadu ʔattaru:］（汚かった）、ヤニヒャミーヌ［janiçami:nu］（汚くない）、タダーイヤニヒャドゥ　ナル［tada:i janiçadu naru］（だんだん汚くなる）ヤニハルムノー　カーヌ［janiharu muno: ka:nu］（汚いものは買わない）ヤニヒャダラー　シティリャー［janiçadara: ʃitirja］（汚かったら捨てなさい）

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

ヤブリルン [jaburiruŋ] (動) 破れる。

ブンナ カカッカリ ヤブリミーヌ [funna kakakkari jaburi mi:nu] (釘にひっかかって破れてしまった)

ユーン [ju:ŋ] (動) 結う。

アカマチゥ ユーン [ʔakamatsï ju:ŋ] (髪を結う)。ユーヌ [ju:nu] (結わない)、ユイシタ [juiʃita] (結った)、ユイタハダル [juitahadaru] (結いたい)、ダーユイダラ バヌン ユーン [da: juidara banuɲ ju:ŋ] (君が結ったら私も結うよ)。パイシャー ユイバ ミシャルムヌ [paiʃa: juiba miʃarumunu] (早く結えばよいのに) ユーバン フキドゥ スー [ju:baŋ fukidu su:] (結っても、くずれるよ)、パイシャ ユイヤ [paiʃa juija] (早く結いなさい)。

ユカタ [jukata] (名) ゆかた (浴衣)。

新しく借用された語。ユカタマチゥプヌ [jukatamatsïpunu] (浴衣を着た化物) がチジンヤー [tʃidziɲja:] の家の前に立つと言われていた。古見には昔から大和人が木材を伐りに来ていたので、ユカタも早くから導入されていたと考えられるという。

ユグリルン [juguriruŋ] (動) よごれる (汚れる)。

ユグリシタ [juguriʃita] (汚れた)、ユグルヌ [jugurunu] (汚れない)、アイル クトゥ シゥダラー ユグリルン ドゥラー [ʔairukutu sïtara: jugurirun dura:] (そんなことをしたら汚れるよ)

ユフク [jufuku] (名) 洋服。

和服に対していう。キゥン [kˢïŋ] は一般に和服をいう。昭和15、16年頃、シモフリ [ʃimoΦuri] の洋服を着て学校に行ったら、級友に笑われ、泣いて帰宅したことがあるという (大底朝要氏)

分野 (6) 食

アー [ʔa:] (名) あわ (粟)。アーヌイー [ʔa:nuʔi:] (あわ飯)。

アーヌイー マカヒシタ [ʔa:nuʔi: makaçiʃita] (粟飯を炊いた)、ムツアー [mutsuʔa:] (糯粟)、サクアー [sakuʔa:] (粳粟)、米に糯粟を混ぜて炊くと美味しい飯が炊けた。

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

アーサ [ʔaːsa]（名）。

あおさ（石蓴）、海藻の一つ。

干潮線付近の岩や小石に着生する。アーサ　トゥリ［ʔaːsa turi］（あおさを取れ）。ユブ［jubu］（由布島）と西表島の間の遠浅の海によく生えた。ユブカラ　トゥル　アーサンドゥ　マハダル［jubukara t'uru ʔaːsandu mahadaru］（由布島から取れるアオサがおいしかった）。由布のアオサは、ウブマタカー［ʔubumataka:］（ウブマタ川）の下流によく生えた。

アイ　チゥチゥ［ʔaitsïtsï］（名）きね（杵）。

アカイー［ʔakaʔiː］（名）赤飯。

食紅で着色させて炊いた米飯。昔は赤豆で着色させたという。祝儀の米飯として作られた。

アカナー［ʔakanaː］（名）魚の一種。

アサブン［ʔasabuŋ］（名）朝食。朝ごはん。

アサブン　ファイヤー［ʔasabuŋ Φaijaː］（朝ごはんを食べなさい）。イモ（芋、藷）とおつゆだけの朝食が普通であった。夏は暑いので、朝仕事を終わって帰ってきて、午前10時頃に食した。アサカイヌ　アル　ウチゥナー　ッサク　シー［ʔasakainu ʔaru ʔutsïnaː ssaku ʃiː］（朝陰のあるうちに仕事をしなさい）。

アシキー［ʔaʃikiː］（名）魚名。

アシゥピリカイ［ʔasïpirikai］（名）。お粥の一種。

堅めに炊いた粥。普通のご飯をうんと軟らかめに炊いた粥。

アチゥ［ʔatsï］（名）あじ（味）。

アチゥ　ミーヌ［ʔatsï miːnu］（味がない）、アチゥ　アリドゥル［ʔatsï ʔariduru］（味がある）、アチゥヌ　マーハー［ʔatsïnu maːhaː］（味がおいしい）、アチゥ　チゥーハー［ʔatsï tsïːhaː］（味が強い、味が濃い）、アファファー［ʔaΦaΦaː］（味がうすい、「淡さ」の転訛したものか）、アチゥヌアファファー［ʔatsïnu ʔaΦaΦaː］（味がうすい）。

アチゥマハン［ʔats'ïmahaŋ］（形）あまい（甘い）。

サター　アチゥマハン［sataː ʔatsïmahaŋ］（砂糖は甘い）。

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

⌈アッツァフン [⌈ʔattsaΦuŋ] (動) 温める。

⌈イー⌉ アッツァヒ [⌈ʔiː⌉ ʔattsaçi] (ご飯をあたためる)、⌈イー⌉ アッツァ⌈ヒーファ⌉ウン [⌈ʔiː⌉ ʔattsa⌈çiː Φa⌉uŋ] (ご飯を温めて食べる)、⌈イー⌉ アッツァシゥナ [⌈ʔiː⌉ ʔattsasï̥ŋ̊a] (ご飯を温めるな)、⌈アッツァフ⌉ シトゥン ⌈ブラ⌉ヌ [⌈ʔattsaΦu⌉ ʃi̥tum ⌈bura⌉nu] (温める人もいない)、⌈ダー ⌈アッツァシタ⌉ラ ⌈ファ⌉ウンドゥ⌉ラー [⌈daː ⌈ʔattsaʃi̥ta⌉ra ⌈Φa⌉undu⌉raː] (君が温めたら食べるよ)、アッツァハ⌈バン ファ⌉ーヌ [ʔattsaha⌈baŋ Φa⌉ːnu] (温めても食べない)。ハイ ⌈シャー アッツァヒャ⌉ー [hai⌈ʃaː ʔattsaça⌉ː] (早く温めなさい)

ア⌈ファファー [ʔa⌈ΦaΦaː] (名) 味がうすい。

⌈ウ⌉ヌ ⌈ソー アファファー [⌈ʔu⌉nu ⌈soː ʔaΦaΦa] (このお汁は味がうすい)。

⌈アマダー [⌈ʔamadaː] (名) 魚やたこ (蛸) などを乾燥させるために、針金を網状に編んだもの。 竈の上に置き、魚類をその上に乗せて、竈の中の燠火で乾燥させた。

⌈ア⌉マハルムヌ [⌈ʔa⌉maharu munu] (連) 味のうすいもの。

うすあじ (薄味) のもの。⌈ア⌉マハ⌈ル⌉ ムヌドゥ ⌈ファイッ⌉タハル [⌈ʔa⌉maha⌈ru⌉ munudu ⌈Φait⌉taharu] (薄味のものが食べたい)。

⌈ア⌉ミ [⌈ʔa⌉mi] (名) あめ (飴)。

石垣島に行かないと食べられなかった。古見にはなかった。⌈ア⌉メー ⌈イ⌉シャキゥンガイ パ⌈ルバスタンガドゥ ファー⌉リダル [⌈ʔa⌉meː ⌈ʔi⌉ʃakˢï̥ŋgai pḁ⌈rubasutaŋgadu Φaː⌉ridaru] (飴は石垣島に行く時だけ食べることができた)。

⌈アンバ [⌈ʔamba] (名) あぶら (油)。

⌈ウンタヌ⌉ アンバ [⌈ʔuntanu⌉ ʔamba] (豚の脂、ラード)、⌈グマヌ アンバ [⌈gumanu ʔamba] (ゴマ油)、⌈ナダニユー [⌈nadanijuː] (菜種油) などがある。テンプラを揚げる際には、⌈ウンタヌアンバ (豚脂) と⌈ナダニユー (菜種油) を使った。⌈ナダニユーは、なかなか入手できなかった。⌈アンバ⌉ タキ [⌈ʔamba⌉ tḁki] (豚の脂を焼いて油をとる)。

⌈アンバヌ カス [⌈ʔambanu kasu] (名)。

豚の脂肉を焼いて油をとり出した後の糟、油粕、⌈ミ⌉ンチゥブ [⌈mi⌉ntsïbu] (耳壷) に入れておいて、カ⌈ティムン [kḁ⌈timuŋ] (おかず) にした。

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

イーファイ [ʔi:Φai]（名）食事、「飯喰い」の転訛したもの。

ムヌファイ [munuΦai] ともいう。田植えの際の昼食には、ズーシヌグハン [dzu:ʃinu guhaŋ]（雑炊のご飯）を炊いた。ダイクンヌ シミームヌ [daikunnu ʃi̥mi̥:munu]（大根の煮つけ）をおかずにして、田小屋で昼食をとった。

イー ファールヌ [ʔi: Φa:runu]（文）飯が食べられない。

「飯喰われぬ」の義か。小食の意。ウイピゥトゥ ナリ イー ファールナ ナリミーヌ [ʔuipˢi̥tu nari ʔi: Φa:runa narimi:nu]（年をとってご飯が食べれなくなってしまった）。

イーマカシゥ [ʔi:makasi̥]（名）。すいじ（炊事）。

「飯沸かし」の転訛したものか。ムヌスクリ [munusu̥kuri]（ご飯炊き、「ものつくり」の義か）ともいう。料理をするの意。

イームリゥ [ʔi:murï]（名）。おにぎり

「飯盛り」の転訛したものか。イームルン [ʔi: muruŋ]（飯を握る、おにぎりを作る）、アックンヌ イー ムルン [ʔakkunnu ʔi: muruŋ]（芋のおにぎりを作る）、ムラン [muraŋ]（にぎらない）、ムリシタ [muriʃi̥ta]（にぎった）、ムリミラ [murimira]（にぎってみよう）、ムル ピゥトゥヌ ブラヌ [muru pˢi̥tunu buranu]（にぎる人がいない）、ムリゥダラ ミシャル ムヌ [murïdara miʃaru munu]（にぎったらよいのに）。ハイシャ ムリャ [haiʃa murja]（早くにぎりなさい）。

イシュス [ʔiʃusu]（名）石臼。

豆腐や餅を作るときに水に漬けた大豆や糯米を碾くのに用いる。

イダディ [ʔitadi]（動）。急須の中の茶をこぼす。

チャー イダディ シティリャ [tʃa: ʔitadi ʃi̥tirja]（茶をこぼして捨てなさい）、チュッカ クルバヒ イダディシティミヌバン [tʃukka kurubaçi ʔitadiʃi̥timinubaŋ]（急須をひっくりかえして、こぼしてしまった）、ヨーヨ チュッカ クルバヒ イダドゥナ [jo:jo tʃukka kurubaçi ʔitaduna]（気をつけろよ、急須をひっくりかえして、こぼすなよ）、イダディミヌバン [ʔitadiminubaŋ]（こぼしてしまったよ）。チャー イダディ シティリャ [tʃa: ʔitadi ʃi̥tirja]（茶をこぼしてすてなさい）。ダー イダディラバン

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

ダー イタドゥヌ [da: ʔitadirabam ba: ʔitadunu]（君が捨てても私は捨てない）。

イナチゥキ [ʔinatsi̥ki]（名）きね（杵）。

イビラ [ʔibira]（名）煮たイモなどをこねるのに用いるもの。

長さ約60センチほどの、櫂の形をしたもの。

-イラ [-ira]（接尾辞）助数詞、～枚。

ピトゥイラ [pi̥tuira]（一枚）、フタイラ [Φu̥taira]（二枚）、十枚で、イッスク [ʔissuku]（一足、一組）という。

イルキゥン [ʔiruksïŋ]（動）いる（煎る）、いためる（炊）。

マーミ イルキャー [ma:mi ʔirukja:]（豆を煎りなさい）、イルキゥナ [ʔiruksïna]（煎るな）、ミナー マーミ イルキゥードゥル [mina: ma:mi ʔiruksï:duru]（今、豆を煎っている）、イルキゥーミッタハダル [ʔiruksï̥:mittaha:daru]（煎ってみたい）、イルカバン ファーヌ [ʔirukaban fa:nu]（煎っても食べない）、ハイシャー イルキャー [haiʃa: ʔirukja:]（早く煎りなさい）。

ウーキ [ʔu:ki]（名）おけ（桶）、餅粉を碾くのに用いる桶。水桶。

ウーリゥ [ʔu:rï]（名）うり（瓜）。

うり科の一年生つる草。畑で露地栽培をしたり、屋敷内の菜園では、竹や木で棚を作り、それに這わせて栽培した。キューリゥ [kju:rï]（胡瓜）とマウリゥ [maurï]（ま瓜）があった。

ウドゥン [ʔuduŋ]（名）うどん（饂飩）。

ウブムン [ʔubumuŋ]（名）コーリャン（高粱）。

とうもろこしの一種。

ウメボシ [ʔumeboʃi]（名）うめぼし（梅干）。

戦前はあまり見なかった。戦後輸入されるようになった。

ウラアカナー [ʔuraʔakana:]（名）魚名。

ウンタヌ　ニク [ʔuntanu niku]（連）豚の肉。

ウシゥヌ　ニク [ʔusi̥n̥u niku]（牛の肉）、イユヌ　ニク [ʔijunu niku]（魚の肉）。

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

カーマイ [ka:mai] (名) げんまい (玄米)。

「皮米(カワマイ)」の義か。精白してない米。カーマイヤ ッサイドゥ ファウ [ka:maija ssaidu fau] (玄米は精白して食べる)。

ガーラ [ga:ra] (名) 魚名。

バンガーラ [baŋga:ra] (ガーラの特別大きなものをいう)。

カイ [kai] (名) おかゆ (粥)。

カイ タキ [kai taki] (お粥を炊け)、アシゥピリカイ [ʔasïpirikai] (ご飯に近く堅めに炊いた粥)。

カタガス [katagasï] (名) 魚名。

カティムヌ [katimunu] (名) おかず。

カティムノー タラヌ [k'atimuno: t'aranu] (おかずが足りない)。

カツブシ [katsubuʃi] (名) かつをぶし (鰹節)。

カツブシ キッチ [katsubuʃi kittʃi] (鰹節を削る)。

カバッサ [kabassa] (形) 香ばしい。

パンビンヌ カザヌ カバッサ [pambinnu kadzanu kabassa] (テンプラの匂いが香ばしい)、タダーイ カバッサドゥ ナル [tada:i kabassadu naru] (だんだん香ばしくなる)、カバハダラ キー ファイヤ [kabaha dara ki: faija] (香ばしかったら来て食べなさい)、ウリランマー パンビンドゥ カバッサルー [ʔuriramma: pambindu kabassaru:] (これよりもテンプラが香ばしい)。カバッサラバン ウレーファールヌ [kabassara baŋ ʔure: fa:runu] (香ばしくてもそれは、食べられない)

カブス [kabusu] (名) ゆりわ。

頭に荷を乗せて運ぶ際、クッションとして用いるもの。鳩間方言では、シケー [ʃike:] (敷きもの、ゆりわ) という。

カブチャ [kabutʃa] (名) カボチャ (南瓜)。

カマブク [kamabuku] (名) かまぼこ (蒲鉾)。

カマブク チゥクリ [k'amabuku tsïkuri] (蒲鉾を作る)、カマブクウシゥ [k'amabukuʔusï] (蒲鉾をつく臼) に魚肉を入れ、イナチゥキ [ʔinatsïki] (杵) でついて蒲鉾で作った。ボーダーイユー [bo:da:ʔiju] やタマン [tamaŋ] などの魚肉で作った。カニの蒲鉾は特別に美味であった。シンシュヌ

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

ジームヌ [ʃiŋʃunu ʃi:munu] の中に、カニ蒲鉾をダンゴにして入れたものは最高に美味であった。カニの雌は、赤い卵をもっているので、それを蒲鉾に入れると、真赤な蒲鉾が作れた。美味であった。

カマドゥ [k'amadu] (名) かまど (竈)。

土をこねて作った。

カミ [k'ami] (名) かめ (瓶)。

バンドゥカミ [bandukʻami] (広口の水瓶)、ビシミ [biʃimi] (飲料水専用の水瓶のこと)、ミーシュカミ [mi:ʃukami] (味噌を入れるのに用いる瓶)、サキカミ [sakikʻami] (酒瓶、酒を入れるに用いる細首の瓶)、グシカミ [guʃikʻami] (酒瓶) ともいう。

カラハン [karahaŋ] (形) からい (辛)。

唐辛子などの辛い味。カラハミーヌ [kʻarahami:nu] (辛くない)、ウレーカラハダン [ʔure: karahadaŋ] (これは辛かった)、カラハミーナダラファウン [kʻarahami:nadara Φauŋ] (辛くなかったら食べる)、マイヤーカラハミーナッタ [maija: karahami:natta] (以前は辛くなかった)、カラハミーヌバン ファーヌ [karahami:nubaŋ Φa:nu] (辛くなくても食べない)、メーンミマ カラハダラ ミシャールムヌ [me:ʔmmima kʻaraha dara miʃa:rumunu] (もう少し辛かったらよいのに)。

カンタルン [kantaruŋ] (動) 噛む。

カンタル フドゥドゥ アチゥサー ンディル [kantaru Φududu ʔatsï sa: ʔndiru] (噛めばカムほど味が出る)、カンタルナ [kantaruna] (噛むな)、カンタリドゥル [kantariduru] (噛んでいる)、カンタル ピゥトーブラヌ [kantaru pˢïto: buranu] (噛む人はいない)、ダーニー カンタリダラ ファーン マービ スンドゥラー [da:ni kantaridara Φa:m ma:bi sundura:] (君のように噛んだら子供も真似るよ)。パイシャ カンタリバ ミシャル ムヌ [paiʃa kantariba miʃaru munu] (早く噛めばよいのに)。パイシャ カミャー [paiʃa kʻamja:] (早く噛め)。

カンビン [kambiŋ] (名) 徳利。燗瓶。

首の細長い、酒を入れる瓶。約一合ほどの酒が入る。カンビンナー グシーイリキミリ [kambinna: guʃi: ʔirikimiri] (燗瓶にお酒を入れてもってき

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

なさい)。

キーヌナル [ki:nunaru] (名)「木の実」の義。

クヮーンナル [kwa:nnaru] (桑の実)、キダヌナル [kidanunaru] (黒木の実、黒壇の実)、ムンヌナル [munnunaru] (山ももの実)、シーヌミー[ʃi:numi:] (椎の実、山で椎の実の落ちているものを、よく拾って食した、美味であった)。シーヌ　ミー　プサ [ʃi:nu mi: pu̥sa] (椎の実を拾おう)。

ギジャ [giʤa] (名)。シャコ貝 (硨磲貝)。

昔は古見の海にもたくさんいた。

ギジャク [giʤaku] (名)。二枚貝の名。

マングローブ林の中にいる。

キジャル [kiʤaru] (名) 祭り、祭祀、行事。

キジャルナ　スクル　ムヌ　ウリドゥ　マハル　ムヌ [kiʤaruna su̥kuru munu ʔuridu maharu munu] (祭祀、行事につくるもの、それがおいしいものだ《ご馳走だ》)。

キゥスン [kï̥suŋ] (動) 切る。切断する。

ナーヌパー　キシー [na:nupa: ki̥ʃi:] (野菜を切る)、キゥスナ [kï̥suna] (切るな)、ヤサイ　キシミルン [jasai ki̥ʃimiruŋ] (野菜を切ってみる)、キシブルン [ki̥ʃiburuŋ] (切っている)、キゥス　シトゥン　ブラヌ [kï̥susi̥tum buranu] (切る人もいない)、ダー　キゥスタラー　バー　バガフン [da: kï̥sutara: ba: bagaΦuŋ] (君が切ったら私が炊く)、キゥサバン　タラヌ [kï̥saban taranu] (切ってもたりない)。パイシャ　キシャー [paiʃa ki̥ʃa:] (早く切れ)。

キブシゥ [kibusï̥] (名) ゆげ (湯気)、「煙」の義か。

キブシゥ [kibusï̥] (煙) が湯気に似ていることから意味派生したものであろう。キブシゥ　タチー [kibusï̥ tḁtʃi:] (湯気をたてる)、キブシゥ　ンディー [kibusï̥ ndi:] (鍋から湯気が出る)。

キゥンダイクニ [kˢïndaikuni] (名) 人参。

「黄大根」の義。

キンパナ [kimp'ḁn̥a] (名) 黄麹。

パナ [p'ana] (こうじ「麹」) は味噌の原料となる。

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

ˊクー [ˊku:] (名) こな (粉)。

ˊマˋイヌ クー [ˊmaˋinu ku:] (米の粉)、ˊムンヌ クー [ˊmunnu ku:] (麦の粉)。

ˊグーヤー [ˊgu:ja:] (名) にがうり (苦瓜)。

＊nigauri・a→gaurja:→gɔ:ja:と変化したものが、再転訛して (ɔ:→u)、グーヤー [ˊgu:ja:] となったものであろう。

ˊグˋス [ˊguˋsu] (名) とうがらし (唐辛子)。

ˊグソˋー ˊカラハン [ˊgusoˋ: ˊkarahaŋ] (唐辛子はからい)、ˊグソˋー ˊカラハヌ ファーˋルヌ [ˊgusoˋ: ˊkarahanu fa:ˋrunu] (唐辛子は辛くて食べられない)、ˊグソˋー ˊナマシゥナ イˋリー [ˊgusoˋ: ˊnamasïŋa ʔiˋri:] (唐辛子を刺身に入れなさい)。

ˊグシ [ˊguʃi] (名) 酒。

「御酒」の転訛したものか。お盆の獅子祭りの時は、ˊグシパナˋ アチゥミリ [ˊguʃipanaˋ ʔatsïmiri] (神酒、「御酒」と初米を集めなさい) と言われた。ˊグシˋ ヌムン [ˊguʃiˋ numuŋ] (酒を飲む)、ˊグシˋ ヌマヌ [ˊguʃiˋ numanu] (酒を飲まない)、ˊグシ ヌミˋシタ [ˊguʃi numiˋʃita] (酒を飲んだ)、ˊグシ ヌミˋル [ˊguʃi numiˋru] (酒を飲んでいる)、ˊグシ ヌムˋ シトゥン ˊブラˋヌ [ˊguʃi numuˋ ʃitum ˊburaˋnu] (酒を飲む人もいない)。ˊダˋー ヌンˊダˋラ ˊバヌンˋ ヌムン [ˊdaˋ: nunˊdaˋra ˊbanunˋ numuŋ] (君が飲んだら僕も飲む)。ヌミˊバ ミシャルˋムヌ [numiˊba miʃaruˋmunu] (飲めばよいのに)。ヌマˊバン ビューヌ [numaˊbam bju:nu] (飲んでも酔わない)。ハイˊシャ ヌミャー [haiˊʃa numja:] (早く飲め)。

クˊスックレˋー [kuˊsukkureˋ:] (名) くしゃみ。

ˊクバフー [ˊkubafu:] (名) 魚名。

ˊクブ [ˊkubu] (名) こんぶ (昆布)。

ˊクブ バˋガヒ [ˊkubu baˋgaçi] (昆布を煮なさい)。昆布は行事のときに使っていた。正月やお盆や十六日祭には必ず昆布料理を作った。ˊクボーˋ マーˊハン [ˊkubo:ˋ ma:ˊhaŋ] (昆布はおいしい)、ˊハナムスピー [ˊhanamusupi:] (花結び) は祝儀のときの昆布の結び方、法事のときは結ばず、そのままにした。

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

クブフン [kubuΦuŋ]（動）こぼす。

まちがってこぼす（零)。チャー　クブヒミヌ [tʃa: kubuçiminu]（茶をこぼしてしまった)、チャー　クブッスナ [tʃa: kubussu̥n̥a]（茶をこぼすな)、チャー　クブハルヌ [tʃa: kubuharunu]（茶をこぼすことがでない)、チャー　クブフ　シトゥ　ブラヌ [tʃa: kubuΦu ʃi̥tu buranu]（茶をこぼす人がいない)、チャー　クブヒャー [tʃa: kubuça:]（茶をこぼしなさい)、クブヒナ [kubuçina]（こぼすな)

クヮーシゥ [kwa:si̥]（名）お菓子。

「菓子」の転。クヮーシゥ　フォーン [kwa:sï fo:ŋ]（菓子を食べる)。

クヮイターング [kwaita:ŋgu]（名)。水肥を入れて運ぶ担桶。

サカチゥキ [sḁkatsi̥ki]（名）さかずき（盃)。

サクマイ [sḁkumai]（名）うるち米（粳)。

サクマイガゲー　ムツォー　ツクラルヌ [sḁkumaigage: mutso: tsu̥kurarunu]（粳米では餅は作られない)。

サッタ [satta」]（名）さとう（砂糖)。

サッター　シンザガギドゥ　チゥクル [satta: ʃindzagagidu tsï̥kuru]（砂糖は砂糖キビで作る)、フーサッタ [fu:satta]（黒砂糖)、ッスサッタ [ssusatta]（白砂糖)、昔は白砂糖はあまりなかった。黒糖は瓶に入れて保存した。子供が欲しがって瓶に手を入れるので、「瓶が手を喰いちぎるよ」と脅した。ヤラビヌ　カミンガ　ティーリダラ　カミヌ　ティー　フーンドー [jarabinu k'ḁm̥iŋga ti:ridara k'ḁm̥inu ti: fu:ndo:]（子供が瓶に手を入れたら、瓶が手を喰いちぎるぞ)。マイヌミーシゥ [mainumi:ʃu]（米味噌なども瓶に入れて保存したが、子供たちは瓶が恐ろしいので、手を入れることができなかった。)

サミルン [sḁm̥iruŋ]（動）酔からさめる（覚める)。

ビー　サミー [bi: sḁm̥i:]（酔がさめる)、ビー　サミーシタ [bi: sḁm̥i:ʃi̥ta]（酔がさめた)、ミズ　ヌマバン　サムヌ [midzu numaban sḁm̥unu]（水を飲んでもさめない)、パイシャ　サミッタハー [paiʃa samittaha:]（早く酔からさめたい)、サミル　シトー　ブラヌ [sḁm̥iru ʃi̥to: buranu]（さめる人がいない)、ダー　サミダラ　ウムッサミヌ [da: sḁm̥idara

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

ʔuˈmussaˈmiˈnu]（君がさめたらおもしろくない)、ハイˈシャˈ　サˈミリャ[haiˈʃaˈ saˈmirja]（早くさめなさい)。

サˈラ [saˈra]（名）さら（皿)。

ˈウーザラ [ˈʔu:dzara]（名）大皿。大きな皿。

ˈチューザラ [ˈtʃu:dzara]（名）中皿。中程の皿。ˈクザラ [ˈkudzara]（名）小皿。小さな皿。皿を数える際には、ピˈトゥイラ [piˈtuira]（一枚)、フˈタイˈラ[Φuˈtaiˈra]（二枚）のようにいう。

ˈサンシンビラ [ˈsaŋʃimbira]（名）飯杓子。

古老には、ミˈシンガイ [miˈʃiŋgai]（飯杓子）という人もいた。これが古見本来の方言であろう。

ˈジームヌバン [ˈʃi:munubaŋ]（名）吸い物椀。

ˈジームヌバンˈナー　ジームヌ　ˈイリクー [ˈʃi:munubanˈna: ʃi:munu ˈʔiriku:]（吸い物椀に吸い物を入れてきなさい)。

シールン [ˈʃi:ruŋ]（動）すえる（饐える)。

ご飯がすえる。夏期には炊いたご飯を鍋に放置しておくと、ˈヌビ　アーシンジ [ˈnubi ʔa:ʃi ʔndʒi]（のびて、汗が出る）状態になり、さらに進行するとˈシールン [ˈʃi:ruŋ]（饐える）状態となり、食べられなくなる。ˈウˈヌ　ˈイエー　シーリ　ファーˈルヌ [ˈʔuˈnu ˈʔije: ʃi:ri fa:ˈrunu]（この飯は饐えて食べられない)。ˈウˈヌ　ˈイエー　シーリドゥˈル [ˈʔuˈnu ˈʔije: ʃi:riduˈru]（このご飯は饐えている)。シーˈリミーヌ [ʃi:ˈrimi:nu]（饐えてしまった)。ˈシーリダˈラ　シˈティˈリャ [ˈʃi:ridaˈra ʃiˈtiˈrja]（饐えたら捨てなさい)。ˈシーリダˈラ　ˈウンタン　ファˈーヒャー [ˈʃi:ridaˈra ʔuntan Φaˈ:ça:]（饐えたら豚に食べさせなさい)。

シゥˈタディ [siˈtadi]（名）しょうゆ（醤油)。

「したじ（下地)」の転訛したもの。麦と大豆で作った。シゥˈタデー　ムントゥマーミトゥガギドゥˈ　チゥˈクル [siˈtade: muntu ma:mitugagiduˈ tsiˈkuru]（醤油は麦と豆で作る)、ˈムルン [ˈmuruŋ]（もろみ）を大きな瓶に入れて、ˈバギ [ˈbaˈgi]（発酵）させて、シゥˈタディヌファˈー [siˈtadinuΦaˈ:] を入れて、醤油を汲み取った。シゥˈタディヌファˈー [siˈtadinuΦaˈ:]（トウツルモドキの皮で小さな篭状に編んだもの)。これを瓶に入れ、その中から醤油を汲

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

み取った。液が減ると、水を加えて、二番、三番の醤油を汲みとって使った。

シゥタディヌ　ファー [sïtadinu Φa:]（直径15cm、長さ50cmほどの篭。クーズの皮で作り、モロミの粕が入らないようにしたもの。これを瓶の中に入れ、醤油を汲み出した)。

ジチゥ [ʃitsï]（名）魚名、だつ。

ジバク [ʤibaku]（名）じゅうばこ（重箱)。

ジバクナー　ズー　ムルン [ʤibakuna: dzu: muruŋ]（重箱にお重を盛る、重箱に御馳走を盛る)。

シゥピサ [sïpisa]（名）ねぎ（葱)。ゆり科の多年草。

独特の芳香があり、魚肉や獣肉などのお汁に入れて食した。美味である。

シゥプハン [sïpuhaŋ]（形）しぶい（渋)。

ウレー　シゥプハヌ　ファールヌ [ʔure: sïpuhanu Φa:runu]（これは渋くて食べられない)、ウヌ　バサー　ウマナブリ　スプハダル [ʔunu basa: ʔumanaburi sïpuhadaru]（このバナナは熟さないので渋い)、シゥプハダラ　ファウナ [sïpuhadara Φauna]（渋かったら食べるな)、シゥプハラバン　ファイヤ [sïpuharabaŋ Φaija]（渋くても食べなさい)。

シゥマナー [sïmana:]（名）「島菜」の義。

からしな。

シミムヌ [ʃimimunu]（名）煮もの。

大根や冬瓜（とうがん）などをシミムン [ʃimimuŋ] にした。冬瓜は「灰汁」に漬けて後に炊くと、どろどろと煮くずれしないといわれていた。

ジャコ [ʤako]（名）「雑魚」の転訛したもの。

「にぼし（煮干)」に対してもいう。

シャジ [ʃaʤi]（名）さじ（匙)。

シチュー [ʃitʃu:]（名）魚名。鯛の一種。

シラヤー [ʃiraja:]（名）産室。

子供が生れたら、わらじ（草鞋）一足を竿に結び、屋根にあげた。シラヤーの上には、チゥビナー [tsïbina:]（しめ縄）を張った。そちらには サシゥカ [sasïka]（囲炉裏）を置いて、それに ジンギ [ʤiŋgi] という木を燃やして、母親の腹をワラジで温めていた。竿に結んだ草鞋とは別のワラジを火に温めた

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

のを使った。母親の腹にワラジを当てて温めた。産褥期の悪い血を出すためといわれている。最初の˹カニ［˹kani］（十干の「庚」、かのえ）の日に、˹ミナカミシ［˹minakamiʃi］（誕生後、最初に外出し、庭を見せる儀式）をとり行なう。男の子の場合は、弓矢を作り、先頭は鍬を持って、次ぎに弓矢を持っている人が並び、女の子の場合、˹カブス［˹kabusu］（ゆりわ）˹イービラ［˹ʔiːbira］（杓子）を持った人が並び、その後には子供を抱いた人が続き、その後にはフ˹ダ˺ディル［Φu̥˹ta˺diru］（弁当篭）に、ご飯を入れて二人で担ぐ人が続き、家の前庭を1周まわる儀式を行なった。これを˹ミナカミシと言う。弓矢は家の庇に差し、ガブスもイービラと一緒に差しておいた。カブス［˹kabusu］は、「ゆりわ」のことである。竹富島では˹ウムトゥ˺ダキミシーと言うという。

˹ジン［˹ʤiŋ］（名）お膳。

ピ˹トゥイラ［pi̥˹tuira］（一枚）、フ˹タイ˺ラ［Φu˹tai˺ra］（二枚）のように数える。タ˹カジン［tḁ˹kaʤiŋ］（名）高膳。普通の膳の下に脚が四つあるもの。神饌を供えたり、戸主の食膳として用いられた。ア˹シジン［ʔa˹ʃiʤiŋ］（「脚膳」の義か）ともいう。

˹シンビー［˹ʃimbiː］（名）せんべい（煎餅）。

˹シンビーン イ˹シャキゥンガイ パ˹ラナ˺ダラー ˹ファ˺ールヌ［˹ʃimbiːŋ ʔi˹ʃa kïŋgai p'ḁ˹rḁna˺dara: Φa˺ːrunu］（煎餅も石垣へ行かなかったら食べられない）。

˹スー［˹suː］（名）しる（汁）。

おつゆ。˹スー˺ バガヒ［˹suː˺ bagaçi］（おつゆを炊きなさい）。˹スーヌ˺ マー˹ハ˺ー［˹suːnu˺ maː˹ha˺ː］（おつゆが美味しい）、˹キューヌ ソー˺ マー˹ハ˺ミー˹ヌ［˹kjuːnu soː˺ maː˹ha˺miː˹nu］（今日のおつゆは美味しくない）。キゥ˹ヌ˺ヌ˹スーヤ˺ マーハ˹ダン［kˢï̥˹nu̥˺nu ˹suːja˺ maːha˹daŋ］（昨日のおつゆはおいしかった）、˹スーヌ マーハダ˺ラー ヌムン［˹suːnu maːhada˺raː ˹numuŋ］（おつゆがおいしかったら飲む）。˹スーヌ˺ マーハラ˹バン ヌマルヌ［˹suːnu˺ maːhara˹ban numarunu］（おつゆがおいしくても飲めない）。˹マハダ˺ラー ˹ミシャルムヌ［˹mahada˺raː ˹miʃarumunu］（おいしかったらよいのに）。˹マーハル ソー˺ ピゥトゥ˹クン ミーヌ［˹maːharu soː˺ pi̥tu˹kum miːnu］（おいしいおつなは一つもない）。

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

スーアッカイ [su:ʔakkai]（名）汁用の杓子。

スーツーハン [su:tsï:haŋ]（形）塩からい。

しょっぱい。塩分が強い。スーツーハヌ　ファールヌ [su:tsu:hanu Φa:runu]（塩からくて食べられない）。

スーナビ [su:nabi]（名）汁鍋。

お汁用の鍋。底が浅く、注ぎ口ビー [bi:] が鍋のへり（縁）にある。チゥルドゥーシ [tsïrudu:ʃi]（汁雑炊）を炊くのにも用いる。柄がついている。

スーヌ　アーリー [su:nu ʔa:ri:]（連）おつゆに入れる野菜。

小さく刻んだもの。スーヌ　アーレー　ナーヌパー　ウンツァイ [su:nu ʔa:re: na:nupa: ʔuntsai]（おつゆのアーリーは、菜っ葉、えん菜である）スーヌ　アーレー　ウンツァイ　イリリャ [su:nu ʔa:re: ʔuntsai ʔirirja]（お汁のアーレーとして、えん菜をいれなさい）。

スーヌ　ミー [su:nu mi:]（連）おつゆの実。

イユヌ　ミー [ʔijunu mi:]（お汁の中の魚肉。魚の実）、カマイヌ　ミー [k'amainu mi:]（お汁の中の猪肉、猪の実）、ウンタヌ　ミー [ʔuntanu mi:]（お汁の中の豚肉、豚の実）、バー　スーナ　メー　イシャガハドゥル [ba: su:na me: ʔiʃagahaduru]（私のお汁には、実が少ない）。

スーハン [su:haŋ]（形）すっぱい（酸）。

酢やレモンの味。スーハーミーヌ [su:ha:mi:nu]（すっぱくない）。フナボー　スーハヌ　ファールヌ [funabo: su:hanu Φa:runu]（九年母は酸くて食べられない）。ミンミマー　スーハーダッタルー [mimmima: su:ha:dattaru:]（もう少しすっぱかった）、タダーイ　スーハドゥ　ナル [tada:i su:hadu naru]（だんだんすっぱくなる）、スーハラバン　ミシャドゥル [su:harabam miʃaduru]（すっぱくてもよい）。スーハダラ　ファーヌ [su:hadara Φa:nu]（すっぱかったら食べない）。

スーミン [su:miŋ]（名）そうめん（素麺）。

スバ [suba]（名）そば。

八重山でいう「そば」は、うどん「饂飩」のことをさしている。

スプル [supuru]（名）とうがん（冬瓜）。

うり科の一年草。夏、黄色い花を咲かせる。果実は、直径20～25cmほどの円

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

柱形。表面に１ミリほどの刺状の毛が密生している。これが人の肌にささることもある。魚肉や豚肉などの出汁と煮つめると美味である。

スブルン [su̥pu̅ruŋ]（動）しゃぶる。口の中に含んでなめる。

ヤラビヌ ティー スブリブル [jarabinu tiː su̥puriburu]（子供が手をしゃぶっている）、離乳期になると乾燥したタコ（蛸）の手の皮を除いて、乳児にしゃぶらせる習慣があった。タクヌ ティーバ スブリブル [tʻḁkunu tiːba su̥puriburu]（蛸の手をしゃぶっている）。

ターング [taːŋgu]（名）。「担桶」の義。

水を入れて担う桶。カニターング [kʻḁn̥itaːŋgu]（一斗缶を利用して水運搬用に作った担桶）も戦後になって使われた。

ダイバ [daiba]（名）すりばち（擂鉢）。

マイヌミシュ [mainumiʃu]（米味噌）や豆のおつゆ（汁）を炊くときに、擂鉢に入れてすりつぶすのに用いる。

ダイバスル [daibasuru]（名）すりこぎ（擂粉木）。

ダシゥ [dasi̥]（名）だし（出汁）。

ダシゥ シゥキ マハン [dasï si̥ki mahaŋ]（出汁がきいて美味しい）。ウヌ ソー ダシゥ シゥキ マーハン [ʔunu soː dasï si̥ki maːhaŋ]（このお汁は出汁がきいて、おいしい）。イユダシゥ [ʔijudasï]（魚の出汁）、カハマイダシゥ [kʻḁm̥aidasï]（猪肉の出汁）、ウンターダシゥ [ʔuntaːdasï]（豚肉の出汁）などがある。

タバク [tabaku]（名）たばこ（煙草）。

タバク フキー [tabaku Φu̥kiː]（煙草を吸う。タバク フクナ [tabaku Φu̥kuna]（煙草を吸うな）、タバコー フカンスードゥ マシゥ [tabakoː Φu̥kansuːdu masi̥]（煙草は吸わない方がいい）、タバク フキドゥル [tabaku Φu̥kiduru]（煙草を吸っている）、タバク フク ピゥトゥヌ ウーハ ナリシタ [tabaku Φuku pˢi̥tunu ʔuːha nariʃi̥ta]（煙草を吸う人が多くなった）、ダー フキゥタラ バヌン フクン [daː Φu̥kˢi̥taraː ban uŋ Φukuŋ]（君が吸ったら私も煙草を吸う）。パイシャ フキバ ミシャル ムヌ [paiʃa Φukiba miʃaru munu]（早く吸えばよいのに）。ウッサー フカバン ヌーン サヌ [ʔussaː Φu̥kaban nuːn sanu]（たくさん吸っても

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

どうもしない)。ハイシャー フキャー [haiʃa: Φukja:] (早く吸え)。

タマナー [t'am̥ana:] (名) キャベツ。

アブラナ科の越年草。甘藍(かんらん)。「たまな」の転訛したもの。

タワシ [tawaʃi] (名) たわし (束子)。

フガラをしばって作った。タワシガキ アラウン [tawaʃigagi ʔaraun] (たわしで) 洗う。アーラヌ [ʔa:ranu] (洗わない)、アライシタ [ʔaraiʃi̥ta] (洗った)、クレー アラウナ [ku̥re: ʔarauna] (これは洗うな)、アライドゥル [ʔaraiduru] (洗っている)、アラウ ピゥトー ブラヌ [ʔarau pˢi̥to: buranu] (洗う人はいない)、ダー アライダラー バー キゥスンドゥラ [da: ʔaraidara ba: ki̥sundura] (君が洗ったら私は着るよ)。アラーバン ユグレー ウトゥヌ [ʔara:baɲ jugure: ʔutunu] (洗っても汚れはおちない)。パイシャ アライヤ [paiʃa ʔaraija] (早く洗いなさい)。

チルー [tʃi̥ru:] (名) ざる (笊)。

イモほりに用いる笊。カグ [kagu] (漁業に用いる笊)。バーキー [ba:ki:] (竹の皮で作った笊)。などがある。

チゥー [tsï:] (名) 乳。母乳。

ファーンガ チゥー ヌマヒャー [fa:ŋga tsï: numaça:] (子供に母乳を飲ませなさい)、ウシゥヌ チゥー [ʔusïnu tsï:] (牛の乳、牛乳) はあまり見たことはないという。ピビジャヌ チゥー [pibiʤanu tsï:] (山羊の乳)。これもあまりみたことはないという。

チゥキムヌ [tsï̥kimunu] (名) つけもの (漬けもの)。

ダイクニヌ チゥキムヌ [daikuninu tsï̥kimunu] (大根の漬けもの)。

チゥヌ [t'sï̥n̥u] (名) 魚名。チン。

チゥヌン [tsï̥n̥uŋ] (動) つぐ (注ぐ)。

グシ チゥニー [guʃi t'sï̥n̥i] (酒を注ぐ)、グシ チゥヌナ [guʃi tsï̥n̥una] (酒を注ぐな)、グシ チゥニッタハー [guʃi t'sï̥n̥ittaha:] (酒を注ぎたい)、チゥニドゥル [tsï̥n̥iduru] (注いでいる)、グシ チゥヌ シトゥ ブラヌ [guʃi t'sï̥n̥u ʃi̥tu buranu] (酒を注ぐ人はいない)。ダー チゥニヒーダラ サニヒャン [da: tsï̥n̥içi:dara san̥içaŋ] (君が注いでくれたら嬉しい)、ダー チゥナバン ヌマヌ [da: tsï̥naban numanu] (君が

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

注いでも飲まない)。ハイシャ　チゥニバ　ミシャルムヌ [haiʃa tsï̥n̥iba miʃaru munu] (早く注げばよいのに)。ハイシャ　チゥニャー [haiʃa tsï̥ n̥ja:] (早く注ぎなさい)。

チゥプ [tsï̥pu] (名) つぼ (壺)。小さな壺。

アバチゥプ [ʔabatsï̥pu] (油壺)、ミンチゥプ [mintsï̥pu] (味噌壺、「ミミツボ」の転訛)、マースカミ [ma:sukam̥i] (塩壺) などがある。ミンチゥプナー　ミーシュ　イリルン [mintsï̥puna: mi:ʃu ʔiriruŋ] (味噌壺に味噌を入れる)、マースカミナー　マース　イリリ [ma:suk'am̥ina: ma:su ʔiriri] (塩壺に塩を入れなさい)。

チャー [tʃa:] (名) お茶。

チャー　ヌミャー [tʃa: numja:] (お茶を飲みなさい)。チャー　ッシーシバー　ヌミャー [tʃa: ʃʃi:ʃiba: numja:] (お茶を入れたから飲みなさい)。チャー　ッシー [tʃa: ʃʃi:] (茶を注ぎなさい。茶を入れなさい)。チャー　ッスナ [tʃa: ssuna] (茶を入れるな、茶を注ぐな)。チャー　ッシシタドゥラー [tʃa: ʃʃiʃi̥tadura:] (茶を入れたよ)、チャー　ッス　シトゥン　ブラヌ [tʃa: ssu ʃi̥tum buranu] (茶を入れる人もいない)、チャー　ッシバ　ミシャルムヌ [tʃa: ʃʃiba miʃarumunu] (茶を入れればよいのに)。チャー　ッサバン　ヌマヌドゥラー [tʃa: ssaban numanudura:] (茶を入れても飲まないよ)。ハイシャー　チャー　ッシャー [haiʃa: tʃa: ʃʃa:] (早く茶を入れなさい。注げ)。

チャーツキ [tʃa:tsuki] (名) お茶づけ。

チャーツキ　ジー　ファー [tʃa:tsuki ʃi: Φa:] (お茶づけにして食べよう)。

チャバン [tʃabaŋ] (名) ちゃわん (茶碗)。

チャバンナ　チャー　チゥニー [tʃabanna tʃa: tsï̥n̥iï̥] (茶碗に茶を注ぎなさい)。

チャブン [tʃabuŋ] (名) ぼん (盆)、茶盆。

チュッカー [tʃukka:] (名) きゅうす (急須)。

チュッカナー　チャー　ッシクー [tʃukkana: tʃa: ʃʃiku:] (急須にお茶を入れて来い)、チャー　チゥニー [tʃa: tsï̥ni:] (茶を注げ)。

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

ツキヤキ [tsụkijaki]（名）すきやき（鋤焼）。

キューヤ　ツキヤキシー　ファー [kjuːja tsụkijakiʃiː faː]（今日は、すきやをして食べよう）。

ッサイウス [ssaiʔusu]（名）搗き臼。

「精げ臼」の転訛したもの。

ッスズーシー [ssudzuːʃiː]（名）ぞうすい（雑炊）。

「汁雑炊」の転訛したもの。アックンヌパーヌ　ズーシー [ʔakkunnupaːnu dzuːʃiː]（芋の葉を入れて炊いた雑炊）、フチゥヌパーヌ　ズーシー [fụtsïnupaːnu dzuːʃiː]（よもぎ葉を入れて炊いた雑炊）などがあり、イユズーシー [ʔijudzuːʃiː]（魚の乾燥した肉などを入れた雑炊）も作る。

ッスン [ssuŋ]（動）すする（啜る）。

スーヌ　ッスー　ッシー [suːnu ssuː ʃʃiː]（お汁の汁をすすりなさい）、スー　ッスーナ [suː ssuːna]（お汁は啜るな）、ッソー　ッシゥーッタナー　ヌムン [ssoː ssïːttanaː numuŋ]（お汁は啜りながら飲む）、ッスークトー　カンタン [ssuː kụtoː kantaŋ]（啜ることは簡単だ）、ダー　ッスダラー　ファーン　マビスンダラー [daː ssudaraː Φaːm mabisundaraː]（君が啜ったら子供も真似るよ）。パイシャー　ッシャー [paiʃaː ʃʃaː]（早く啜れ）。

ツヌマル [t'sụṇumaru]（名）魚名。

ッファハン [ffahaŋ]（形）くさい（臭い）。

カザヌ　ッファハン [kadzanu ffahaŋ]（においが臭い）、イユヌ　ッファリ　ヌシゥキラルヌ [ʔijunu ffari nusïkirarunu]（魚が腐って、臭くて、顔が向けられない）、ッファハダラ　シティリャ [ffahadara ʃịtirja]（臭かったら捨てなさい）、ッファハドゥ　ナル [ffahadu naru]（臭くなる）、ッファラバン　ガマン　シャー [ffarabaŋ gamaŋ ʃaː]（臭くても我慢しなさい）、ッファラバン　ニジリャ [ffaraban niʤirja]（臭くても我慢しなさい）ともいう。ッファハダラ　シティリャ [ffahadara ʃịtirja]（臭かったら捨てなさい）。ッファハナリ [ffahanari]（臭くなれ）。

ッファリルン [ffariruŋ]（動）くされる（腐）。

イユヌ　ッファリシタ [ʔijunu ffariʃịta]（魚がくされた）、ミーダ　ッ

NII-Electronic Library Service

ファルヌ [mi:da ffarunu] (まだ腐れない)、ッファリドゥル [ffariduru] (腐れている)、タダーイ ッファリドゥ パル [tada:i ffaridu paru] (だんだん腐っていく)、ッファリル スク ウッスハー アリドゥル [ffariru suku ʔussuha: ʔariduru] (腐れるほどたくさんある)、ッファリダラ ファイナ [ffaridara faina] (腐れたら食べるな)。ッファラバン ファイヤ [ffarabaŋ faija] (臭くても食べなさい)。ムシゥカ ッファリダラ シティリャ [musika ffaridara ʃitirja] (もしも腐れたら捨てなさい)。ッファリリバ シティリャ [ffaririba ʃitirja] (腐れているから捨てなさい) ッファリリ [ffariri] (腐れろ)。

ツプル [tsupuru] (名) ひょうたん (瓢箪)。

ひょうたん (瓢箪) を完熟させたのを二つに切り、中身をくり取って柄杓を作った。

ティンプラ [timpura] (名) てんぷら (天麩羅)。

これも行事の時や、田植えの時などに、サンジチャッキ [sandʒitʃakki] (三時の茶請) として作った。ジュージチャッキ [dʒu:dʒitʃakki] (十時の茶請) にも食した。パンピン [pampiŋ] (てんぷら) ともいう。魚肉のしん、芋のしん、豆や野菜のしん、蛸のしんなどのあるものを、ティンプラといっていた。イユティンプラ [ʔijutimpura] (魚てんぷら)。アックンティンプラ [ʔakkuntimpura] (芋てんぷら)。

トーフー [to:Φu:] (名) とうふ (豆腐)。

大豆を水に漬け、軟らかくして石臼で碾き、その液を煮てにがりを加え、木箱で固めた食品。行事や祭祀のときに、よく作った。ユシドーフ [juʃido:Φu] は、木箱に入れて固める前の豆腐のかたまり。汁と共に食べる。

トーフヌカスー [to:Φunukasu:] (名) おから (雪花菜)。

豆腐を作るときにできる豆のしぼりかす。うのはな。

トーフヌ スー [to:funu su:] (連) とうふのおつゆ (豆腐のお汁)。

アーサヌ スー [ʔa:sanu su:] (あおさのお汁)、イユヌ スー [ʔijunu su:] (魚のお汁)、ウンタヌ スー [ʔuntanu su:] (豚肉のお汁)、カマイヌ スー [k'amainu su:] (猪肉のお汁)。

NII-Electronic Library Service

ドゥ゙ク [du゙ku]（名）どく（毒）。

ブクヌ　ドゥク [fu゙kunu duku]（フグノ毒）、ブクヌ　ドゥクナ　アダ゙リ [fu゙kunu dukuna ʔata゙ri]（フグの毒にあたる）、゙ドゥクー　マ゙ーリ [゙duku: ma゙:ri]（毒がまわる）、゙パブ゙ン　゙ファ゙ーリ　゙ドゥク　マ゙ーリ [゙pabu゙n ゙fa゙:ri ゙duku ma゙:ri]（蛇は咬まれて毒がまわる）、゙グシン　ヌミスギダ゙ラー　゙ドゥクー゙ガイドゥ　゙ナル [゙guʃin numisugida゙ra: ゙duku:゙gaidu ゙naru]（酒も飲みすぎたら毒になる）。

゙ドゥンブリ [゙dumburi]（名）どんぶり（丼）。

゙ナー [゙na:]（名）白菜などの総称。

゙ナーヌパー [゙na:nupa:]（なっぱ、「菜の葉」の義。葉菜類のこと）ともいう。

゙ナナバーキー [゙nanaba:ki:]（名）おおぐい（大食漢）。

「七笊」の義か。゙バガハル　バソー　ナナバーキードゥ゙　ヤッタル [゙bagaharu baso: nanaba:ki:du゙ jattaru]（若かった頃は大食漢であった）。゙ウブバタ [゙ʔububata]（大腹）ともいう。

゙ナビ゙シゥキ [゙nabi゙sïki]（名）なべしき（鍋敷）。

゙ナビラ [゙nabira]（名）へちま（糸瓜）。

うり科の一年生つる植物。果実は円柱状で、未完熟のうちに収穫して食すると美味である。完熟した果実の繊維は、あかすりや鍋洗いに利用した。*nabiaraja:→nabe:rja:→nabe:ra→nabira と変化したものであろう。

゙ナマシゥ [゙namasï]（名）さしみ（刺身）。

゙ナマツキ [゙namatsuki]（名）、おこげ（御焦）。

゙イーヌ゙　ナマツキ [゙ʔi:nu゙ namatsuki]（米飯のおこげ）。

゙ナマムヌ [゙namamunu]（名）なまもの（生もの）。

加工せずに、収穫した時のままの状態にあるもの。゙ナマ゙サリン　゙ファ゙ーリルン [゙nama゙sarin ゙fa゙:riruŋ]（生でも食べられる）。

゙ナルムヌ [゙narumunu]（名）くだもの（果物）。

「なりもの」の義か。゙パンスル [゙pansuru]（グワバ、ばんざくろ）、ブナブヌナル [fu゙nabununaru]（みかん、九年母の実）、゙ム゙ン [゙mu゙ŋ]（山もも）、゙トゥンブ [゙tumbu]（桃、「唐桃」の義か）、゙スイクヮ [゙suikwa]（西瓜）、゙バサヌナル [゙basanunaru]（バナナ、「芭蕉の実」の義）などがある。

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

ナンピ゜シ゛ブル [nampi̥ʃi̥buru]（動）嘗めている。

シ゛タガキ゛ ナンピ゜シ゛ブル [ʃi̥tagagi nampi̥ʃi̥buru]（舌でなめている）、ナンピ゜シ゛ダラ ミットゥ゛ ミーヌ [nampi̥ʃidara mittu mi:nu]（嘗めたらみっとがない）、ナピシ゛ナ [napi̥ʃina]（嘗めるな）、ナンピス゛ ピゥトーブラ゛ヌ [nampisu pï̥to: buranu]（嘗める人はいない）、ダー ナンピシ゛タラ ファー゛ン マー゛ビ スン ドゥ゛ラー [da: nampi̥ʃitara Φa:m ma:bi sun dura:]（君が嘗めたら子供もまねるよ）。ナンピ゜シャー [nampiʃa:]（嘗めなさい）。ナンピシナ [nampiʃina]（嘗めるな）。

ニキ゛ルン [nikiruŋ]（動）召しあがる。

ニク゛ヌ [nikunu]（召しあがらない）、ニキ゛ワーリ゛ル [nikiwa:riru]（召しあがっている）、ニキ゛ワンナ [nikiwanna]（召しあがるな）、ニキ゛ル ピゥトゥヌ オーラヌ [nikiru pˢï̥tunu ʔo:ranu]（召し上がる人がいない）、アブ゛チヌ ニ゛キダラ アッパン ニ゛キワー゛ルン [ʔabutʃinu nikidara ʔappan nikiwa:ruŋ]（おじいさんが召しあがったらおばあさんも召しあがる）。アブ゛チェー ニ゛キワー゛リバ ミシャル゛ムヌ [ʔabutʃe: nikiwa:riba miʃaru munu]（おじいさんは召しあがればよいのに）。イカスク ヌ゛クバン ピ゛ナ゛ラヌ [ʔikasu̥ku nukubam pʻi̥n̥aranu]（いくら召しあがってもへらない）。ハイ゛シャ ニ゛キワー゛リャ [haiʃa nikiwa:rja]（早く召しあがれ）。

ニバル [nibaru]（名）魚名。ミーバイ。

ニンガイター [niŋgaita:]（名）。

田植えをするまえに、その当日、グシ゛パナ [guʃi̥pana]（酒と初米の供物）を供えて祈願する田圃がある。多くの田には、それはない。大底家の場合、シゥタダル [sï̥tadaru] という田圃に、田の畔に石があって、そこで祈願していた。ヤマユシゥキ イバ゛ンダギ ム゛トゥリ [jamajusï̥ki ʔibandagi muturi]（山ススキ、チカラ草のように生えて下さい）と願う。タニドゥル [taniduru]（種取の歌）にもある。

ヌドゥカーキー [nuduka:ki:]（名）のどがかわくこと（喉渇き）。

ヌドゥカーキー゛ シーシタ [nuduka:ki: ʃi:ʃi̥ta]（喉が渇いた）、ヌドゥカーキー゛ シー [nuduka:ki: ʃi:]（喉が渇く）、ナ゛ツォー ユー ヌドゥカーキー゛ スン [natso: ju: nuduka:ki: suŋ]（夏は、よく喉が渇く）。

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

ヌムン [numuŋ]（動）のむ（飲む）。

ミズー ヌムン [midzu: numuŋ]（水を飲む）、ヌマヌ [numanu]（飲まない）、ヌミシタ [numiʃita]（飲んだ）、ヌミッタハー [numittaha:]（飲みたい）、ヌミドゥル [numiduru]（飲んでいる）、ヌム ピゥトー ブラヌ [numu pïto: buranu]（飲む人はいない）、ダー ヌンダラ バヌン ヌムン [da: nundara banun numuŋ]（君が飲んだら私も飲む）、イカスク ヌマバン ヌドゥカーキードゥ スー [ʔikasuku numaban nuduka: ki:du su:]（いくら飲んでも喉が渇く）。ウッスハー ヌミバ ミシャル ムヌ [ʔussuha: numiba miʃaru munu]（たくさん飲めばよいのに）。ハイシャ ヌミャー [haiʃa numja:]（早く飲め）。

ハナフー [hanafu:]（名）はなふ（花麩）。

法事のときに、「はなふ」を丸く切り、色を付けて「かまぼこ（蒲鉾）」のように作って供えた。色は青と赤を丸く、交互につけた。

ハンマイフイバ [hammaiΦuiba]（名）。茅製の米櫃。

茅を乾燥させて編み、蓋付きの壷形に編みあげた玄米保管用の米櫃。蓋のないのは、フイバ [Φuiba] という。

パイル [pairu]（名）す（酢）。

パイル マラヒ [pairu maraçi]（酢を生ませる。酢を造ること）。イモ（芋）を炊いて、その汁を発酵させて造った。酒を自家醸造するようになって、蒸留した残りを酢に造ったりしていた。

パクン [pakuŋ]（動）はく（吐く）。

ムドゥヒー [muduçi:]（もどす）ともいう。胃の中のものを出す。チゥンチゥ パキ [tsïntsï p'aki]（唾を吐く）、チゥンチゥ パクナ [tsïntsï p'akuna]（唾を吐くな）、パキブル [p'akiburu]（吐いている）、パキミルン [pakimiruŋ]（吐いてみる）、パク ピゥトー ブラヌ [p'aku psïto: buranu]（吐く人はいない）、ダー チゥンチゥ パキダラー ファーン パクンドゥラ [da: tsïntsï p'akidara: Φa:m p'akundura]（君が唾を吐いたら子供も吐くよ）。チゥンチゥ パキッタハローナ [tsïntsï p'akittaharo:na]（唾を吐きたいなぁ）。パイシャ パキャー [paiʃa p'akja:]（早く吐け）。パカバン [p'akabaŋ]（吐いても）。ムヌパキー [munupaki:]

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

（もどすこと、吐くこと）。

パシゥ [pasï]（名）はし（箸）。

箸は２本で、ピゥトゥムトゥ [pˢïtumutu]（一組）という。フタムトゥ [futamutu]（二組）、ミームトゥ [mi:mutu]（三組）、ユームトゥ [ju:mutu]（四組）のように数える。

パチ [patʃi]（名）鉢。

皿の大きくて、底のやや深いもの。ハナパチゥ [hanapatsï]（花をさす鉢）。

パㇵナ [p'aŋa]（名）こうじ（麹）。黄色麹。

パㇵナ ムーヒー [p'aŋa mu:çi]（麹をたてる）。マイヌ パナ [mainu p'aŋa]（米の麹）。キンパナ [kïmp'aŋa]（黄色い麹）で味噌を造る。フーパナ [fu:p'aŋa]（黒麹）が生えても、味噌を造ったが味がまずく、不良品となった。マハーミヌ [maha:minu]（おいしくない）味噌となった。フーパナはなかなか生えなかったという。

パモル [p'aṃoru]（名）はまぐり（蛤）。

パライチャ [p'aṛaitʃa]（名）魚名。さより。

パラミ [p'aṛami]（名）にんしん（妊娠）。

パラミブル [p'aṛamiburu]（妊娠している）。ムチドゥル [mutʃiduru]（妊娠している。「持っている」の義か）ともいう。パラマヌ [p'aṛamanu]（妊娠しない）、ムツァヌ [mutsanu]（妊娠しない）、パラミル ピゥトゥヌ ウーハル [p'aṛamiru pˢïtunu ʔu:haru]（妊娠している人が多い）、アヌ ピゥトゥヌ パラミダラー クヌ ピゥトゥン パラミルン [ʔanu pˢïtu nu p'aṛamidara: k'uŋu pˢïtum p'aṛamiruŋ]（あの人が妊娠したら、この人も妊娠する）。パイシャ パラミダラ ミシャル ムヌ [paiʃa p'aṛamidara miʃaru munu]（早く妊娠したらよいのに）。＊動物には、ムチドゥルとは言わない。人間の場合にいう。

パンガマ [paŋgama]（名）羽釜。ご飯鍋。

パンガマガキ イー バカヒ [paŋgamagagi ʔi: bagaçi]（羽釜でご飯を炊く）。

パンピン [pampiŋ]（名）てんぷら。

「はんぺん（半平）」の義か。「はんぺん」の転訛したもの。パニパンピン

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

[ˉpaniˉpampiŋ]（「羽半平」の義か。広い葉のようにひろがったもの)。しんのないものをいう。

ˉバガˉシゥ [ˉbagaˉsï̥]（名）小さな酒瓶のこと。

ˉグンゴバガシゥ [ˉguŋgobagasï]（五合入り酒瓶)、ˉイッシュバガシゥ [ˉʔiʃʃu bagasï]（一升入りの酒瓶）などがある。豊年祭に使っているのは、ˉグンゴバガシゥ [ˉguŋgobagasï] である。

ˉバガˉヒˉスグヒ [ˉbagaˉçiˉsuguçi]（名）にすぎ（煮過ぎ)。

ˉバˉガフン [ˉbaˉgaΦuŋ]（動）煮る、炊く。

ˉダイクニ　バˉガヒ [ˉdaikuni baˉgaçi̥]（大根を煮る)、ダイクˉネー　バˉガスナ [daikuˉne: baˉgasuna]（大根は煮るな)、ˉバガˉシゥタˉハー [ˉbagaˉsï̥taˉha:]（煮たい)、ˉバガˉフ　シトゥ　ˉブラˉヌ [ˉbagaˉΦu̥ ʃi̥tu ˉburaˉnu]（煮る人がいない)、ˉバガˉフバン　ˉファˉーヌ [ˉbagaˉΦuban ˉfaˉ:nu]（煮ても食べない)、ハイˉシャ　バガˉヒャー [haiˉʃa bagaˉça:]（早く煮なさい)、ˉバー　バˉガフン [ˉba: baˉgaΦuŋ]（私が煮ます。私が炊きます)。ˉウマナーˉ　バカスˉナ [ʔumana:ˉ bakasu̥ˉna]（ここでは炊くな)。ハイˉシャーˉ　バカˉヒバ　ミシャˉル　ムヌ [haiˉʃa:ˉ bakaˉçiba miʃaˉru munu]（早く炊けばよいのに)。ˉダˉー　バカハˉバン　ファˉーヌ [ˉdaˉ: bakahaˉban Φaˉ:nu]（君が炊いても食べない)。

ˉバグˉピゥトゥ [ˉbaguˉpˢï̥tu]（名）協同作業の人夫。

家造りや畑作業などで多くの人を頼んで働かせるときの作業人夫。

ˉバタミチ [ˉbatamitʃi]（名）まんぷく（満腹)。

ˉバタ　ミチˉシタ [ˉbata mitʃiˉʃi̥ta]（満腹した)、イーˉバ　ウッスハーˉ　ファイ　ˉバタミチˉシタ [ʔi:ˉba ʔussuha:ˉ Φai ˉbatamitʃiˉʃi̥ta]（ご飯をたくさん食べて満腹した。腹が満ちた)。

ˉバッˉツァフン [ˉbatˉtsaΦuŋ]（動）さばく、解体する。

ˉイˉユ　ˉバッˉツァヒ [ˉʔiˉju ˉbatˉtsaçi]（魚をさばく)、ˉイˉユ　ˉバッˉツァウナ [ˉʔiˉju ˉbatˉtsauna]（魚を捌くな)、ˉバー　ˉバッˉツァフン [ˉba: ˉbatˉtsaΦuŋ]（私がさばく)、ˉミヌマ　バッˉツァヒドゥ　ブル [ˉminuma batˉtsaçidu buru]（今さばいている)、ˉバッˉツァイˉミッタハー [ˉbatˉtsaiˉmittaha:]（捌いてみたい)、ˉダˉー　ˉバッˉツァシˉダˉラー　ˉバー　バガフンドゥˉラー [ˉdaˉ: ˉbatˉtsaʃiˉtaˉra: ˉba: baˉgaΦunduˉra:]（君がさばいたら私は炊くよ)。ˉバッˉツァハバン

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

⌈ジョーツニ　バッ⌉ツァハルヌ [⌈bat⌉tsahaban ⌈ʤo:tsuni bat⌉tsaharunu] (捌いても上手に捌けない)。パイ⌈シャー　バッ⌉ツァヒャー [pai⌈ʃa: bat⌉tsaça:] (早く捌け)。

⌈ピャーク [⌈pja:ku] (名) 新生児の額に鍋墨をつけたもの。

古見では、「名前をつけた印」といわれている。子供が生れると、あの世の人が、「自分が名前をつける」と言って騒ぐという。それでこの世の人が「名前をつけた印」をつけておくと、あの世の人は、アガ⌈ヤー⌉　メー　⌈ナー　チゥキラリミーヌ⌉バン [ʔaga⌈ja:⌉ me: ⌈na: tsï̥kirarimi:nu⌉baŋ] (ああ、もう命名されてしまった) といって、諦めてあの世へ帰るといわれているという。(新本ウナレー氏談)。

⌈ビールン [⌈bi:ruŋ] (動) 酔う。

⌈ビー⌉シタ [⌈bi:⌉ʃi̥ta] (酔った)、サ⌈キ⌉　ヌ⌈ミー　ビードゥ⌉ル [sḁ⌈ki⌉ nu⌈mi: bi:du⌉ru] (酒を飲んで酔っている)、⌈ビータリ [⌈bi:tari] (ぐでんぐでんに酔う)、⌈イカスク　ヌマ⌉バン　ビュー⌈ヌ [⌈ʔikasuku numa⌉bam bju:⌈nu] (いくら飲んでも酔わない)、サ⌈キ⌉　ヌ⌈ミ　ビー⌉ミタハ [sḁ⌈ki⌉ nu⌈mi bi:⌉mitaha] (酒を飲んで酔ってみたい)、⌈ダー　ビジ⌈ダ⌉ラ　⌈バヌン　ビールン [⌈da: biʤi⌈da⌉ra ⌈banum bi:ruŋ] (君が酔ったら私も酔う)、パイ⌈シャ⌉　ビー⌈リャ [pai⌈ʃa⌉ bi:⌈rja] (早く酔え)。ビー⌈ル⌉　ピゥトー　タ⌈ル⌉ン　⌈ブラ⌉ヌ [bi:⌈ru⌉ pˢï̥to: ta⌈ru⌉m ⌈bura⌉nu] (酔う人は誰もいない)。パイ⌈シャ⌉　ビー⌈リバ⌉　ミ⌈シャ⌉ル　ムヌ [pai⌈ʃa⌉ bi:⌈riba⌉ mi⌈ʃa⌉ru munu] (早く酔えばよいのに)。ビュー⌈バン⌉　ク⌈ル⌉バヌ [bju:⌈baŋ⌉ ku̥⌈ru⌉banu] (酔っても転ばない)。

ピ⌈キ⌉ウス [pi̥⌈ki⌉ʔusu] (名) ひき臼 (碾き臼)。

⌈トゥ⌉チゥ [⌈tu⌉tsï̥] (碾き臼の上段。「妻」の義か)。⌈マラ [⌈mara] (碾き臼の下段。魔羅。「陰茎」の義か)。

ピクン [pikuŋ] (動) ひく (挽く、碾く)。

⌈マ⌉イ　ピ⌈キ [⌈ma⌉i pi̥⌈ki] (籾を木臼ですって玄米にする)、⌈マイ⌉ヌ　⌈クー⌉　ピ⌈キ [⌈mai⌉nu ⌈ku:⌉ pi̥⌈ki] (米の粉を碾け)。

ピ⌈サムヌ [pi̥⌈samunu] (名) ひるめし (昼食)。

ピ⌈サムヌ⌉　マ⌈カヒー [pi̥⌈samunu⌉ ma⌈kaçi:] (昼食を炊きなさい)、ミー⌈ダ　マカハヌ [mi:⌈da makahanu] (まだ炊かない)、⌈マカ⌉ヒー [⌈maka⌉çi:] (ご

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

飯を炊きなさい)。

ピジグヮーシゥ [pi̥ʃigwa:sï] (名) らくがん (落雁)。

木製の菓子型に材料を入れて固めて作る菓子。ユヌククヮーシゥ [junuku kwa:sï̥] ともいった。

ピジング [pi̥ʃiŋgu] (名) 菓子造りに用いる木製の型。

いろいろな形の型を彫りこんだもの。これに菓子の材料を入れ、押し固めて整形し、押し出して菓子にする。

ピゥタル [pˢï̥taru] (名) ひしゃく (柄杓)。

ピゥタルガギー ミズ クム [pˢï̥tarugagi: midzu kʻu̥m̥u] (柄杓で水を汲む)。昔は孟宗竹の一節分を切って、それに柄をつけて柄杓を作ったが、戦後は、缶詰の空き缶を利用して作った。ピーラ [pi:ra] (ゆうがお、ひょうたん) で作ったピゥタルはバンドゥガミ [bandugami] のような広口の瓶に利用した。

ピチゥキー [pi̥tsï̥ki:] (名) ごけ (焦)。

ご飯の焦げついたもの。おこげ。イー ピチゥキシタ [ʔi: pi̥tsï̥ki:ʃita] (ご飯が焦げついた)、ピチゥカスナ [pi̥tsï̥kasuna] (焦がすな)、ピチゥキミーヌ [pi̥tsï̥kimi:nu] (焦げてしまった)、ピチゥカハヌ [pi̥tsï̥kahanu] (焦がさない)、イー ピチゥカフ シトゥ [ʔi: pi̥tsï̥kaΦu ʃi̥tu] (ご飯を焦がす人)、イー ピチゥカシタラ ファールヌ [ʔi: pi̥tsï̥kaʃi̥tara fa:runu] (ご飯を焦がしたら食べられない)。ピチゥカハバン アァウン [pi̥tsï̥kahabaŋ Φauŋ] (焦がしても食べる)。パイシャー ピチゥカヒャー [paiʃa: pi̥tsï̥kaça:] (早く焦がしなさい)。

ビッチャー [bittʃa:] (名) よっぱらい (酔漢)。

ビッチャーヌドゥ アルギル [bittʃa:nudu ʔarugiru] (よっぱらいが歩いている)。

ビュルサー [bjurusa:] (名) 植物名。くわずいも。

葉は濃緑色で手のひら形をなし、直径30～60cmになる。長い茎があり、その汁にふれると赤くはれ、かゆく、痛みを伴なう。子供は雨傘代用にして遊んだ。ビュルサー マチガイ ファイ ヌドゥヌ ビューハヌ [bjurusa: matʃigai Φai nudunu bju:hanu] (くわずいもを誤って食べて、のどがえぐい)。

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

ビントー [binto:] (名) べんとう (弁当)。

新しく借用された語。ビントー　ムチパルン [binto: mutʃiparuŋ] (弁当を持参する、もっていく)。

ファイヤニヒャー [Φaijaniça:] (形) いじきたない (意地汚い)。

ウヌ　ヤラベー　ファイヤニヒャー [ʔunu jarabe: Φaijaniça:] (この子はいじきたない)。

ファウムヌ [faumunu] (名) たべもの (食物)。

「喰うもの」の義。**ファ**ウムヌンガ　イシャガハン [faumunuŋga ʔiʃagahaŋ] (食べるものが少ない)。

ファウン [fauŋ] (動)、食う。たべる。

ファーヌ [fa:nu] (食べない)、**ファ**イシタ [faiʃita] (食べた)、**ファ**イミルン [faimiruŋ] (食べてみる)、**ファ**イブルン [faiburuŋ] (食べている)、**ファ**イッタハン [faittahaŋ] (食べたい)、**ファ**ウ　ムヌ [fau munu] (食べるもの)、**ファ**ウ　ムヌ　ミーヌ [fau munu mi:nu] (食べるのがない)、ダー　**ファ**イダラ　バヌン　**ファ**ウン [da: faidara banun fauŋ] (君が食べたら私も食べる)、パイシャ　**ファ**イダラ　ミシャル　ムヌ [paiʃa faidara miʃaru munu] (早く食べたらよいのに)。イカスク　**ファ**ーバン　タラヌ [ʔikasuku fa:ban t'aranu] (いくらたべても足りない)。パイシャ　**ファ**イヤ [paiʃa faija] (早く食べなさい)。

フー [fu:] (名) ふ (麩)。

これも最近になって輸入されるようになった。おつゆに入れてたべる麩は、見たことがなかった。

フシュル [fuʃuru] (名) くすり (薬)。

フシュル　ヌミャー [fuʃuru numja:] (薬を飲みなさい)、**フ**チゥヌパーパナシゥキヌ　**フ**シュル [futsïnupa: p'anasïkinu fuʃuru] (よもぎは風邪の薬だ)。

フムン [fumuŋ] (動) くむ (汲む)。

ミズ　**フ**ミ [midzu fumi] (水を汲む)、ミズ　**フム**ナ [midzu fumuna] (水を汲むな)、カーカラ　ミズ　**フ**ミシタ [ka:kara midzu fumiʃita] (井戸から水を汲んだ)、ミズ　**フ**ミロ [midzu fumiro] (水を汲んでいる)、

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

キゥノー ウマナー ミズ フミブタル [kˢi̥no: ʔumana: midzu fu̥mi̥b utaru]（昨日、そこで水を汲んでいた）、フム シトゥ ブラヌ [fumu ʃi̥t u buranu]（汲む人がいない）、フミッタハダルー [fu̥mi̥ttahadaru:]（汲みたい）。フミバ ミシャルムヌ [fu̥mi̥ba miʃaru munu]（汲めばよいのに）。ダー ミズ フンダラー バヌン フムン [da: midzu fundara: banun fu̥mu̥ŋ]（君が水を汲んだら私も汲む）。パイシャー フミャー [p aiʃa: fu̥mja:]（早く汲みなさい）。

プーツァー [pu:tsa:]（名）ほうちょう（庖丁）。

シングマー [ʃiŋguma:]（細い庖丁）ともいう。プーツァーガギ ヤサイ キスン [pu:tsa:gagi jasai ki̥suŋ]（庖丁で野菜を切る）。

ブートゥ [bu:tu]（名）貝の名。殻の厚いもの。

フカフン [Φu̥kaΦuŋ]（動）わかす（沸かす）。

ユー フカヒー [ju: Φu̥kaçi:]（湯を沸かす）、ユー フカスナ [ju: Φ u̥kasu̥na]（湯を沸かすな）、ユー フカヒブルン [ju: Φu̥kaçiburuŋ]（湯を沸かしている）、ユー フカヒミラ [ju: Φu̥kaçimira]（湯を沸かしてみよう）、ユー フカフ ピゥトゥン ブラヌ [ju: Φu̥kaΦu pˢi̥tum bura nu]（湯を沸かす人もいない）、フカシダラー [Φu̥kaʃi̥tara:]（沸かしたら）、フカハバン [Φu̥kahaban]（沸かしても）、ユー フカヒャー [ju: Φu̥kaça :]（湯を沸かせ）。

フキクブリー [Φu̥kikuburi:]（名）ふきこぼれ（吹零）。

ご飯を炊くときに、沸騰した水が吹きあがって、鍋よりこぼれだすこと。煮えたって蒸気が水分と共に沸きあがること。イー フカヒシティ ミーヌ [ʔi: Φu̥kaçiʃi̥ti mi:nu]（ご飯をふきこぼれさせてしまった）。

フキン [Φu̥kiŋ]（名）ふきん（布巾）。

台所の碗などの食器類を洗って、拭くのに用いる布。小型の布きれ。多くの場合、木綿の白地を利用した。

フクラフン [Φu̥kuraΦuŋ]（動）水に漬けてふやかす（潤）。

ミズナ チゥキー フクラヒー [midzuna tsi̥ki: Φu̥kuraçi:]（水に漬けてふやかす）、マーミ フクラヒー [ma:mi Φu̥kuraçi:]（豆をふやかす）、ムチゥマイ フクラヒー ピキャー [mutsi̥mai Φukuraçi: pi̥kja:]

NII-Electronic Library Service

(糯米をふやかして、石臼で碾きなさい)。

ボラ [bora] (名) 魚名、ぼらの小さいもの。

これが成長したのをチゥクラ [tsïkura] (ボラの成魚) という。

マース [ma:su] (名) しお (塩)。

終戦後一時期、塩を造ったこともある (自家用)。マース タキ [ma:su taki] (塩をたけ)、マースー スーンガイ イリリャ [ma:su su:ŋgai ʔirirja] (塩を汁に入れなさい)、マースガキ ダイクン チゥキリャ [ma:sugagi daikun tsïkirja] (塩で大根を漬けなさい)。

マイ [mai] (名) 米。

「マイ (米)」の義。マイ アライ [mai ʔarai] (米をとぐ、「米を洗う」の義より転訛したもの)。

マイヌイー [mainuʔi:] (名) 米飯。

マイヌ エー マハダン [mainu ʔe: mahadaŋ] (米のご飯はおいしかった)。イエー [ʔie:] (飯は) ともいう。

マイヌクー [mainuku:] (名) こめのこ (米の粉)。

精白した米を水につけてふやかし、水切りして後、臼に入れを杵で搗き、粉にしたもの。餅を作る際に利用した。

マイヌ ミーシュ [mainu mi:ʃu] (連) 米味噌、「米の味噌」の義。

昔は米味噌を茶請にして食した。ムカシゥヌ アブチ アッパダー マイヌ ミーシュドゥ チャーウキーディ ウヌスク ニキダル [mukasïnu ʔabutʃi ʔappada: mainu mi:ʃudu tʃa:ʔuki:di ʔunusuku nikidaru] (昔のおじいさん、おばあさん達は米の味噌を茶請といって、あんなに召しあがられたよ)。

マカル [makaru] (名) わん (椀)、飯碗。

イーマカル [ʔi:makaru] (飯わん、飯碗)、スーマカル [su:makaru] (汁わん、汁碗)、シュンカンマカル [ʃuŋkammakaru] (笋羹焼の碗、筍の料理を盛ったもの『八重山語彙』という)。シームヌバン [ʃi:munubaŋ] (吸い物椀)。

マナッツァ [manattsa] (名) まないた (俎)。

マナッツァヌ ウイナドゥ イユ バツァウ [manattsanu ʔuinadu ʔiju

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

batsau]（俎の上で魚をさばく。解体する）。

マ˥ハル˥ムヌ [ma˥haru˥munu]（名）ごちそう（御馳走）。

「うまかるもの」（おいしいもの）の転訛したもの。˥キューヤ　ウッスハ˥ダラ　˥マハル˥ムヌ　˥タブラリ˥シタ [˥kju:ja ʔussuha˥dara ˥maharu˥munu ˥taburari˥ʃi̥ta]（今日はたくさんご馳走をいただいた）。

マ˥ハン [ma˥haŋ]（形）うまい（美味）。

マ˥ハ˥ミー˥ヌ [ma˥ha˥mi:˥nu]（うまくない）、˥マハダン [˥mahadaŋ]（うまかった）、˥ウ˥ヌ　˥イヨ˥ー　マ˥ハン [˥ʔu˥nu ˥ʔijo˥: ma˥haŋ]（この魚はうまい、美味である）、マ˥ハダ˥ラ　˥ファ˥ウン [ma˥hada˥ra ˥Φa˥uŋ]（おいしかったら食べる）、˥サッタサッタ　マハナリ˥シタ [˥satta satta mahanari˥ʃi̥ta]（だんだんおいしくなった）、˥マハラバン　ファ˥ーヌ [˥maharabaŋ Φa˥:nu]（おいしくても食べない）。マ˥ハダ˥ラ　ミ˥シャル˥　ムヌ [ma˥hada˥ra mi˥ʃaru˥ munu]（おいしかったらよいのに）。˥ホ˥ーン [˥ho˥:ŋ]（食う）ともいう。

˥マンガナ [˥maŋgana]（名）おろしがね。

˥マンガナガギ˥　ダイ˥クン˥　ウルヒ [˥maŋganagagi˥ dai˥kuŋ˥ ʔuruçi]（おろしがねで大根をおろす）。

マン˥ジュークヮ˥ーシゥ [man˥ʤu:kwa˥:sɨ̥]（名）まんじゅう（饅頭）。

「饅頭菓子」の転訛。マン˥ジュークヮ˥ーシゥ　˥カ˥イ　˥クー [man˥ʤu:kwa˥:sɨ̥ ˥ka˥i ˥ku:]（まんじゅうをかってきなさい）。

˥ミークバラー [˥mi:kubara:]（名）おめざめ（お目覚め）、おめざ。

子供が朝起きてすぐ目覚ましに食べるもの。主に前夜の夕飯の残りを温めて与えた。

˥ミーシュ [˥mi:ʃu]（名）みそ（味噌）。

最初に麦を炊き、こうじを作って、その後に豆を炊いて、それに混ぜて作った。米味噌は米を蒸してコウジ（麹）に作り、次ぎに鍋に炊いたご飯を混ぜて甕に入れて作った。˥マ˥イヌ　˥ミーシゥ [˥ma˥inu ˥mi:ʃu]（米の味噌）という。˥ムカッサ　マ˥イヌ　˥ミーシゥ　チャーウキ˥ディ　ム˥カッシゥヌ　アッパー　アプジ˥ナー　˥ニ˥キダル [mu˥kassa ma˥inu ˥mi:ʃu tʃa:ʔuki˥di mu˥kassɨ̥n̥u ʔappa: ʔapuʤi˥na: ˥ni˥kidaru]（昔は、米の味噌を茶請といって、昔のおじいさん、おばあさんたちは召し上がられた）。˥ニ˥キダル [˥ni˥kidaru]（召しあ

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

がった)。

ミーリンチュ [mi:rintʃu] (名)。

米を蒸して、それだけで麹を作り、それに米飯を混ぜて造った。甘くて美味しい。

ミズ [midzu] (名) みず (水)。

ミズナ チキー [midzuna tʃiki:] (水に漬ける)。

ミス [misu] (名) みき (神酒、御酒)。

昔は歯のきれいな人が噛んで作っていた。戦後 (昭和25・6年頃) まで噛んで作っていた。水に漬けた米を石臼で碾き、それに噛んで吐き出したものを入れ、ご飯を炊いたものを混ぜて絞り、発酵させて作った。一つのお宮 (拝所) につき、六升ほど作った。昔のじいさん達は、この神酒をよく飲んだ。そして、「どこどこのお宮のミスがおいしかった」などと評していた。

ミッチャ [mittʃa] (形) まずい (不味)。

ウレー ミッチャヌ ファールヌ [ʔure: mittʃanu Φa:runu] (これはまずくて食べられない)、ミッチャミヌ [mittʃaminu] (まずくない)、ウレー ドゥグ ミッチャミヌ [ʔure: dugu mittʃaminu] (これは、そんなにまずくはない)、タダーイ ミッチャドゥ ナル [tada:i mittʃadu naru] (だんだんまずくなる)、ミッチャダラ ファーヌ [mittʃadara Φa:nu] (まずかったら食べない)、ミッチャラバン ファイヤ [mittʃaraban Φaija] (まずくてもたべなさい)。ミッチャダラー ファーナッシャン [mittʃadara: Φa:naʃʃaŋ] (まずかったから食べなかった)。

ミリンチュ [mirintʃu] (名)。ミーリンチュと同じ。

ミンナビ [minnabi] (名) 汁鍋など。

柄がついており、鍋の縁に注ぎ口がついている。「油鍋」として用いる。ウブナビー [ʔubunabi:] (大きな鍋、シンミーナビー [ʃimmi:nabi:] 《四枚鍋》のこと)。チゥルドゥシナビー [tsïrudusinabi:] (中程度の鍋)、ナビヌフタ [nabinuΦuta] (鍋の蓋。藁製の円錐形の鍋ぶた。シンミーナビーの鍋ぶた)。

ムチゥ [mutsï] (名) 魚名。のこぎりだい。

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

ムチゥ [mutsï]（名）もち（餅）。

餅には、ダングムチゥ [daŋgumutsï]（丸い餅、「団子餅」の転訛したもの）と、ムディムチゥ [mudimutsï]（長く棒状の餅、「捻り餅」の転訛）がある。ムディムチゥ [mudimutsï] は十五夜に作る。豊年祭にはカサヌパームチゥ [kasanupa:mutsï]（芭蕉の葉で包んだ餅、「柏の葉餅」の転訛したもの）を作る。フカンギ [fukaŋgi]（十五夜の餅、どろどろした餅、お碗に入れた餅）、アンムチゥ [ʔammutsï]（餡餅）などがある。アカムチゥ [ʔakamutsï]（赤餅。祝儀用に赤く着色させたもち）。

ムチゥマイ [mutsïmai]（名）もち米（糯米）。

ムチゥマイガギ　ムチゥ　ツクルン [mutsïmaigagi mutsï ts'ukuruŋ]（糯米で餅を作る）。

ムリゥイー [murïʔi:]（名）にぎりめし（握飯）。

イバチゥ [ʔibatsï]（名）種取祭に作って供える円錐形の握飯。床の間の神前や、仏壇にも供え、重箱に詰めて親戚の家にも配った。

ムルン [muruŋ]（名）もろみ。

酒の醸造で発酵がすんで、まだ蒸留していない状態の、どろどろしたもの。酒糟の混在したもの。泡盛酒を造るときは、大きな甕に入れて発酵させた。シゥタディ [sïtadi]（醤油）も同様にしてもろみを作った。発酵することをバギ [bagi]（「湧き」の義か。発酵すること）という。シゥタディヌ　パー [sïtadinu pa:]（クージゥの皮で編んだものを、もろみ甕にさしこんだもの）。

ムン [muŋ]（名）むぎ（麦）。

ムンヌイー [munnuʔi:]（麦飯、米に麦を混ぜて炊いた飯）、戦後一時期麦飯が炊かれた。

ムンヌクー [munnuku:]（名）むぎ粉。小麦粉。

自家製の麦粉。商店から購入してくるものは、ミリキンクー [mirikiŋku:]（メリケン粉。「米国製の小麦粉」の義）といった。

ヤーハ [ja:ha]（名）くうふく（空腹）。

キゥヌカラ　ヌーン　ファーナブリ　ヤーハヌ [ksïnukara nu:ŋ Φa:naburi ja:hanu]（昨日から何も食べないので、ひもじい）、ヤーハヌ　ナラヌ [ja:hanu naranu]（ひもじくて耐えられない）、タダーイ　ヤーハドゥ　ナ

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

ル [taˈdaːi ja:hadu naru] (だんだんひもじくなる)、ヤーハダン [ja:hadaŋ] (ひもじかった)、ヤラビヌ ヤーハディ ナキブルン [jarabinu ja:hadi nakiburuŋ] (子供がひもじいといって泣いている)。ヤーハカーキシシヌン [ja:haka:kiʃi ʃinuŋ] (ひもじさに飢えて死ぬ)。

ヤクン [jakuŋ] (動) 焼く。揚げる (テンプラ)。

パンビン ヤクン [pambiɲ jakuŋ] (テンプラを焼く、「テンプラを揚げる」の意)、パンビン ヤクナ [pambiɲ jakuna] (テンプラを揚げるな)、ヤキブル [jakiburuŋ] (揚げている)、ヤキシティ パリャー [jakiʃiti parja:] (揚げてから行け)、ダー パンビン ヤキダラ バー ファウン [da: pambiɲ jakidara ba: fauŋ] (君がテンプラを揚げたら私が食べる)、イカスク パンビン ヤカバン タラヌ [ʔikasuku pambiɲ jakaban taranu] (いくらテンプラを揚げてもたりない)。パイシャ パンビン ヤキャー [paiʃa pambiɲ jakja:] (早くテンプラを揚げよ)。イユ ヤキシタ [ʔiju jakiʃita] (魚を焼いた)。イヨー ヤクナ [ʔijo: jakuna] (魚は焼くな)。ダー ヤキゥタラー バヌン ヤクン [da: jakˢitara: banuɲ jakuŋ] (君が焼いたら私も焼く)。

ヤックン [jakkuŋ] (名) やかん (薬罐)。

ヤックンガギ ユー フカヒ [jakkuŋgagi ju: Φukaçi] (やかんで湯を沸かせなさい)。

ユー [ju:] (名) 湯。

ユー ヌムン [ju: numuŋ] (お湯を飲む)、ユー サマヒ [ju: samaçi] (湯をさます)。

ユーブン [ju:buŋ] (名) ばんめし (晩飯)。

ユーブン マカヒー [ju:bum makaçi:] (晩飯を炊きなさい)、ユーブン マカフ ジュンビ [ju:bum makaΦu ʤumbi] (夕飯を炊く準備)、夫婦共に畑仕事をし、日没近くになると主婦が先に帰宅して夕飯の仕度をした。

ユディルン [judiruŋ] (動) 湯がく、茹でる。

ユディシタ [judiʃita] (ゆがいた)、ユディナ [judina] (湯がくな)、ユディッタハ [judittaha] (湯がきたい、茹でたい)、ユディミラ [judimira] (茹でてみる)、ユディラルヌ [judirarunu] (茹でられない)、ユディル ピゥ

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

トゥ ブラヌ [judiru pˢïtu buranu]（茹でる人がいない）、ダー ユディダラ バンヌン ユディルン [da: judidara bannuɲ judiruŋ]（君が茹でたら私も茹でる）。パイシャ ユディリャ [paiʃa judirja]（早く茹でなさい）。ユドゥバン ファールヌ [juduban fa:runu]（茹でても食べられない）。クーマー ユディルン [ku:ma: judiruŋ]（卵を茹でる）。ヤサイ ユディルン [jasai judiruŋ]（野菜を茹でる）。

ユナカヌ ムヌ [junakanu munu]（連）「夜中のもの」の義。

夜食のこと。ユナカヌ ムヌー ファウン [junakanu munu: fauŋ]（夜食を食べる）、ファーヌ [fa:nu]（食べない）、ファイシタ [faiʃïta]（食べた）、ファイッタハダル [faittahadaru]（食べたい）、ファイドゥル [faiduru]（食べている）、ファイミルン [faimiruŋ]（食べてみる）、ファウ ピゥトゥヌ ウーハヌ [fau pˢïtunu ʔu:hanu]（食べる人が多い）、ダー ファイダラ バヌン フォーン [da: faidara banuŋ fo:ŋ]（君が食べたら私も食べる）。ダー ファーバン バナー ファーヌ [da: fa:bam bana: fa:nu]（君が食べても私は食べない）。パイシャ ファイヤー [paiʃa faija:]（早く食べなさい）。パイシャ ファイバ ミシャルムヌ [paiʃa faija miʃaru munu]（早く食べたらよいのに）。

ユーヌクー [ju:nuku:]（名）むぎこがし（麦焦）。

大麦を炒って碾いた粉に黒糖を削って入れ、混ぜ、それを茶請にして食した。また湯にといたりして食べた。福木の葉ですくって食べた。

ユヌククヮーシゥ [junukukwa:sï]（名）はったいこ菓子。

落雁。米を炒ってイシゥウシゥ [ʔisïʔusï]（石臼）で碾き、黒砂糖を混ぜて、少々水をふりかけ、ピシング [pïʃiŋgu]（木製の鋳型、菓子を作るに用いる）に入れて押し固めて作った菓子。行事の時にだけ、この菓子を造った。

ユヌクムチゥ [junukumutsï]（名）。

大麦を炒って碾いた粉に黒糖を削って入れ、お湯を入れてこね、おにぎり状にしてスダル [sudaru] で巻いて造ったもの。ユヌクムチゥ チゥクリ [junukumutsï tsïkuri]（はったいこ餅を作れ）。十六日祭などに造った。

ンガハン [ŋgahaŋ]（形）にがい（苦い）。

ンガナー ンガハヌ [ŋgana: ŋgahanu]（苦菜は苦い）。ンガハヌ ファー

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

ルヌ [ŋgahanu Φa:runu]（苦くて食べられない）、フシュロー ンガハヌ ヌマルヌ [fu̥ʃuro: ŋgahanu numarunu]（薬は苦くて飲めない）、ンガハラバン ヌミャー [ŋgaharaban numja:]（苦くても飲めよ）、ンガハダラ ヌマヌ [ŋgahadara numanu]（苦かったら飲まない）、フシュルドゥ ヤリバ ンガハラバン ヌンドゥ スー [fu̥ʃurudu jariba ŋgaharaban nundu su:]（薬だから苦くても飲む）。

ンブフン [mbuΦuŋ]（動）むす（蒸す）。

むらす。ムチゥ ンブヒ [mutsï mbuçi]（餅を蒸す）、クレー ンブヒナ [k'u̥re̥: mbuçina]（これは蒸すな）、ムツォー ンブヒドゥ ボー [mutso: mbuçidu ho:]（餅は蒸して食べる）、ミヌマー ムチゥ ンブヒル [minuma: mutsï mbuçiru]（今、餅を蒸している）、ンブフ ピゥトゥン ブラヌ [mbuΦu psï̥tum buranu]（蒸す人もいない）、イカスク ンブハバン ヤーラハー ナラヌ [ʔikasuku mbuhabaŋ ja:raha: naranu]（いくら蒸しても軟らかくならない）。ハイシャー ンブヒャー [haiʃa: mbuça:]（早く蒸しなさい）。ミヌマカラ ンブフン [minumakara mbuΦuŋ]（今から蒸します）。イー ンブヒー [ʔi: mbuçi:]（ご飯をむらす）。ピー ピキシティ ウキルガギ ンブヒ [pi: pi̥kiʃi̥ti ʔukirugagi mbuçi]（焚き火を引き出して、燠火だけで蒸らしなさい）。

ユイピゥトゥ [juipsï̥tu]（名）ユイピゥトゥ神。

ユーピゥトゥドゥミー ッサリー [ju:pï̥tudumi: ssari:] と唱える。普通は、ユヒトゥ [juçi̥tu] と云う事が多い。家屋新築の際、中柱を建てたら、すぐユイピゥトゥを作って、中柱にしばりつけておいた。落成のときに中柱からはずし、パナグシゥ [p'ḁn̥agusï]（初酒）とパナグミ [p'ḁn̥agumi]（初米）、ミシゥ [misï]（神酒）を供えて、三名でその儀式をとり行なう。ユヒトゥは家主が家を新築するにいたった経緯を述べる。そして、この家が落成した後は、この家でやることは、何をしても成功する、と結ぶ。「今日から先は、この家のニューヌファカドゥにいらっしゃってこの家を見守って下さい」と言って、ニーヌファカドゥに人形を差しておく。

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

ユイピゥトゥの祝詞

jup^{s}ɿ̥tu ganasɿ ja:ba tsɿ̥kurundi nudati: k'uṇukata sukujamana: bure: ki:mutuna fummarugarari ʔamakadʒin sarahari: muranake: nakabarana: funsamarari: kai kutsɿrahaba ʃi: wattarunu: ʔukagi ni kju:nu ʔi: p^{s}ɿ̥: kaipju:runa: kunu ʔubuja: nuk^{s}ɿja: tiŋkusai ʃim itaburi kuri ʔuitinu jurukubide: ne:nuju: ba: saṇiça: da: saṇiça: kj u:ja ke:ratu ma:dzuɲ ju:nu ʔakiruŋkja: juiʃi: taburidi ssariruɲju :ju:pɿ̥tudumi ssari: (相手) ʔo:ʔ

ju:pɿ̥tudumi ssari: (相手) ʔo::ʔ

k'uṇu ja:nu ssa: tʃɿ̥kaguro: mi:ja pa:nari pai:p'ari nisɿ̥pari: ʃi: ʔarɿk^{s}ɿ̥tara: nu:didu kai ʔaruguga ja:di ʔumuidara: k'uṇu jaʃɿ̥kiba mutumi k'uṇu ʔubuja: nuk^{s}ɿja: tinfusairundidu kai ʔarɿk^{s}ɿ̥tarundiju:

ju:p^{s}ɿ̥tudumi ssari: ʔo::ʔ

ju:p^{s}ɿ̥tudumi ssari: ʔo::ʔ

ju:p^{s}ɿ̥tudumi ssari: ʔo::ʔ

k'uṇu ja:nu ssa: k^{s}ɿ̥ṇurja:kara: jarikimba kɿ̥ʃi:

Φu:nukiru Φu:bu:nuba katami: paipari: nisɿ̥pari ʃi: ʔarɿk^{s}ɿ̥tara: k'ure: k^{s}ɿṃunudu puri: kai ʔaruguga ja:di ʔumuidara: ʔaçe: ʔana : sukujamana: pe:ri kja:ŋgi p'ara: ʔi:dʒop'araba ʔidaçi: k'uṇu ʔub uja: nuk^{s}ɿ̥ja: tiŋkusairundidu kai ʔaruk^{s}ɿ̥tarundiju:

ju:p^{s}ɿ̥tudumi ssari:ʔ

ju:p^{s}ɿ̥tudumi ssari:ʔ (相手) ʔo::ʔ

ju:p^{s}ɿ̥tudumi ssari:ʔ (相手) ʔo::ʔ

mata: kuṇu ja:nu ssa:

tsɿ̥ma:puka:ndi miranadara: ʔndi miranada: munnu tʃɿ̥kaguro: ʔa:ra k^{s}ɿṃba k^{s}ɿʃi: t'aṇaŋga:ri miribam miribaŋ ʔiʃak^{s}ɿŋgaididu p'aru: k'ure: midzɿraʃi: munudu jaru ʔiʃak^{s}ɿ̥na: mirabita: tumidu kai ʔa rugugaja:di ʔumuidara: ʔaçe: ʔana: sɿmadzɿma: muramuranu ʔut sɿ̥kara: daikuʃu: ti:masarja:ba mi:tatiʃi: kuṇu ʔubuja: nuk^{s}ɿ̥ja: ti ŋfusairundidu kai ʔak^{s}ɿ̥tarundiju: ju:p^{s}ɿ̥tudumi ssari:ʔ ʔo::ʔ ju:p^{s}ɿ̥t

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

udumi ssari:ʔ (相手) ʔo::ʔ

ju:psï̥tudumi ssari:ʔ (相手) ʔo::ʔ

ju:psï̥tudumi ssari:ʔ (相手) ʔo::ʔ

ku̥ŋ̥u ʔuΦuja: nuksï̥ja: tiŋku̥sainu ʔato: ku̥ŋ̥u ja:nu nakana: maris ḁkaiŋ ʔari: ki:ŋku:m pï̥tu masai tsï̥kurumunu: tsï̥kurabam psï̥tum asai ʤim mo:ki:m psï̥tumasai gakumuŋju sa:bam psï̥tu masai k'u̥ŋ̥u ja:nu nakana: su: muno: no:kara kuimadi psï̥tu masai taŋgadu ʔari: wattarundiju: ju:psï̥tudumi ssari: ʔo::ʔ

ju:psï̥tudumi ssari:ʔ (相手) ʔo::ʔ

ju:psï̥tudumi ssari:ʔ (相手) ʔo::ʔ (以後歌へ続く)

(歌詞)

ki:junu psï̥:ba:(ha:) ʔi:ra: (ha:) bjo:ri: (çi:jo:ho:e:)

ku:ga:ni:psï̥:ba: (jo:ʃi:) çi:ra:bjo:ri:jo:

ʔi:nubu:ja:ha:ba: ha:tsï:kurjo:ho:ri (çi:jo:ho:e:he:

mi:nuksï:ja:ba:jo: ku:Φusa ha:jo:ri jo:

ta:ru:ta:ru:nuΦu (du:) na:ha:raʃo:ta: ha:jo: ho:ho:e:

ʤi:riçiʤi:riçinu sï:kaʃo:ta:jo:

da:iku:ʃu:nu Φu: na:haraʃo:ta ha:jo: ho:ho:e:

psï̥:nukan:nujo: tsïkaʃo:ta:jo:

ʔa:pa:ri: kju:nu psï̥:ba: irabjo:ri

ʔa:pa:ri: kugani: psï̥:ba: ʃirabjo:ri

ʔa:Φa:ri: minubu:ja:ba tsïkurjo:ri

ʔa:Φa:ri: minuksï:ja:ba kusajo:ri

ʔa:Φa:ri: taruta:ru:nu naraʃo:ta

ʔa:Φa:ri: ʤiriʤiri:nu sï̥kaʃo:ta

ʔa:Φa:ri: daikuʃu:nu naraʃo:ta

ʔa:Φa:ri: psï̥nukannu sïkaʃo:ta

kju:kara saksï̥sa: ku̥ŋ̥u ja:nu ni:nuΦa: kaduna: wa:ri ku̥ŋ̥u ja:ju ʔitsïju: madi:m mamuritaburidi ssariruŋju:

NII-Electronic Library Service

Okinawa Prefectural University of Arts

「曲について」

フーマタ信者とッスマタ信者の家造りには、この「イチゥ」バリゥの曲で歌い、アカマター信者、ユナラウッカンとピゥニシゥ信者の家造りには、「ウムトゥバラの曲で歌う。

NII-Electronic Library Service